



*eFormMaker*  
機能マニュアル

ウェブフォーム・ワークフロー

**X-point**

2026/04/01 版

## はじめに

### ◆本書の目的

本書は、X-point をこれから利用する方の為に、eFormMaker の各機能と利用方法について説明しています。

### ◆対象とする読者

本書は「X-point」のフォーム管理者を対象としています。フォーム管理者とは「eFormMaker」によるフォーム作成を行ない、「X-point」のフォーム管理、マスタ管理権限を持つユーザを指します。

### ◆対応バージョン (2026/04/01 時点)

X-point
X-point v3.13

#### ！注意事項

※ X-point v3.11.00 以降への接続のみに対応しています。

### ◆製品名について

本文中、「X-point サーバ」は「X-point」と表記しています。  
また、各製品の名称は対応バージョンを省略してある箇所もありますのでご了承ください。

### ◆商標について



本書の一部、または全部を著作権所有者の許諾なしに、商用目的の為に複製、配布することはできません。X-point、エクスポイントの名称およびロゴは株式会社エイトレッドの商標または登録商標です。Microsoft、MS-DOS、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Macintosh、MacOS は Apple Computer, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。Adobe、Acrobat、Adobe Acrobat は Adobe Systems, Inc. の商標または登録商標です。ORACLE、Java、JavaScript は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。デスクネッツ、desknet's は株式会社ネオジャパンの登録商標です。サイボウズ、Cybozu はサイボウズ株式会社の登録商標です。

その他、記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する会社の商標または登録商標です。本書では、©、®、(TM) の表示を省略しています。ご了承ください。

### ◆製作著作

©2026 株式会社エイトレッド

# 目 次

1	eFormMaker とは	7
2	X-point eFormMaker の使い方	9
2.1	画面構成	9
2.2	フォームの設計	12
2.3	新規作成と既存フォームの表示	13
2.4	作成したフォームの保存	16
	1) 名前を付けて保存	16
	2) 上書き保存	16
2.5	フォーム設定	17
	1) 基本情報	18
	2) フィールド設定	25
	3) ナビボタン設定	28
	4) 印影設定	34
	5) フォーム連携	35
	6) ユーザ定義 JavaScript	40
	7) onLoad 実行 JavaScript	41
	8) xpPrepare 関数 JavaScript	42
2.6	水平線・垂直線・長方形枠・塗りつぶしの描画	43
	1) ツールの種類	43
	2) 線幅と色の指定	45
	3) 矢先、線種の指定	46
2.7	文字ラベル	47
2.8	プレビュー	52
2.9	入力フィールドの定義	55
	1)  文字フィールド	55
	2)  数値フィールド	55
	3)  整数フィールド	55
	4)  テキストエリア	56
	5)  パスワード	56
2.10	コンボボックス・リストボックスの定義	57
2.11	ラジオボタンの定義	61
	1) ラジオボタンの作成	61
	2) ラジオボタンの一括設定	63
	3) ラジオボタンの追加	64
2.12	チェックボックスの定義	65
2.13	イメージ・フィールドの定義	66
2.14	イメージアップロード・フィールドの定義	68
2.15	日付フィールドの定義と関連付け	72
2.16	日時フィールドの定義	76

2.17	印影フィールドの定義	78
2.18	バーコードの定義	81
2.19	るび(ふり仮名)フィールドの定義	82
2.20	不可視項目の定義	83
2.21	配置位置・サイズ調整	84
2.22	配置位置揃え	85
2.23	一括文字位置調整	86
2.24	サイズ揃え	87
2.25	グループ化	88
	1) グループ化	88
	2) グループ解除	89
	3) グループに追加	89
2.26	ミラー定義	90
2.27	枠線表示	94
	1) 枠表示属性による表示	94
	2) 同一サイズ枠フィールドの追加	95
2.28	背景色の設定	96
2.29	ルーラーとグリッド	97
2.30	右クリックメニューの使い方	98
2.31	グループ設定による表定義の作成	102
2.32	画像・PDF	105
2.33	マイクロソフト・エクセルのワークシート	106
	1) 利用方法	106
	2) セル書式 (罫線・色など) の扱い	107
	3) セル以外のデータ	108
2.34	アイコンメニューバー	109
2.35	フィールド・アクション設定	110
	1) アクションの起動指定	110
	2) JavaScript イベント	111
2.36	初期取得値	112
2.37	ワークフロー取得値	116
2.38	X-point コンポーネント	118
	1) マスタ参照	119
	2) 自動採番	123
	3) 残管理	124
	4) カレンダー参照	126
	5) マスタ検索	127
2.39	レイヤの利用	129
2.40	計算式の設定	130
2.41	正規表現比較	134
2.42	メニュー構成	135
2.43	イメージオブジェクトのプロパティ	137

1) オブジェクト種類別属性一覧表	137
2) オブジェクト種類別書式一覧表	137
2.44 フィールドのプロパティ	138
1) 属性プロパティの説明	138
2) フィールド種類別の属性一覧表	144
3) 書式プロパティの説明	148
4) フィールド種類別の書式一覧表	152
5) X-point 設定プロパティの説明	154
6) フィールド種類別の X-point 設定一覧	156
7) アクション設定プロパティの説明	157
8) フィールド種類別のアクション設定一覧表	158
9) フィールドのタイプ変更	159
<b>3 作成したフォームを X-point で利用する</b>	<b>160</b>
3.1 フォーム名称	160
3.2 フォームのアップロード	160
3.3 フォームグループと承認ルートに関連付け	165
<b>4 フォームを表示するブラウザ種類と環境による表示の違い</b>	<b>166</b>
4.1 OS による違い	166
4.2 ブラウザによる違い	166
<b>5 困ったときは (FAQ)</b>	<b>167</b>
5.1 同じ場所に複数フィールドが配置され選択しづらい。	167
5.2 フィールドのサイズを変えようとフィールドを選択すると、別のフィールドを選んでしまう。	168
5.3 オブジェクトの位置やサイズをピクセル単位で移動、変更したい。	168
5.4 グループ化されたオブジェクトかどうかわからない。	168
5.5 前回まで開けたファイルが、突然開かなくなってしまった。	169
5.6 eFormMaker のバックアップファイル	169
5.7 eFormMaker が突然終了してしまった。	170
5.8 長時間の利用や、たくさんのフォームを編集していると時々動作が止まる。	170
5.9 フォーム設定画面を開く時に時間がかかる。	170
5.10 フォームのプレビューができない。	171
5.11 ラジオボタンで一度チェックを付けたら未選択状態に戻せない。	172
5.12 フィールド間のフォーカス移動順序を指定するには	172
5.13 フィールドへのフォーカス移動を禁止するには	172
5.14 利用できないメニューがある。(動作環境設定がうまくいかない)	173
5.15 コンボボックス・曜日のフォント・サイズが変更できません。	173
5.16 マスタ参照ウィンドウから値選択しても JavaScript が動作しない。	173
5.17 フォームを修正したら、X-point 側で既存データが表示されなくなった。	173
5.18 明細行を効率良く作成したい	173
5.19 日付入力フィールドを上手く作成するには	174
5.20 ID 名に予約語と同じ名称を指定するとエラーが発生します	175



# 1 eFormMaker とは

フォーム・アプリケーション・サーバ『X-point』の世界へようこそ。

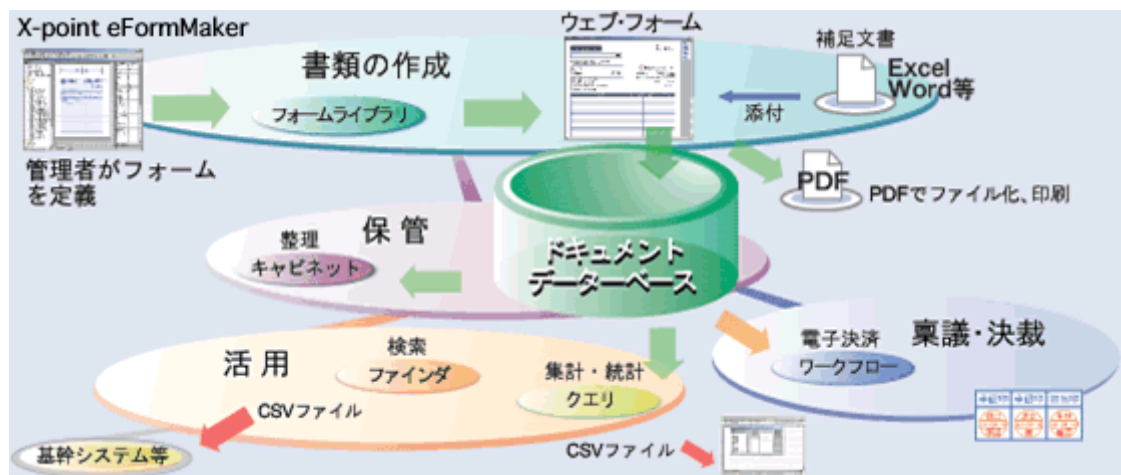
『X-point』は、WEBブラウザ上で、「まるで紙に書くような」直感的な入力フォームを提供し、フォームの管理機能、およびデータベースとの連携機能等を実現した、「書類管理の新しいスタイル」を提案するフォーム・アプリケーション・サーバです。

フォームを eFormMaker で作成することにより、日本型業務プロセスに対応した本格的なワークフローをはじめ、社内の様々な業務システムの効率化や幅広いデータ活用が手軽に実現できます。

## 【導入と運用】

- ※ X-point の直感的な入力フォームは WEB ベースなので、各クライアント PC には、ブラウザがあれば特別なインストールをする必要はありません。
- ※ 入力フォームは専用デザイナーを使うことで、管理者様が自社にあわせたものを作成することが可能です。
- ※ 他システムで管理するユーザアカウントをインポートして使用できるので、短期導入が可能です。

## 【X-point の全体像】

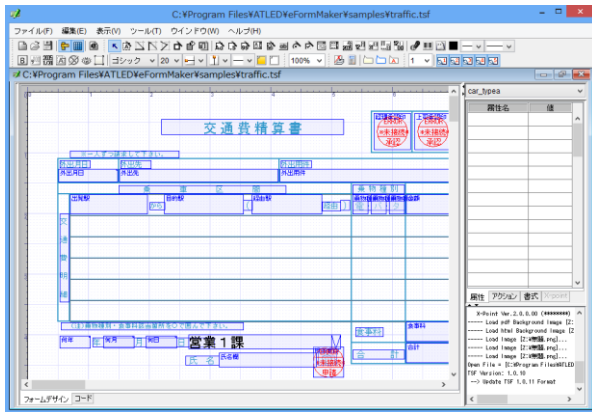


### ！ 注意事項

利用する OS 種類により eFormMaker の画面表示が本マニュアルと異なる場合があります。

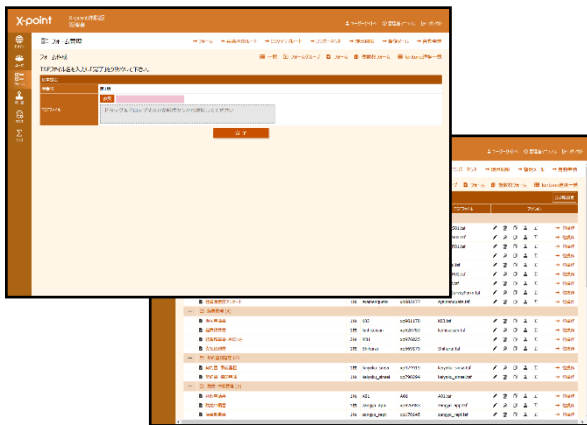
作成したフォームを X-point で利用するまでの流れは、次のようになります。

### 1) X-point eFormMaker でフォームを定義する



「X-point eFormMaker」を使用してフォームを定義します。フォームは XML をベースとした様式で定義され、TSF という拡張子のファイルが作成されます。

### 2) X-point (管理者側) にフォームをアップロードし設定を行う



作成した TSF ファイルを、X-point にアップロードしてフォームを作成します。

### 3) ユーザが X-point でフォームを利用する



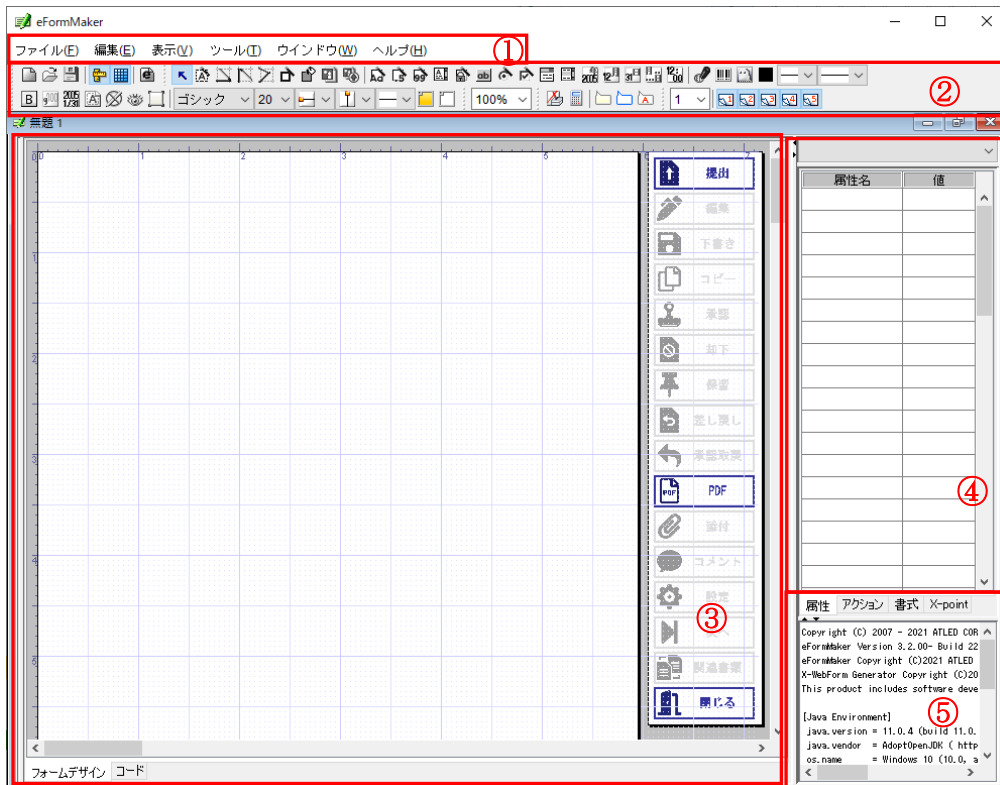
ユーザは、X-point ユーザ画面にログインすると、それぞれが利用権限のあるフォームを使用・閲覧することができます。

## 2 X-point eFormMaker の使い方

### 2.1 画面構成

X-point eFormMaker は、メニューバー、アイコンメニュー、フォーム作成部、プロパティ部、コンソール表示の5つの画面から構成されています。

#### 【標準画面】



① メニューバー

X-point eFormMaker の操作・設定を行うためのメニュー。

② アイコンメニューバー

フォーム上に配置するフィールドや図形オブジェクトを操作する各種ツールボタン。

③ フォーム作成部エリア

フォームを作成します。

④ プロパティ

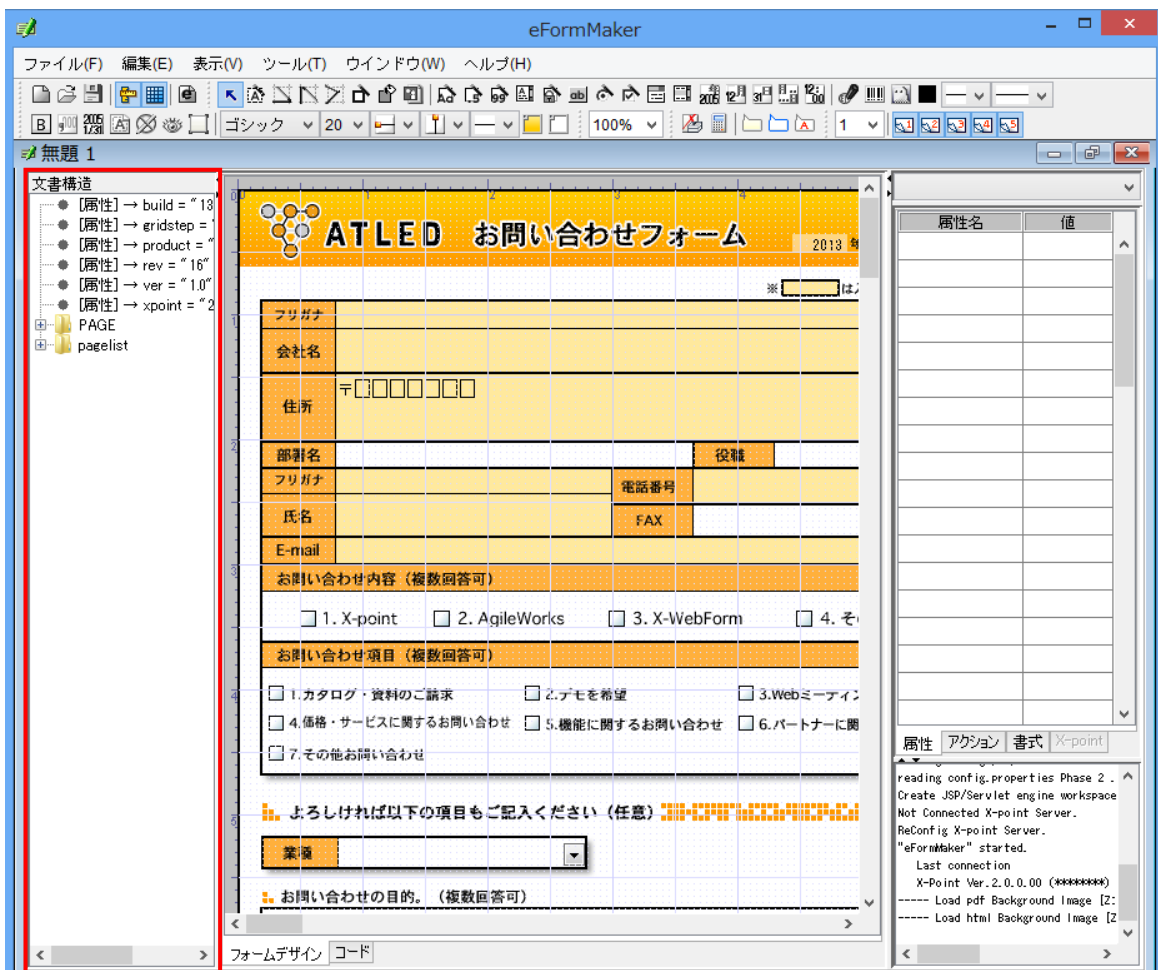
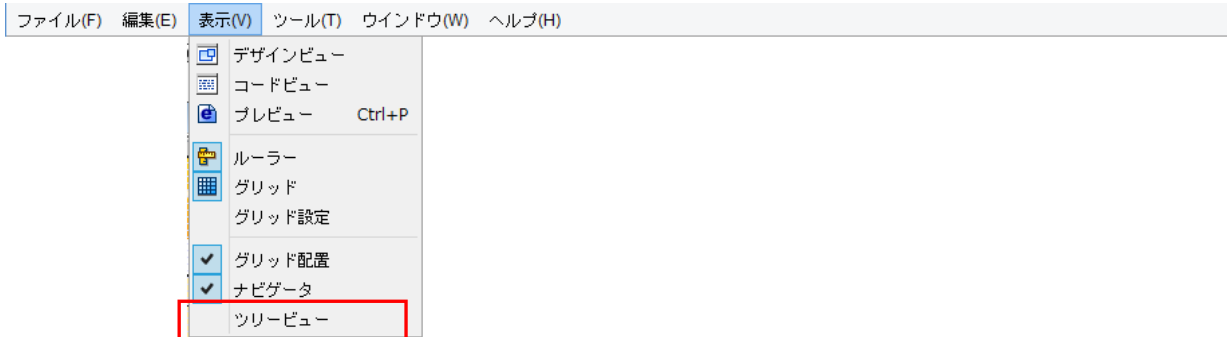
フォーム上に配置するフィールドや図形オブジェクトに対する設定情報の確認や変更を行います。

⑤ コンソール表示

コンソール画面に表示される各種のメッセージを表示します。

## 【構成ツリー表示】

メニューバーの表示からツリービューをクリックすると、フォーム構造を現すツリービューが画面左側に表示されます。フィールドオブジェクトに限り、ツリー部をクリックすると配置されているコンポーネントを選択することができます。





## 2.2 フォームの設計

X-point eFormMaker で美しいフォームを作成する為には、事前に配置位置などを検討されることをお勧めします。全てを定義した後に、たくさんの個所を変更することは、非常に手間のかかる作業です。あらかじめ、ページサイズ、枠線や文字の配置を考慮し、線の長さや座標などをピクセル単位でメモしておくことで、作業を楽に進めることができます。

【フォーム設計図 (イメージ)】



【フォーム (プレビュー時)】

## 2.3 新規作成と既存フォームの表示

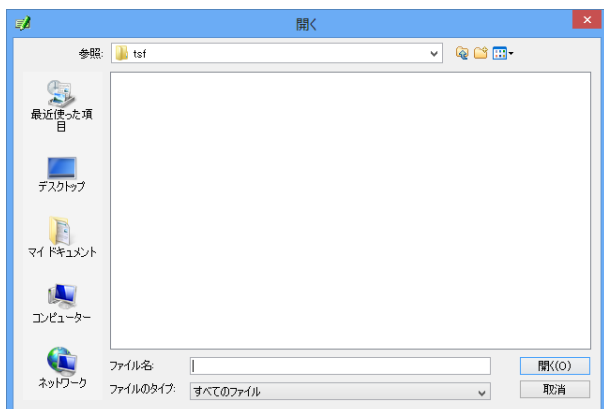
X-point eFormMaker ではフォームの新規作成と既存フォームの修正を行うことができます。

### 1) 新規作成

新しいフォームを作成します。

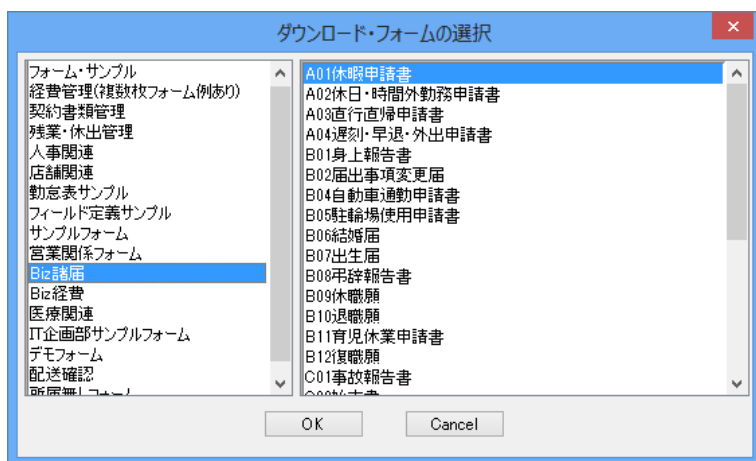
### 2) 開く

クライアント PC やネットワーク・サーバに保存されている TSF ファイルを読み込み、既存フォームの編集を行います。（「ファイル」→「開く」）



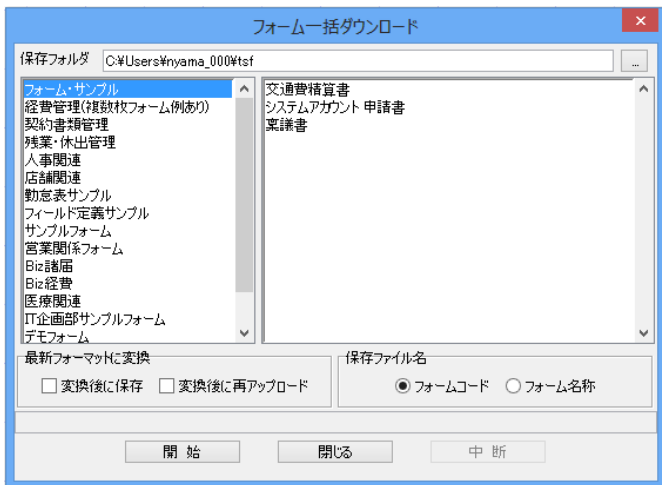
### 3) フォームダウンロード

連携設定されている X-point サーバから登録されている最新フォームをダウンロードし X-point eFormMaker 上に表示します。



#### 4) フォーム一括ダウンロード

連携設定されている X-point サーバに登録されているフォームをまとめてダウンロードし、利用中の PC に TSF ファイルを保存します。(「ツール」 → 「フォーム一括ダウンロード」)



- ・ 保存フォルダ  
フォームを保存するフォルダのパスを指定します。
- ・ フォームグループ名リスト (左側)  
保存するフォームグループを指定します。複数のフォームグループを選択した場合、選択したフォームグループに所属するフォームが全て出力されます。
- ・ フォーム名リスト (右側)  
選択中のフォームグループに所属するフォームの一覧が表示されます。  
フォームグループが一つのみ選択されている場合は、フォーム名リストで選択されているフォームが保存されます。フォームの選択は複数指定することができます。
- ・ 最新フォーマットに変換
  - ①変換後に保存  
ダウンロードした TSF ファイルを eFormMaker 最新のフォーマットに変換してから保存します。旧バージョンの X-point からダウンロードしたファイルを最新 X-point に移す場合に便利です。
  - ②変換後に再アップロード  
eFormMaker で最新の TSF フォーマットに変換し、再アップロードを行なうことで新しい機能を利用できるようになる場合があります。
- ・ 保存ファイル名
  - ①フォームコード (デフォルト)  
保存ファイル名が“フォームコード.tsf”になります。  
同一フォームコードで登録されているフォームがある場合、あとから保存されるフォームで上書きされる場合があります。
  - ②フォーム名称  
保存ファイル名が“フォーム名称.tsf”になります。

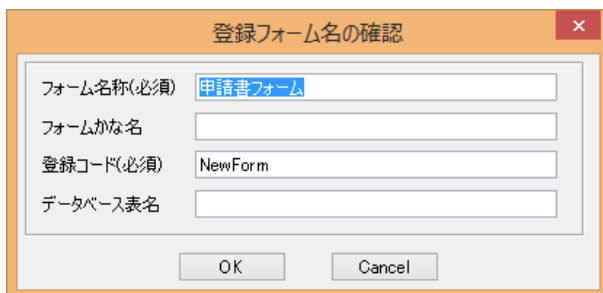
- 開始  
ダウンロードを開始します。
- 閉じる  
一括ダウンロード画面を閉じます。ダウンロード実行中は操作できません。
- 中断  
一括ダウンロードを中断(中止)します。

ダウンロードした **TSF** ファイルは指定保存フォルダ内にフォームグループ名のフォルダを作成し、その中に書くフォームをフォームコード名、もしくはフォーム名称で保存します。同一フォームが複数のフォームグループに所属している場合、それぞれのフォームグループフォルダに同じものが保存されます。

## 2.4 作成したフォームの保存

### 1) 名前を付けて保存

作成したフォームを保存します。作成したフォームは **TSF** という拡張子がついた **XML** 形式のファイルで保存されます。（「ファイル」→「名前を付けて保存」）

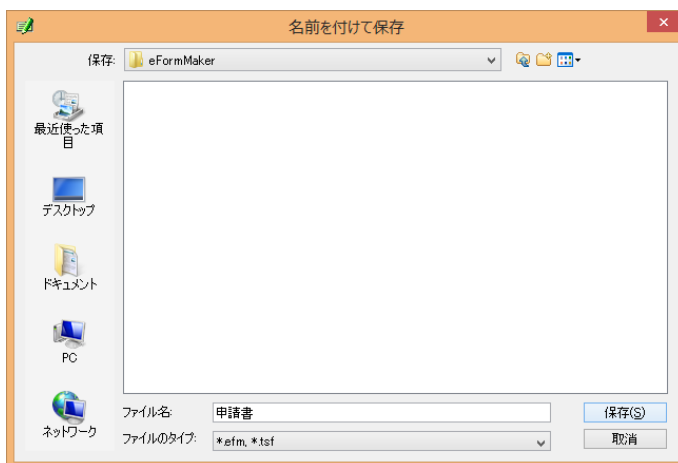


登録フォーム名の確認

フォーム名称(必須)	申請書フォーム
フォームかな名	
登録コード(必須)	NewForm
データベース表名	

OK Cancel

フォーム名称、登録コードを指定し **【OK】** を押下します。



名前を付けて保存

保存: eFormMaker

最近使った項目  
デスクトップ  
ドキュメント  
PC  
ネットワーク

ファイル名: 申請書

ファイルのタイプ: \*.efm, \*.tsf

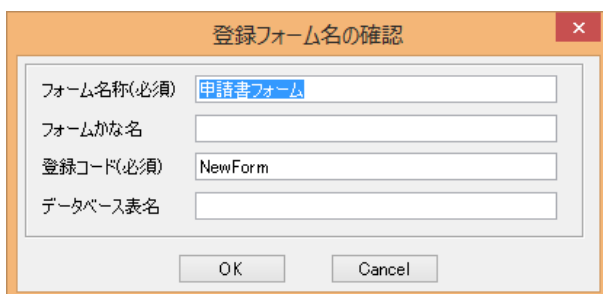
保存(S) 取消

ファイルの保存場所を指定し、**TSF** ファイル名をつけて **【保存】** します。

### 2) 上書き保存

作成したフォームを上書き保存します。（「ファイル」→「保存」）

※ “フォームかな名” が未入力の場合、以下の『登録フォーム名の確認』ダイアログが表示されます。



登録フォーム名の確認

フォーム名称(必須)	申請書フォーム
フォームかな名	
登録コード(必須)	NewForm
データベース表名	

OK Cancel



## 1) 基本情報

作成するフォームの基本的な情報を設定します。

### ■ 用紙サイズ指定

用紙のサイズを指定します。必要な用紙サイズが無い場合は、「Custom」を選択し、用紙サイズをピクセル値で指定します。

### ■ 用紙方向

用紙の向きを指定します。指定を変更すると用紙サイズの幅・高さが入れ替わります。

### ■ 用紙サイズ

用紙サイズをピクセル値で指定します。用紙サイズを変更すると連動して値が変わります。

### ■ マージン幅

ブラウザに表示する際、ブラウザ内の表示領域における画面左上からの距離をピクセル値で指定します。

### ■ PDF余白

PDF ファイルを作成する際に用紙の左側と上側に余白を作ることができます。余白サイズはピクセル値で指定します。

## ■ 画面表示サイズ

X-point 等でフォームを別ウィンドウとして利用する場合の情報を指定します。

eFormMaker でのプレビュー時には機能しません。X-point でフォームを表示する際のサイズになります。

## ■ 項目移動キー

フォームの入力フィールド間の移動時のキーを Tab キー又は Enter キーから指定します。

Enter キー移動を指定した場合、テキストエリア等の入力フィールドで一部制限があります。文字フィールド、数値・整数フィールドだけのフォームでのご利用を推奨いたします。

## ■ フォーム種別

フォームをワークフローで回すかどうかを指定します。

- ・ワークフロー . . . ワークフローで回すフォームの場合に指定します。
- ・通常フォーム . . . ワークフローで回さないフォームの場合に指定します。

通常フォームでは、書類の保存、検索だけの利用となります。

## ■ PDF 禁止

“印刷オプション”を利用して PDF を作成する場合に指定することができます。但し、PDF 表示の仕様に準拠したビューアでない場合動作しない可能性があります。

- ・印刷 . . . Adobe Reader などの PDF ビューアで表示した際に印刷操作ができません。
- ・コピー . . . PDF 内の文字列選択を行なった際などのクリップボードへのコピー操作を禁止します。コピー操作が禁止されるため、貼り付けができなくなります。

## ■ 背景

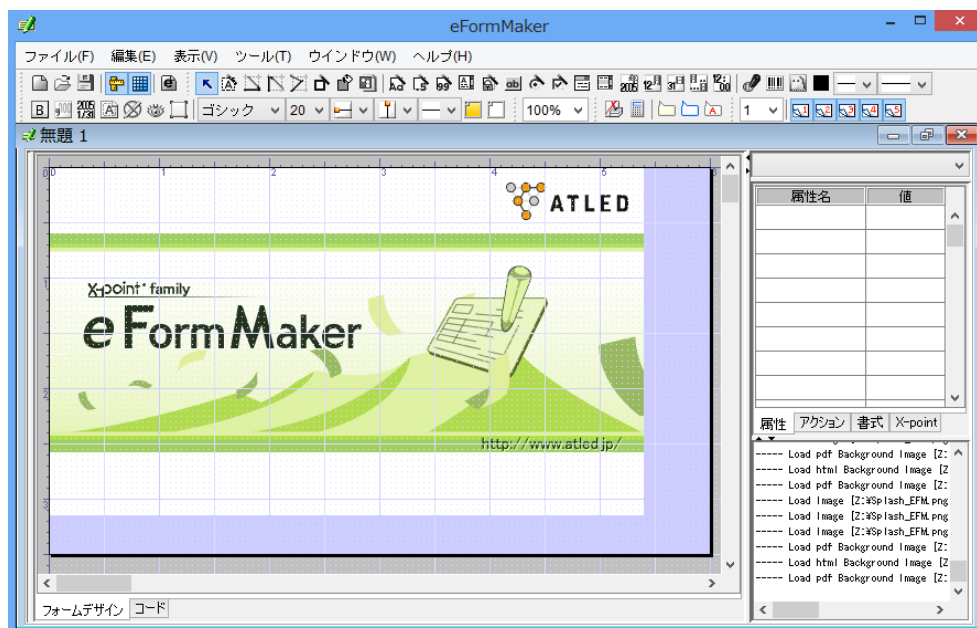
### ・背景色

用紙の色を指定します。

サンプルタブではよく利用される色を選んで指定することが可能です。HSB タブでは、色相成分(H)、色の彩度(S)、色の明度(B)で指定します。RGB タブでは、赤(R)、緑(G)、青(B)で指定します。色番号フィールドを利用すると、16進数表記で色を指定することができます。



※ 背景画像と背景色の関係は以下のようになります。



#### ・画面背景

通常背景に設定される用紙に代えて、GIF、JPEG、PNG等の画像を利用することができます。Xpoint eFormMakerで作成する用紙をスキャナー等で取り込み背景に利用することで、作業効率が大幅に向上します。

※ 設定した画像は設定画面内に小さく表示されます。

※ フォームデザイン画面で用紙(白い表示部)の外側に画像をドロップすることでも設定できます。

#### ・印刷背景

PDFに表示する際、背景表示するPDF、GIF、JPEG、PNGを指定します。

- フォームデザイン画面で用紙(白い表示部)の外側に画像をドロップすることでも設定できます。
- 画像を指定した場合に限り、設定画面内に小さく表示されます。PDFの場合は表示されません。
- 『PDF印刷オプション』で背景PDFを利用する場合、利用するPDFの基準座標がPDFの左下になければなりません。“Adobe Illustrator”など座標指定が可能なソフトウェアでPDFを作成する場合は注意してください。

#### ・画面と同一 (PDF背景画像の表示領域の下)

印刷背景にブラウザに表示する“画面背景”と同じ画像を利用する場合にチェックします。画面背景のみ指定して、印刷背景欄を空欄にするとPDF出力の際に背景画像は表示されません。同じ画像をPDFにも表示させたい場合にチェックします。

- ・背景画像を用紙サイズに自動調整

この項目をチェックすることで、背景画像が用紙と同じサイズに自動調整されて表示されるようになります。(GIF、PNG、JPG の場合のみ可能です)

背景

背景色 #ffffff ...

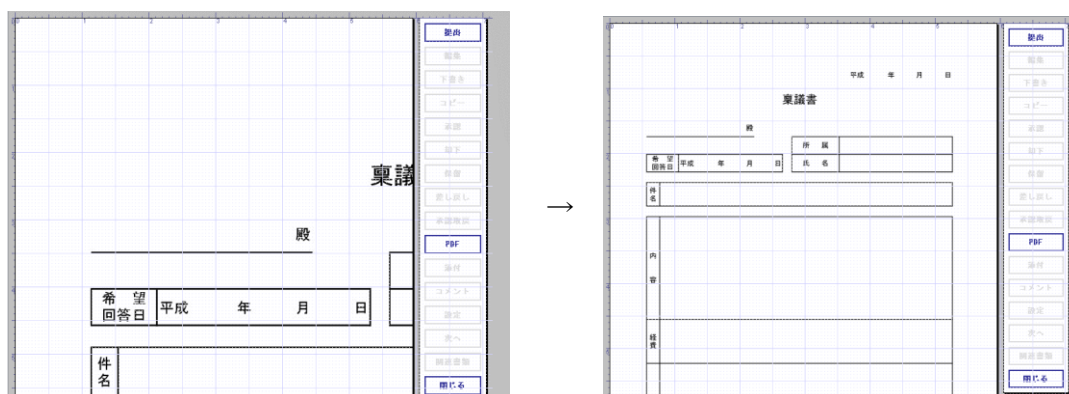
画面背景 ringisho02.png ...

印刷背景 ringisho02.png ...

背景画像を用紙サイズに自動調整

背景色

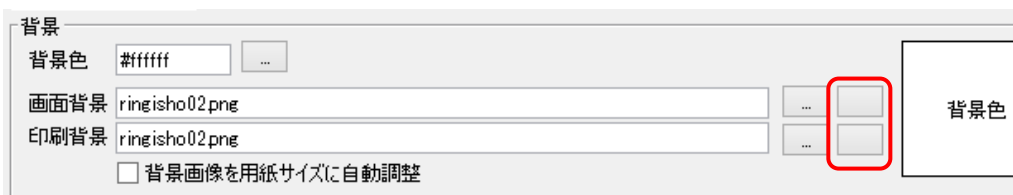
※ 背景画像サイズが用紙サイズと一致しない場合に利用します。



※ 簡易処理である為、サイズ調整を行うと画質が低下する場合があります。変換後の画質が許容範囲とならない場合は市販の画像修正・変換ソフトを利用して下さい。

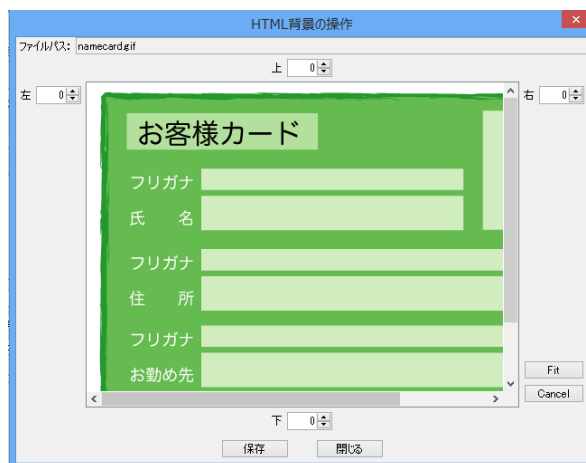
## 【背景画像サイズの微調整】

背景画像として指定した画像が用紙サイズより大きい場合や、指定した画像の端を取り除きたい場合に画像のサイズを微調整することができます。画像の縁に線などが含まれているような場合に、線を取り除くことができます。(GIF、PNG、JPG の場合のみ可能です)



※ Adobe Reader で PDF イメージをクリップボードにコピーすると、イメージの右側、下側に影（黒線）が付きまます。その様な際にサイズ調整を行ないます。

- (1) 画像ファイルが指定されている項目の右にあるボタンをクリックすると修正用の画面が表示されます。



- (2) 上下左右の数値項目を操作し、画像の切り取り位置を指定します。  
数値を指定すると画像の隅からオレンジ色の線が移動し切り取り位置を示します。シルバーの線は用紙サイズを表しています。

「Fit」・・・画像の左上から用紙サイズになるよう枠線を配置します。

「Cancel」・・・設定した値を解除します。

「閉じる」・・・設定内容を破棄して画面を閉じます

- (3) 切り取り範囲が指定できたら「保存」ボタンを押して画面を閉じます。

※簡易処理である為、サイズ調整を行うと画質が低下する場合があります。変換後の画質が許容範囲とならない場合は市販の画像修正・変換ソフトを利用して下さい。

## ■ 名称設定

- ・フォーム名称  
フォーム表示名を指定します。X-point 上ではフォーム名称として利用されます。
- ・フォームカナ名  
フォームカナ表示名を指定します。
- ・コード  
X-point 上でフォームを取り扱う際に利用するコード名を指定します。  
X-point 上では FCD と表示される場合があります。

### ▶ 特記事項

コードには、半角英数字とアンダースコア(\_)が使用可能です。ただし最初の 1 文字目は半角英字で始まる必要があります。

- ・表名 (通常、空欄のまま利用してください)  
オンプレミス版 X-point より移行したフォームを利用する場合、必要に応じて指定を行います。指定が必要な場合は、オンプレミス版で「表名」項目を指定していた場合に限られます。
  - 表名が未入力の場合は、X-point 側で自動決定された表 (テーブル) が作成されます。

## ■ JavaScript 動作

- ・フィールド属性変更を PDF に反映  
入力フォーム内で XWEB.getXPField、XWEB.getXPObject で取得したオブジェクトを介して色の変更を行いナビボタンより PDF を作成した場合に限り変更した色が PDF にも反映されます。  
JavaScript により変更する必要がありますので、X-point の【検索】画面から PDF を作成する場合などフォーム表示されない状態からの PDF 作成ではフォームデザイン時の色で PDF が作成されます。

### ! 注意事項

承認完了書類外部出力オプションで出力された PDF にはフィールド属性変更は反映されません。

- ・表内に含むフィールドの ID 変換禁止  
表定義内のフィールドで JavaScript を記述する際に ID 名変換を行うか否かを指定します。v1.1.02c 以降の eFormMaker では“ID 変換禁止”がデフォルト動作になります。  
禁止指定の有無により作成する JavaScript の実行状態が変化します。例えば、以下のような JavaScript が記述されている場合、ID 変換禁止がチェックされていない場合、表定義内で利用しているフィールド項目の ID 名と一致する名称に“\_行番号”が追加された状態になります。

#### 【フォームに定義した JavaScript】

```
var obj = getElementById_XP('textfield1');
```

#### 【ID 変換禁止が指定されていないフォームの実行時】

```
var obj = getElementById_XP('textfield1_0');
```

表定義内のフィールドはフォームを表示する際“\_行番号”が追加指定される為、作成する JavaScript で ID 変換が行われることで、処理行数を考慮する必要がなくなります。しかし、弊害とし、類字 ID 名を持つフィールドがあると、誤った変換をする場合があります。

textfield1 と textfield10 がある場合、  
textfield10 が、textfield1 と間違えられ textfield1\_0\_0 となるケースがある、

また、プログラミングに慣れた方の場合、ID 名変換を行わない方が便利な場合があります。

- ・ フォーム表示時に四則演算を再計算

入力フォームを表示した際に四則演算が指定されているフィールドの値計算を行いません。フィールドの初期値にユーザ情報の予備項目等に登録されている値を利用する、OnLoad 時の JavaScript でフィールドに値を設定するなどしている場合に再計算を行なうと指定値が反映された状態で計算が行なわれます。

但し、フォーム登録（申請、承認）の際に計算結果を手入力で修正するようなフォームを利用する場合、入力した値が再計算により上書きされてしまうため、この動作を禁止しておきます。

- 備考

作成したフォームへの備考を記載します。

## 2) フィールド設定

デフォルトのタブ移動順序指定、項目属性、及び X-point で利用する場合の表示情報の指定を行います。  
なお、項目名、ID 名についてはこの画面内で変更を行うことができます。

件名1	件名2	表	Group	項目名	ID	タイプ	必須	Uniq	順序
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			外出月日	gowhen	文字フィールド	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	↑ ↓
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			外出先	gowhere	文字フィールド	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	↑ ↓
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			外出用件	gofor	文字フィールド	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	↑ ↓
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	表	group	group7	group7	表形式グループ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	↑ ↓
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			食事料	food_cost	整数フィールド	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	↑ ↓
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			合計	total_cost	整数フィールド	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	↑ ↓
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			何年	year	西暦フィールド	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	↑ ↓
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			何月	month	月フィールド	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	↑ ↓
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			何日	day	日フィールド	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	↑ ↓
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			所属課グループ名	position	コンボボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	↑ ↓
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			氏名欄	name	文字フィールド	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	↑ ↓

### ■ 件名表示の詳細

#### ・ 件名間区切り文字

X-point の【検索】、【承認】画面で表示される件名の区切り文字(最大半角 2 文字)を指定します。  
何も指定しない場合は「/ (スラッシュ)」が適用されます。

#### ・ 件名 1 (プレフィックス、サフィックス、カンマ区切り)

X-point で件名 1 に表示する際のプレフィックス、サフィックス、区切り文字の形式を指定します。

#### ・ 件名 2 (プレフィックス、サフィックス、カンマ区切り)

X-point で件名 2 に表示する際のプレフィックス、サフィックス、区切り文字の形式を指定します。

#### ・ カンマ区切

##### ① 「する」に選択した場合

件名に表示する項目名のうち、タイプが「数値フィールド」と「整数フィールド」の値は、カンマ区切りにて表示されます。

## ②「しない」に選択した場合

件名に表示する項目名のうち、タイプが「数値フィールド」と「整数フィールド」の値は、カンマ区切りなしで表示されます。

### ▶ 特記事項

「数値フィールド」「整数フィールド」自体の書式に指定されている「カンマ区切り」設定は書類上には反映されますが、件名の表示設定には反映されません。

#### ■ 共通背景色

必須項目、Unique 項目として指定されたフィールドの背景色を指定します。個々のフィールドに背景色指定が無い場合に、この設定が使用されます。

#### ■ マウスオーバー時の色

入力フォームのフィールド上をマウスが移動する際にフィールド枠を表示するか否かの制御を行ないます。

##### ・表示 (表示する)

フィールド上をマウスが移動した際にフォーム作成時に指定したサイズの枠線が表示されます。

##### ・色

表示される枠の色を指定します。デフォルトは赤系 (#dd0044) が設定されます。

##### ・R/O (表示する)

読み取り専用の項目上でも枠を表示するかを設定します。デフォルトでは読み取り専用項目も表示されます。

### ▶ 特記事項

X-point 上で複数枚フォームとして利用する場合には、最終ページのフォームに設定した内容で動作します。

#### ■ 表示階層

フィールドが一覧表示されるリスト内に表示するフィールドの階層を指定します。フォーム内で表定義 (繰り返し)、ラジオボタングループ等を利用している場合は、それらがツリー形式で表示されます。ツリーの名称部分をクリックすると、一覧表の内容が切り替わりますので、それぞれの階層内でのフィールド設定変更や、項目の並び変えを行います。

#### ■ フィールド一覧

##### ・件名 1 (表のチェックボックス)



X-point で件名 1 に表示する項目をチェックします。X-point との連携を設定している場合、最低 1 件以上の指定が必須となります。

##### ・件名 2 (表のチェックボックス)

X-point で件名 2 に表示する項目をチェックします。

- ・ 表  
表定義に利用されているフィールドの場合、使用されている表の定義名を表示します。
- ・ Group  
グループ化されているフィールド（ラジオボタンなど）の場合、使用されているグループの定義名を表示します。
- ・ 項目名（編集可）  
フィールドの名称です。
- ・ ID（編集可）  
フィールドの ID です。
- ・ タイプ  
フィールドの型（テキスト、数値など）を表示します。
- ・ 必須  
X-point 上でフォームを利用する際、入力を必須とする場合にチェックします。
- ・ Uniq  
X-point 上でフォームを利用する際、書類の入力内容が保存される DB テーブルの中で一意である内容を登録する必要がある場合にチェックします。（申請連番、自動採番番号などの項目）

※ フォームプロパティなどで確認できます。

- ・ 順序 ( 、 )  
フィールドの順序を入れ替えます。

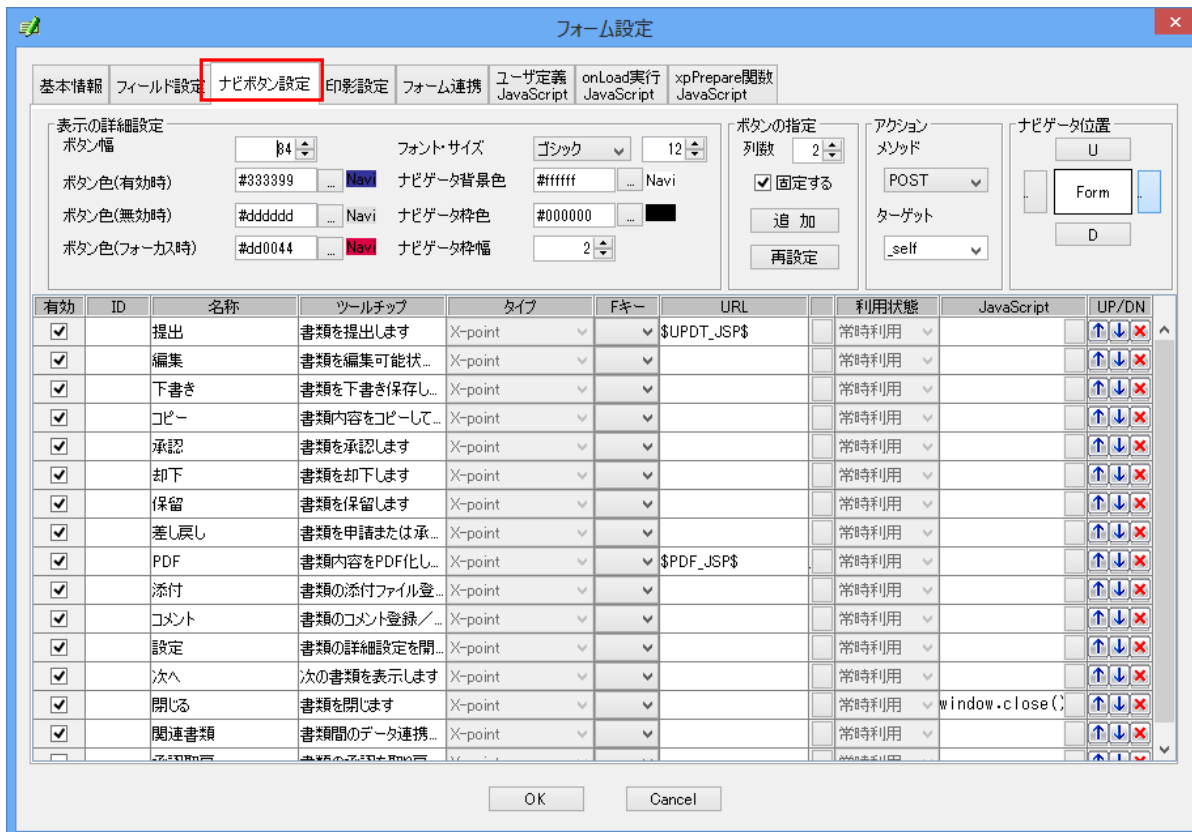
#### 特記事項

フィールドの移動順序の設定には、フィールド設定の「順序」と、フィールドのプロパティの「タブ移動順序」があります。この2つを併用した場合「タブ移動順序」の設定を優先するため、フィールドの移動順序は、「タブ移動順序」での設定を推奨いたします。

「タブ移動順序」の詳細は、後章 [「フィールドのプロパティ」](#) → [「属性プロパティの説明」](#) を参照してください。

### 3) ナビボタン設定

ブラウザ表示する際に、フォーム右側に表示されるナビボタンの設定を行います。



ナビボタン設定で指定できるナビボタンの内容は以下の通りです。通常フォームとワークフローフォームで利用できるナビボタンは異なります。また、ナビボタンを追加してユーザ独自のナビボタンを作成することもできます。

ナビボタン名	機能の説明	ワークフロー フォーム	通常 フォーム
提出	作成した書類を保存します。ワークフローフォームの場合承認へまわります。	○	○
編集	作成済みの書類を再編集可能な状態にします。	○	○
下書き	作成した書類を承認にまわさず下書き保存します。	○	×
コピー	作成済みの書類を流用して新規で書類を作成します。	○	○
承認	承認依頼のあった書類を承認して次の承認者へまわします。	○	×
却下	承認依頼のあった書類を却下して申請者へ戻します。	○	×
保留	承認依頼のあった書類を保留します。	○	×
差し戻し	承認依頼のあった書類を申請または前の承認者へ戻します。	○	×
承認取戻	一度承認した書類の取戻しを行いません。	○	×
PDF	表示している書類を PDF へ出力します。	○	○
添付	書類に添付ファイルをつけます。	○	○
コメント	書類にコメントをつけます。	○	×
設定	書類の各種設定、承認状況の確認の画面を開きます。	○	×

次へ	承認時に表示している書類の次の書類を開き、連続して承認を行います。	○	×
関連書類	関連書類の作成、閲覧を行ないます。	○	○
閉じる	書類を閉じます。	○	○

■ 表明表示の詳細

・ ボタン幅

ナビボタンの幅を指定します。

・ ボタン色 (有効時)

・ ボタン色 (無効時)

・ ボタン色 (フォーカス時)

ボタンの色を指定します。デフォルト状態では、有効ボタンは青(#333399)、無効時は灰色(#dddddd)、フォーカス取得時は赤色(#dd0044)で表示されます。



■ フォント・サイズ

ボタンに表示する文字のフォント種類とサイズを指定します。

■ ナビゲータ背景色

ナビゲータの背景(台紙になる部分)の色を指定します。

■ ナビゲータ枠色

ナビゲータ外枠の色を指定します。



- ナビゲータ枠幅  
ナビボタンを囲む枠の幅を指定します。

- ボタンの指定
  - ・列数  
ナビゲータに配置するボタンの列数を指定します。



- ・固定する  
チェックを外すと、ナビゲータをブラウザに表示する際、表示フォームをスクロールしてもナビボタンの位置がブラウザ中に納まるようになります。  
※チェックを外すと、iPhone, Android 端末など、ご利用端末の画面の高さが、ナビボタンの高さより小さい場合、ナビボタンの下部が切れて表示されませんのでご注意ください。
- ・追加（ボタン）  
ナビボタンの設定行を最後に 1 行追加します。
- ・再設定（ボタン）  
ナビボタンの設定内容を初期状態に戻します。  
ただし、基本情報のフォーム種別により設定される内容が変化します。
- アクション
  - ・メソッド  
ナビボタンの“タイプ”が“フォーム送信”である場合のデフォルト動作を指定します。初期値は“POST”になります。  
※本機能は旧バージョンとの下位互換のための機能となりますので、使用しないで下さい。
  - ・ターゲット  
ナビボタンの“タイプ”が“フォーム送信”である場合のターゲットウィンドウを指定します。指定リストからの選択以外に、任意のウィンドウ名を指定できます。初期値は“\_self”（同一フレーム内）になります。  
※本機能は旧バージョンとの下位互換のための機能となりますので、使用しないで下さい。
- ナビゲータ位置  
ナビボタンをフォームの周囲(上、下、右、左)のどこに配置するかを指定します。初期状態では右側になります。

## ■ ナビボタン一覧

### ・有効(チェックボックス)

ナビボタンをクリック可能にするか否かを指定します。

### ・ID

ナビボタン ID 名。eFormMaker のプレビューで X-point の “xpPrepare” で始まる function に関する動作確認を実施したい場合に必須となります。

### ・名称

ナビボタンに表示するラベルを指定します。

### ・ツールチップ

ナビボタン上で表示するツールチップを指定します。

### ・タイプ

ナビボタンをクリックした際のイベント発生種類を指定します。

## 【種類】

### ① 標準(\_top)

JavaScript の `location.href` を利用した場合と等価です。表示する際のブラウザターゲットが常に “\_top” になります。JavaScript 項目と併用することで、`location.href` を実行する前のチェックを行うことができます。

### ② 別ウィンドウ

JavaScript の `window.open` を利用した場合と等価です。JavaScript 項目と併用することで、`window.open` を実行する前のチェックを行うことができます。

※ 別ウィンドウでページを表示させたい場合は、「Option 指定画面」の「ターゲット」を「\_blank」に指定する必要もあります。

### ③ フォーム送信

フォームの内容を指定 URL に送信します。PDF 印刷などに利用します。

JavaScript 項目と併用することで送信を実行する前のチェックを行うことができます。

### ④ JavaScript

JavaScript 項目に指定されている内容を直ちに実行します。

- ・ **F** キー

キーボードのファンクションキーをナビボタンに割り当てる際に利用します。

- ・ **URL**

タイプに“フォーム送信”、“別ウィンドウ”を指定した場合にURLを指定します。

URL 右側のボタンはタイプが“X-point”で無い場合に限り操作することができ、ウィンドウ操作時のオプションを指定することができます。

- ・ オプション詳細 (URL 欄と利用状態欄の間にあるボタン)

“標準(\_top)”、“フォーム送信”、“別ウィンドウ”を実行する際の詳細動作を指定します。

The image shows a dialog box titled "Option指定画面" (Option specification screen). It contains the following fields and controls:

- アクション** (Action): A text input field containing "form\_pdf.jsp".
- ターゲット** (Target): A dropdown menu with "\_top" selected.
- 別ウィンドウ** (Separate Window): A section with a checked checkbox "ウィンドウサイズ指定" (Specify window size). To its right are two spinners: "width" set to 300 and "height" set to 150.
- 表示Option** (Display Option): A large empty text area.
- Buttons: "OK" and "Cancel" at the bottom.

- 1) アクション

URL 欄に指定した内容が表示されます。

- 2) ターゲット

別ウィンドウを指定した際に新たに開くフォーム、フォーム送信を行う場合に送信先のフォームをどのウィンドウに対して実行するかを指定します。

- 3) 別ウィンドウ

別のブラウザ画面を表示するような動作をする場合、表示されるウィンドウのサイズを指定する場合にチェックします。

- 4) 表示オプション

別のブラウザ画面を表示する場合に表示オプションの詳細を設定できます。**JavaScript** の **window.open** に記述できる **Option** なら **width**、**height** 以外ならば何でも記述できます。但し、利用されるブラウザにより問題が生じる可能性がありますので注意して利用してください。

## ・利用状態

**X-point** で利用する場合にボタンの状態を制御します。フォームを **X-point** にアップロードした後の動作はワークフローの状態により変わります。

### ① 編集時利用

提出ナビボタンが利用できる場合に有効となる。

承認者が編集状態にしても有効とならない。

### ② 編集不可時利用

編集ナビボタンが利用できる場合に有効となる。(現在承認者で書類を表示した場合など)

承認完了書類や既に承認した書類などは有効とならない。

### ③ 承認者のみ

承認ナビボタンが利用できる場合に有効となる。

承認完了書類や既に承認した書類などは有効とならない。

## ・JavaScript

タイプの指定内容により動作が異なります。

### ① X-point、標準、別ウィンドウを指定した場合

ウィンドウを開く前にフォーム上の項目を **JavaScript** でチェックを行うことができます。記述する **JavaScript** を「**return true**」で終了するとウィンドウを開きます。「**return false**」で終了するとウィンドウを終了します。

次のような **JavaScript** を記述した場合「はい (Y)」を選ぶとウィンドウを開き、「いいえ (N)」を選ぶとウィンドウを開きません。

```
if (!confirm('提出してもよいですか?')) {  
    return false;  
}
```

タイプに“**X-point**”を指定している場合は、**URL** 欄でウィンドウを指定することはできません。**X-point** サーバが割り当てを行いません。

### ② フォーム送信を指定した場合

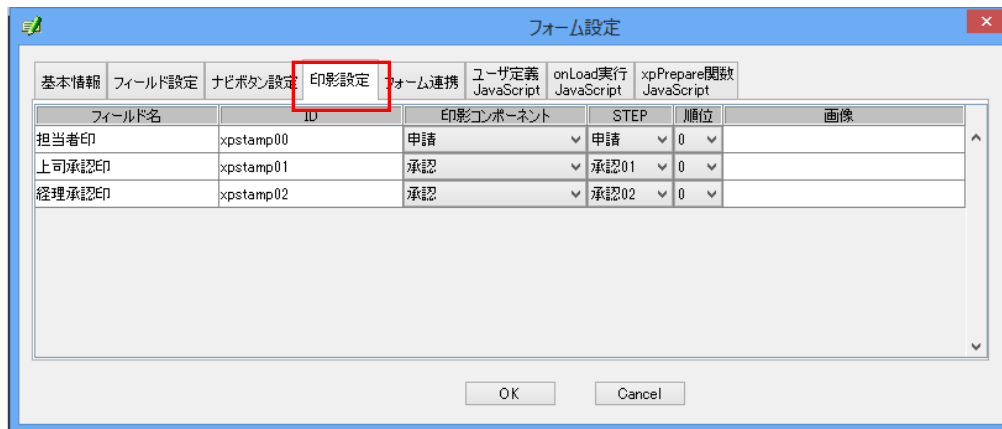
フォーム送信を行う前にフォーム上の項目を **JavaScript** でチェックを行うことができます。記述ルールは「① 標準、別ウィンドウを指定した場合」と同じです。

### ③ JavaScript を指定した場合

ボタンクリック後、直ちに実行する **JavaScript** を記述します。

#### 4) 印影設定

X-point との接続情報が指定されている場合に限り、印影フィールドで使用する印影コンポーネントが指定できます。



##### ■ 印影フィールドの一覧

- フィールド名

印影フィールド名

- ID

印影フィールドの ID 名

- 印影コンポーネント

X-point 連携設定が可能な状態であれば、X-point 側に登録されている印影コンポーネントを選択指定することが可能になります。

- STEP

X-point ワークフローに対応する承認ステップ番号を指定します。

“無効”を指定された印影は X-point のワークフロー動作中の表示が行われません。表示させたくない印影には“無効”を指定します。

- 順位

同一の承認ステップ内で複数の印影フィールドを利用する場合（AND、OR 利用時）は、全てのユーザーが同時に承認を行うわけではありません。その為、承認したユーザーから順に印影が表示されることとなります。その際の印影を表示する順番を指定します。

※ 順位は 0 からはじめる必要があります。

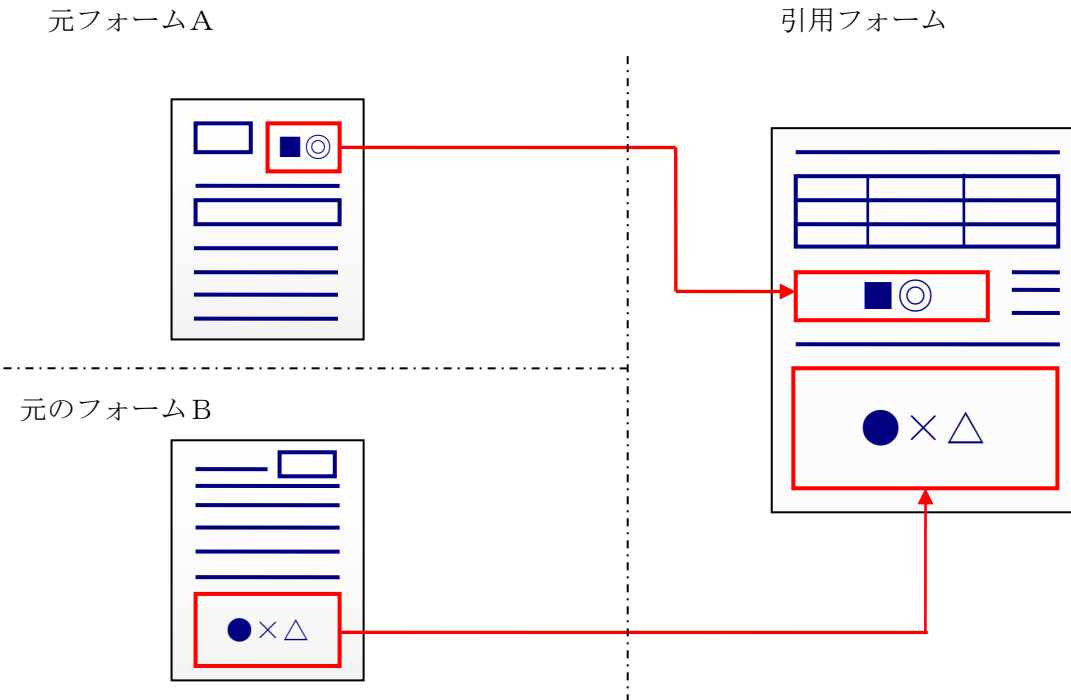
- 画像

承認の際に承認者の印影を表示するのではなく、画像を表示させる場合に画像イメージを指定します。承認後に社印などを表示させるような場合に利用します。

## 5) フォーム連携

X-point でフォーム連携機能を利用する場合に指定します。フォーム間連携を設定することで、X-point 上で新規書類を作成する際、既存の書類の内容を引用した書類を容易に作成できるようになります。フォーム間連携の指定は、作成の元となるフォームの種類分の設定を行うことができます。

### 【フォーム連携イメージ図】



- 元フォームと引用フォームの特定のフィールドを関連付けることによって、元フォームに入力されたデータを引用フォームのフィールドにデータの引用ができます。

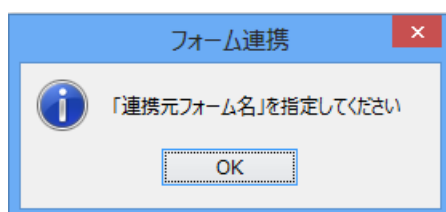
フォーム連携の設定は、新たに作成する書類の元となるフォームの特定（引用元）と、元書類（データ）の項目が新たに作成するフォームの何処に対応するかを指定する2種類の情報から作成されます。

## 【登録情報】

連携情報を管理するための項目と、作成、保存、削除を行う際に利用する機能を説明します。

No.	元フォーム名/元マスタ名/元固有マスタ名	元フォーム・キー項目	対応フィールド	操...
1	- フォームグループ - - マスタ/固有マスタ...	項目 1: -- フィールド名 -- 項目 2: -- フィールド名 -- 項目 3: -- フィールド名 -- 項目 4: -- フィールド名 --	項目 1: -- フィールド名 -- 項目 2: -- フィールド名 -- 項目 3: -- フィールド名 -- 項目 4: -- フィールド名 --	↑ × ↓

- ①関連書類からのみ申請可能  
チェックをつけたフォームは、提出画面、提出ガジェットに表示されなくなります。（関連書類の画面の「作成可能な書類の一覧」には、チェックの有無を問わずフォーム表示されます。）
- ②データソース定義リスト（画面左端）  
定義されているデータソースの一覧表です。定義名をクリックすると、画面右側の定義情報がクリックしたデータソースの情報に切り替わります。
- ③ID  
データソースの管理名称を指定します。既存情報の名称変更、新規登録時の名称設定を行います。
- ④連携元フォーム選択リストボックス  
作成元となるフォーム名を指定します。フォームグループ、フォームの順に指定します。フォームグループの指定を行わないとフォーム名の指定はできません。連携元フォームの指定を省略すると登録時にエラー表示が行われ保存できません。



■ 「新規」 ボタン

新たにデータソース定義を作成する場合にクリックします。連携の登録が0件の場合は、新規登録の状態で画面が開きます。

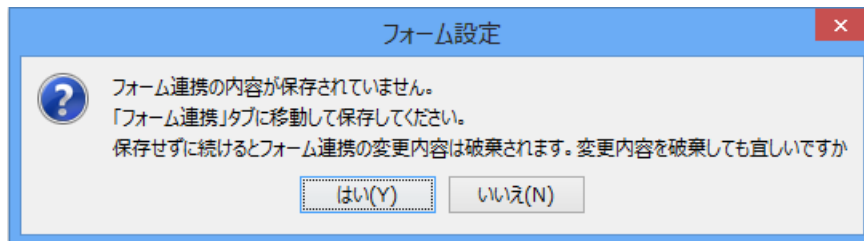
■ 「保存」 ボタン

新規作成、編集を行った連携定義を保存します。但し、フォーム設定画面の「OK」 ボタンを押さない限りフォーム自体への反映は行われません。


■ 「削除」 ボタン

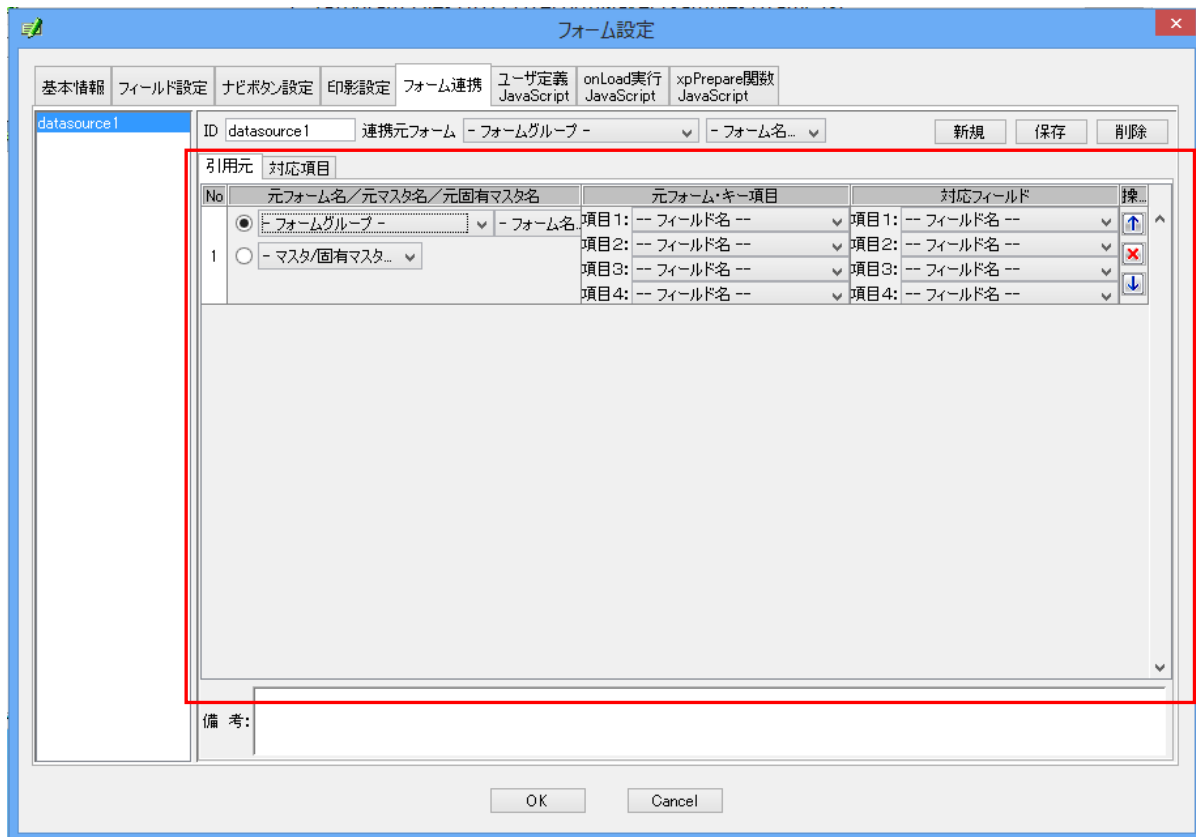
表示中のデータソースを削除します。但し、フォーム設定画面の「OK」 ボタンを押さない限りフォーム自体への反映は行われません。






フォーム連携の内容を変更せずにデータソースの変更や、フォーム設定の「OK」 ボタンを操作すると修正内容を破棄するか否かの表示が行われます。



## 【引用元】

「引用元」タブでは初期値設定の元となるフォームを特定するために必要な項目を指定します。複数フォームから引用する場合は、 ボタンを操作して引用元指定の行を追加し設定を行います。



No.	元フォーム名/元マスタ名/元固有マスタ名	元フォーム・キー項目	対応フィールド	操...
1	フォームグループ - フォーム名	項目1: -- フィールド名 --	項目1: -- フィールド名 --	 
	- マスタ/固有マスタ...	項目2: -- フィールド名 --	項目2: -- フィールド名 --	
		項目3: -- フィールド名 --	項目3: -- フィールド名 --	
		項目4: -- フィールド名 --	項目4: -- フィールド名 --	

- No

データソース指定の番号です。

- 元フォーム名/元ユーザ固有マスタ

データ引用元となるフォーム名、ユーザ固定マスタを指定します。

**！注意事項**

フォームグループ名が長い場合、フォーム名を選ぶ項目が隠れてしまう場合があります。隠れてしまう場合は、フォーム設定のダイアログ画面をリサイズし大きく広げてください。

- 元フォーム・キー番号

元フォームを一意に確定するために必要なキー情報を指定します。最大4項目の指定が可能です。

- 対応フィールド

元フォームのキーが、作成中のフォームと対応するフィールド名を指定します。

- 操作 (, , )

データソース定義行の追加、削除を行います。 は前に挿入、 は後ろに挿入、 は削除です。

## 【対応項目】

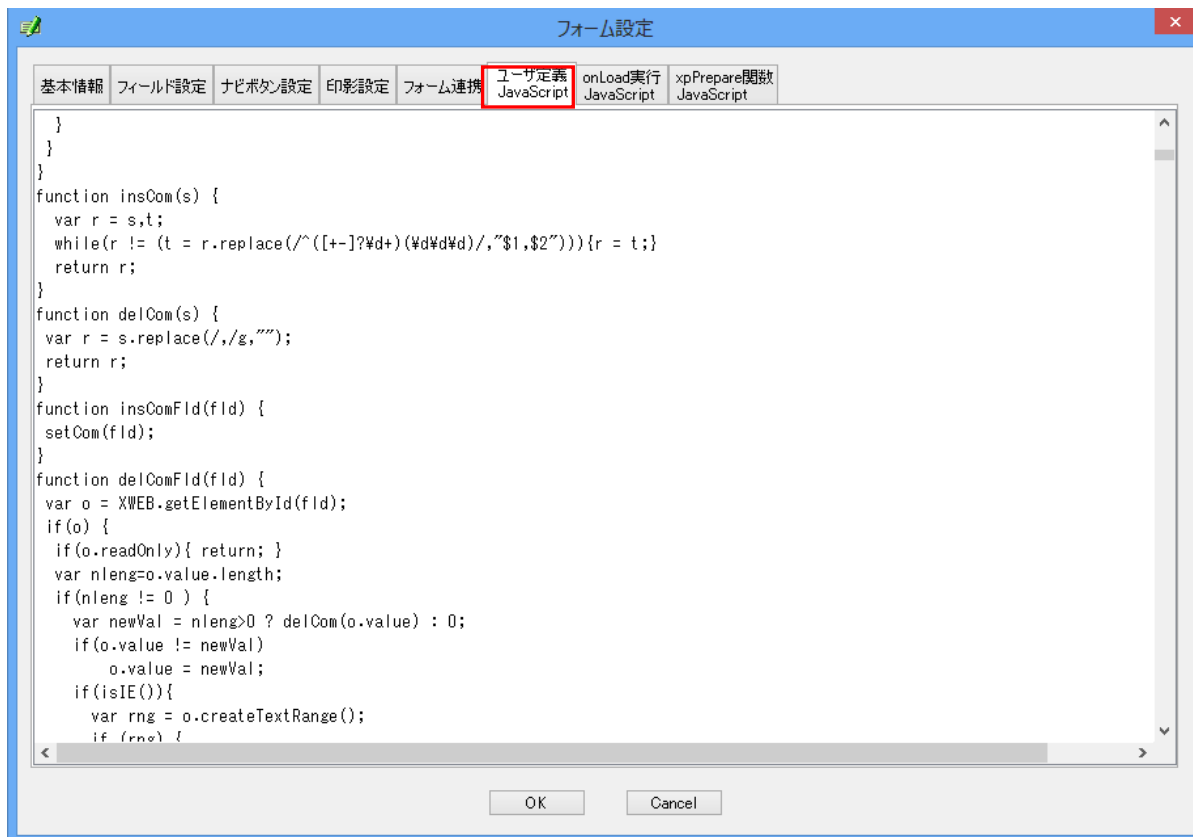
データソースで指定した元フォームから取得できるデータを、作成中のフォームに対応付けます。

No.	項目名	元フォーム/元マスタの項目名	フィールド値
1	出発駅 (from)	-- フォーム名/マスタ名 --	<input checked="" type="radio"/> 対応
2	目的駅 (to)	-- フォーム名/マスタ名 --	<input checked="" type="radio"/> 対応
3	経由駅 (via)	-- フォーム名/マスタ名 --	<input checked="" type="radio"/> 対応
4	乗物種別A (car_typea)	-- フォーム名/マスタ名 --	<input checked="" type="radio"/> 対応
5	金額 (cost)	-- フォーム名/マスタ名 --	<input checked="" type="radio"/> 対応
6	外出月日 (gowhen)	-- フォーム名/マスタ名 --	<input checked="" type="radio"/> 対応
7	外出先 (gowhere)	-- フォーム名/マスタ名 --	<input checked="" type="radio"/> 対応
8	外出用件 (gofor)	-- フォーム名/マスタ名 --	<input checked="" type="radio"/> 対応
9	食事料 (food_cost)	-- フォーム名/マスタ名 --	<input checked="" type="radio"/> 対応
10	合計 (total_cost)	-- フォーム名/マスタ名 --	<input checked="" type="radio"/> 対応
11	何年 (year)	-- フォーム名/マスタ名 --	<input checked="" type="radio"/> 対応
12	何月 (month)	-- フォーム名/マスタ名 --	<input checked="" type="radio"/> 対応

- No  
設定可能なフィールドが表示されます。
- 項目名  
作成中のフォーム項目名、ID名を表示します。
- 元フォームの項目名  
データの引用元となる項目をフォーム名とID名で指定します。
- フィールド値  
固定表示です。

## 6) ユーザ定義 JavaScript

ファイルメニューの「JavaScript の挿入」で取り込んだ JavaScript の確認・修正を行うことができます。取り込んだ JavaScript はブラウザにフォームを表示する際に指定する JavaScript として利用できます。指定内容は TSF ファイルと一緒に保存されます。



### ▶ 特記事項

設定した JavaScript はブラウザ上に配置する「ボタン」、フィールドのアクションに指定することができます。

### ! 注意事項

ユーザー定義 JavaScript での記述は、変数の定義、JavaScript function の定義のみになり、API の実行は出来ません。変数定義の場合であっても初期化に X-point API の実行を伴う場合は、変数定義のみ記述してください。

#### ■ 良い例

```
var messageStr = “書類申請が完了しました” ;
```

#### ■ 悪い例

```
var messageField = XWEB.getXPObject( 'textfield1' );
```

記述が必要な場合は次のように分けて記述します。

\*ユーザー定義 JavaScript では

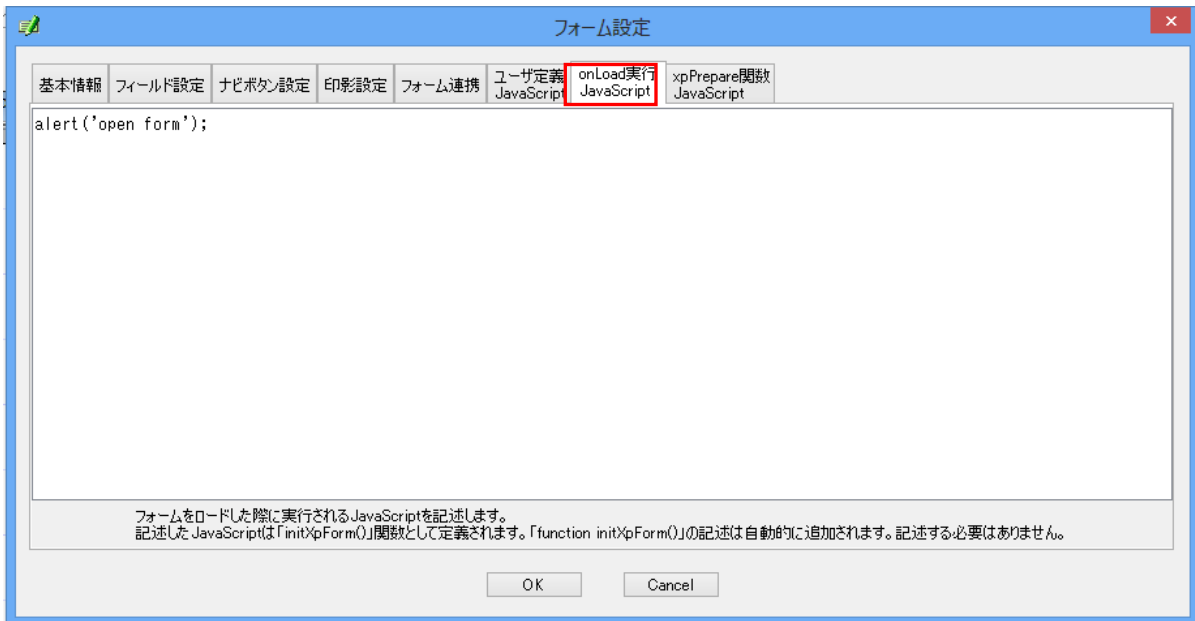
「var messageField;」のみ記述

\*onLoad 実行 JavaScript に

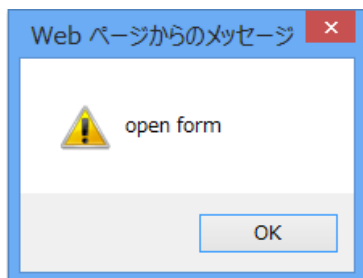
「messageField = XWEB.getXPObject( 'textfield1' );」を記述

## 7) onLoad 実行 JavaScript

ブラウザにフォームを表示した直後に実行する JavaScript を記述します。  
例えば、`alert('open form');` と記述しておく



ブラウザ表示の際に `alert` が表示されます。



従来のバージョンでは、ユーザ定義 JavaScript に “initXpForm” という名称で作成していたものと同じです。

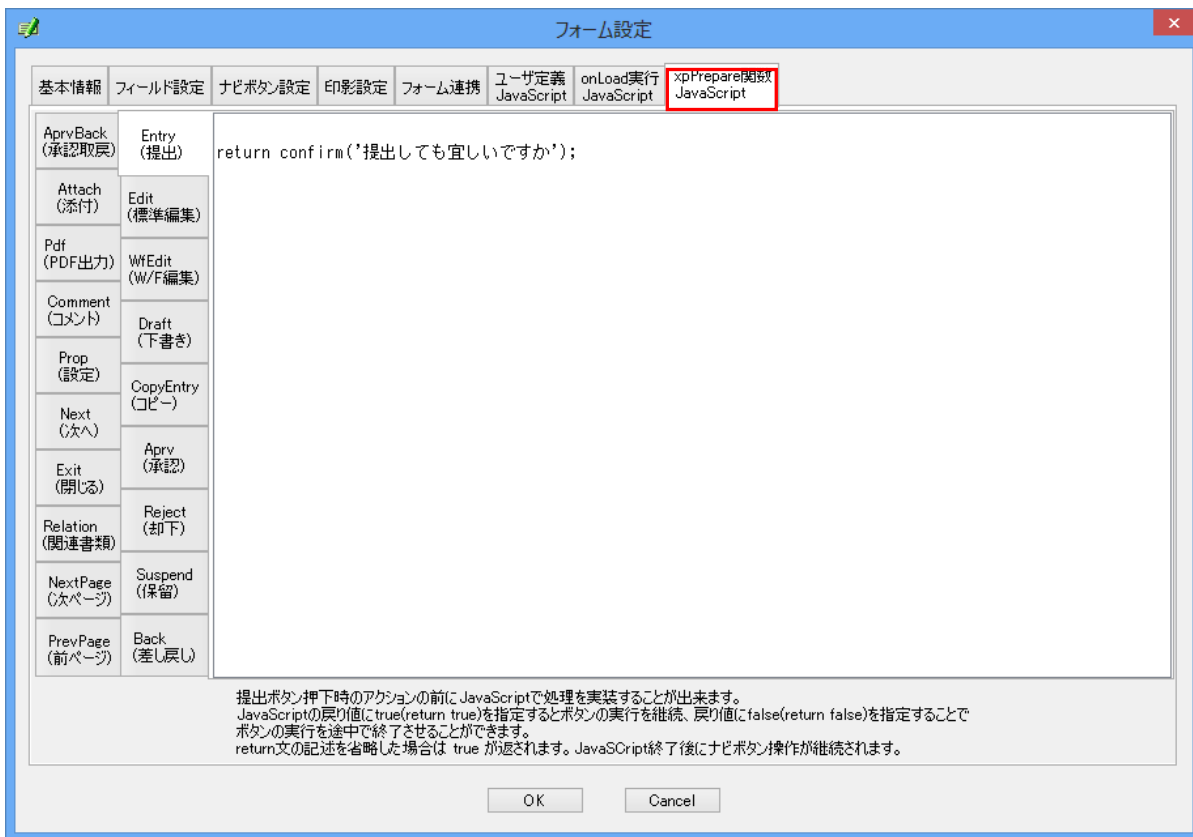
【旧バージョンでの記述方法】(X-point v2.0 以前から利用のフォーム等)

ユーザ定義 JavaScript に “initXpForm” 関数を作成しておく。

```
function initXpForm() {  
    alert('open form');  
}
```

## 8) xpPrepare 関数 JavaScript

X-point の入力フォームにおいて提出ボタン押下時などのナビボタン操作時に、実際の処理に移る前の処理を JavaScript で実装することができます。記述する JavaScript は各ナビボタンに対応したタブで記述を行います。



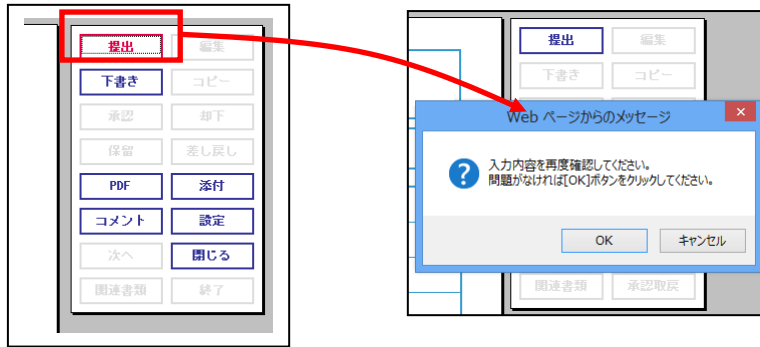
- ※ 戻り値に false を返すと以後のアクション（ナビボタンの実行）が行われません。
- ※ ナビボタン設定で各ボタンに指定できる JavaScript と xpPrepare 関数では基本的に同じ動作が行なわれます。
- ※ ナビボタンに設定する JavaScript と xpPrepare 関数で記述する関数は、xpPrepare 関数で記述する関数が先に実行されます。
- ※ ユーザ定義 JavaScript にも“xpPrepareEntry”等の同じ名称の関数が定義されている場合、ユーザ定義 JavaScript 側が優先されます。

例えば、提出タブに次のような内容を記述した場合

```
flag = confirm(' 入力内容を再度確認してください。¥n 問題がなければ[OK] ボタンをクリックしてください。');  
return flag;
```

提出ボタンを操作した際の動作は

- ▼ 提出ボタンを押下すると・・・
- ▼ 確認ダイアログが表示される



詳細は、「JavaScript プログラミングガイド」を参照して下さい。

## 2.6 水平線・垂直線・長方形枠・塗りつぶしの描画

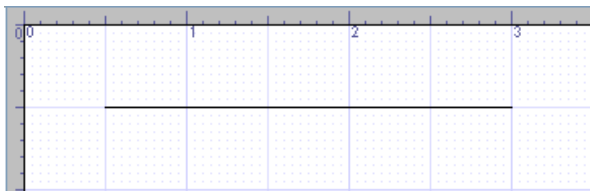
ブラウザ上に表示する用紙の罫線となる部分を、水平線、垂直線、直線、長方形枠、長方形を組み合わせて作成します。作成時にはアイコンメニューより各アイコンをクリックしてフォーム作成エリアにマウสดラッグで描画します。



### 1) ツールの種類

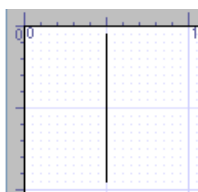
#### 水平線ツール

画面に水平線を描画します。



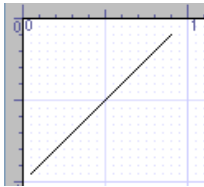
#### 垂直線ツール

画面に垂直線を描画します。



#### 直線ツール

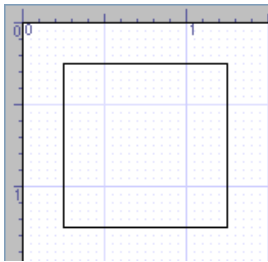
水平線、垂直線、斜線を描画します。



#### ☐ 長方形枠ツール

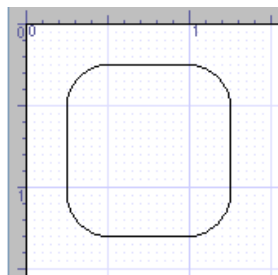
長方形の枠線を描画します。

また描画時にプロパティのコーナーRに数値を入力すると角にRがつきます。



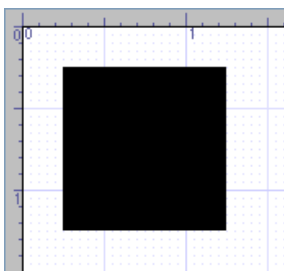
#### 【プロパティ (数値入力)】

属性名	値
タグ名	rectangle1
ID	rectangle1
タイプ	7
X座標	115
Y座標	75
幅	225
高さ	190
色	#000000
線幅	—
線種	実線
コーナーR	25



#### ☐ 長方形ツール

長方形を描画します。

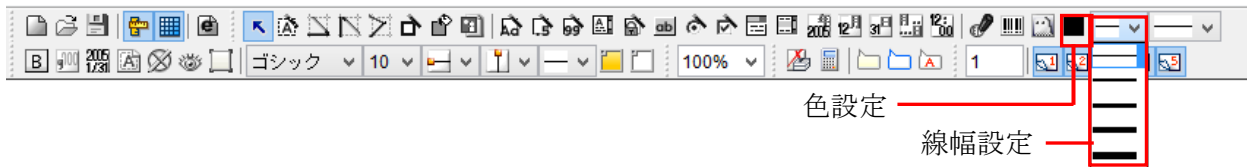


## 2) 線幅と色の指定

描画した線の太さ、色を変更するにはアイコンメニューバーから変更をするか、プロパティから変更を行います。

- 線幅は水平線、垂直線、直線、長方形枠線が設定変更できます。

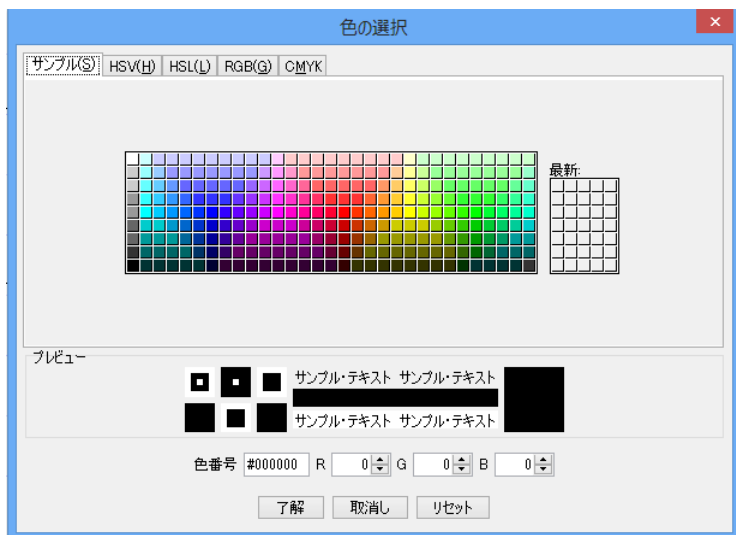
### 【アイコンメニューバー】



### 【プロパティ】

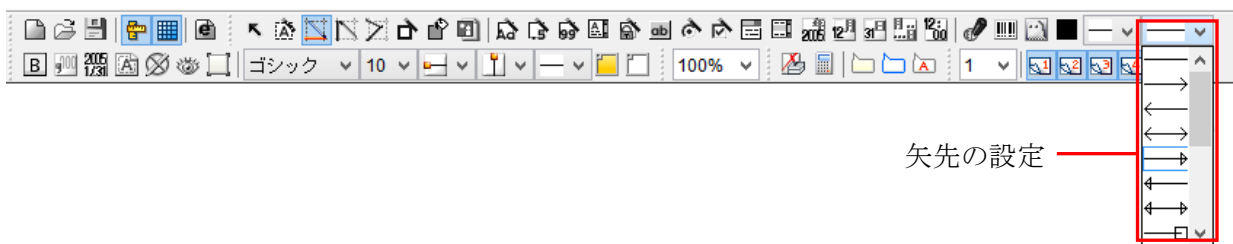
属性名	値
タグ名	hline1
ID	hline1
タイプ	5
X座標	250
Y座標	35
長さ	195
色	#000000
線幅	—
線種	実線
矢先	—

色変更の際にはカラーパレットが表示されますので、クリックして色を選択します。

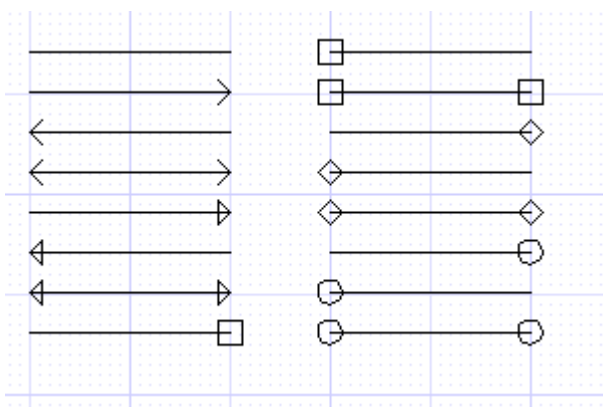


### 3) 矢先、線種の指定

水平線、垂直線、直線に限り矢先を表示させることができます。矢先の種類は4種類から選ぶことができます。



#### 【矢先例】



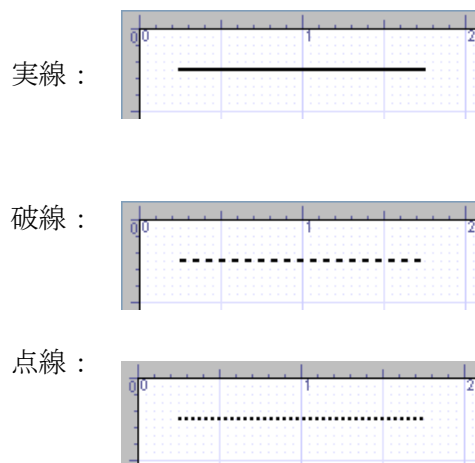
プロパティからも矢先種類を指定することができ線種も変更することもできます。

- 線種の変更はプロパティからのみになります。

#### 【プロパティ】

属性名	値
タグ名	hline1
ID	hline1
タイプ	5
X座標	250
Y座標	35
長さ	195
色	#000000
線幅	—
線種	実線
矢先	—

#### 【線種例】



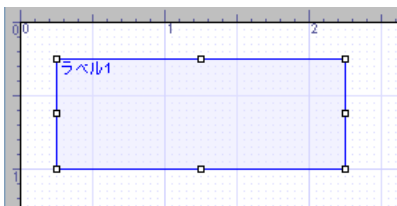
## 2.7 文字ラベル

文字をラベルとして表示する場合には、アイコンメニューバーの文字ラベルツールのアイコンをクリックして描画します。



### 1) ラベルの作成

アイコンメニューバーより文字ラベルツールのアイコンをクリックし、フォーム作成エリアにマウสดラッグで文字を入力するエリアを描画します。

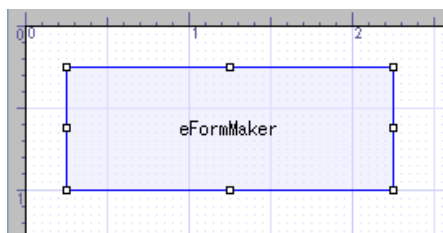


### 2) 初期文字列の指定

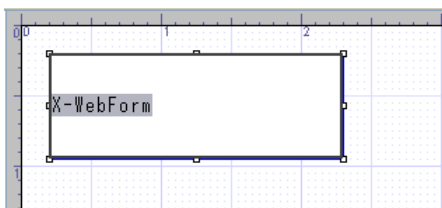
ラベルに文字入力をするには、プロパティの初期値の欄に入力し Enter キーをクリックして完了です。

- プロパティの入力欄に内容を入力後は必ず Enter キーをクリックしてください。

属性名	値
タグ名	ラベル1
ID	label1
タイプ	4
X座標	70
Y座標	130
幅	175
高さ	35
色	#000000
初期値	eFormMaker
縦書き	False
無効	False
不可視	False
背景色	
枠線付き	False
枠線幅	
枠線色	#000000
行番号	False



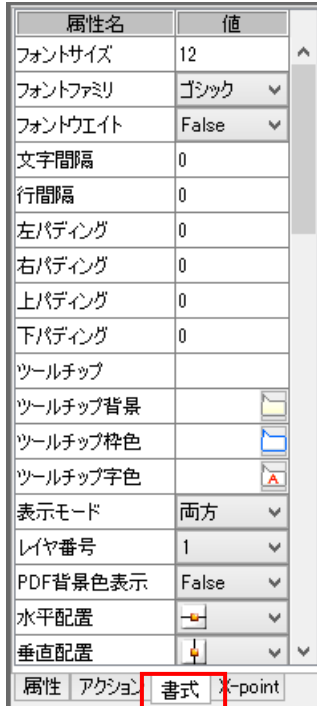
フィールドをダブル・クリックするとデザイン画面上で直接“初期値”を入力することも出来ます。



### 3) 書式の指定

プロパティでラベルのフォント・サイズ、フォントカラー、描画したエリア内での文字位置、余白の設定を行うことができます。設定を行うためには、プロパティ欄の下部にある書式のタブをクリックして表示を切り替えます。

#### 【プロパティ書式欄表示に切り替え】



表示を切り替えた後は、各項目の欄に数値等を入力します。

#### 【フォント・サイズ】

画面表示される文字サイズを設定します。

#### 【フォント・ファミリー】

表示されるフォント種類を設定します。

設定可能なフォント

- ・ ゴシック
- ・ 明朝
- ・ P ゴシック
- ・ P 明朝

#### 【フォント・ウェイト】

画面上で表示される文字を太字にします。

フォント・ウェイトの設定はリストボックスから「False」「True」を選択します。

- ・ 「False」：細字
- ・ 「True」：太字

## 【文字間隔】

画面上に表示される文字の間を設定します。

## 【パディング】

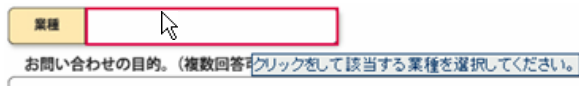
描画したエリア内における文字等の余白設定をします。

- ・ 左パディング：エリア内の左の余白を設定します。
- ・ 右パディング：エリア内の右の余白を設定します。
- ・ 上パディング：エリア内の上の余白を設定します。
- ・ 下パディング：エリア内の下の余白を設定します。

## 【ツールチップ】

作成したフォームをブラウザでプレビューした時に、描画したエリア内にカーソルを移動すると情報が表示されます。

### 【ツールチップ表示例】



※フォームのプレビューに関しては「[プレビュー](#)」を参照して下さい。

- ・ ツールチップ：この欄にポップアップ情報の内容を入力します。
- ・ ツールチップ背景：ポップアップ情報の背景色を設定します。
- ・ ツールチップ枠色：ポップアップ情報の枠の色を設定します。
- ・ ツールチップ字色：ポップアップ情報のフォントカラーを設定します。

## 【表示モード】




描画したラベルがブラウザ、PDF で表示のオンオフを設定します。

※フォームの PDF 表示に関しては4-28を参照して下さい。

- ・ 両方：ブラウザ、PDF 両方で表示します。
- ・ ブラウザのみ：ブラウザでしか表示されません。
- ・ PDF のみ：PDF でしか表示されません。




## 【水平配置】

ラベル内に入力した文字の配置、水平位置を設定します。

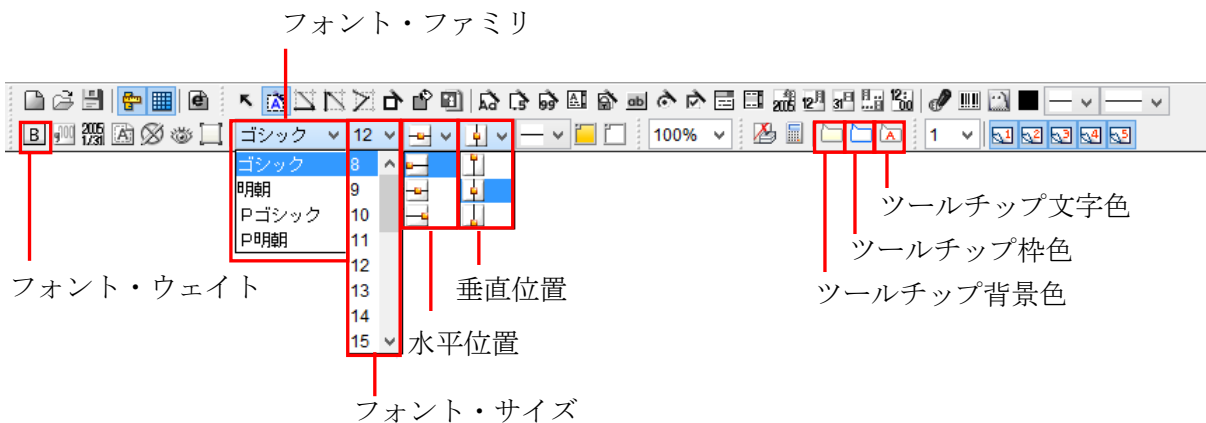
- ・  水平位置 (左)：入力内容を描画エリア左に配置します。
- ・  水平位置 (中)：入力内容を描画エリア左右方向中央に配置します。
- ・  水平位置 (右)：入力内容を描画エリア右に配置します。

## 【垂直配置】

ラベル内に入力した文字の配置、垂直位置を設定します。

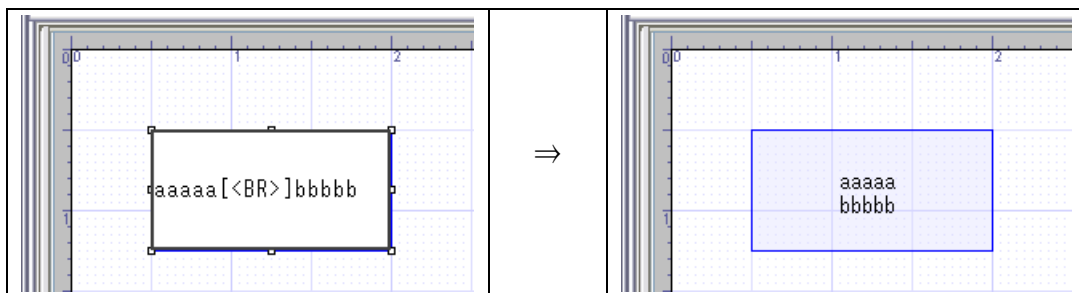
-  垂直位置 (上) : 入力内容を描画エリア上に配置します。
-  垂直位置 (中) : 入力内容を描画エリア上下方向中央に配置します。
-  垂直位置 (下) : 入力内容を描画エリア下に配置します。

- プロパティ書式欄で設定する項目のうち【フォント・サイズ】【フォント・ファミリー】【フォント・ウェイト】【ツールチップ背景】【ツールチップ枠色】【ツールチップ字色】【水平配置】【垂直配置】メニューバーより設定を行うことができます。
- ツールチップの各アイコンをクリック後、別ウィンドウで色設定が表示されます。



## 4) ラベル初期値で利用できる特殊文字列

ラベル初期値内で“[<BR>]”を使用するとラベルを途中で改行させることができます。



## 5) X-point 書類情報

フォームを表示した際に X-point のデータベースに格納された書類情報を表示させることができます。指定は、プロパティの「X-point」タブにて行ないます。

【例：書類の番号】



例で指定している“docid”の場合は、書類がデータベースに登録された際に X-point が書類を管理する番号がラベルに表示されるようになります。

【指定できるパラメータ】

設定値	X-point 上での表示
docid	書類管理番号、システム上で一意となる値

## 6) URL リンク

フォーム上に URL リンクを作成することができます。リンク指定はプロパティの「属性」タブにて行ないます。

【設定例】

ページ番号	False
頁枚数	False
移動禁止	False
表示URL(HREF)	http://www.atled.jp/
表示ウィンドウ(TARGET)	_blank
Link下線	True
Link下線色	#ff0000
Linkカーソル	help


属性 アクション 書式 X-point

【設定項目】

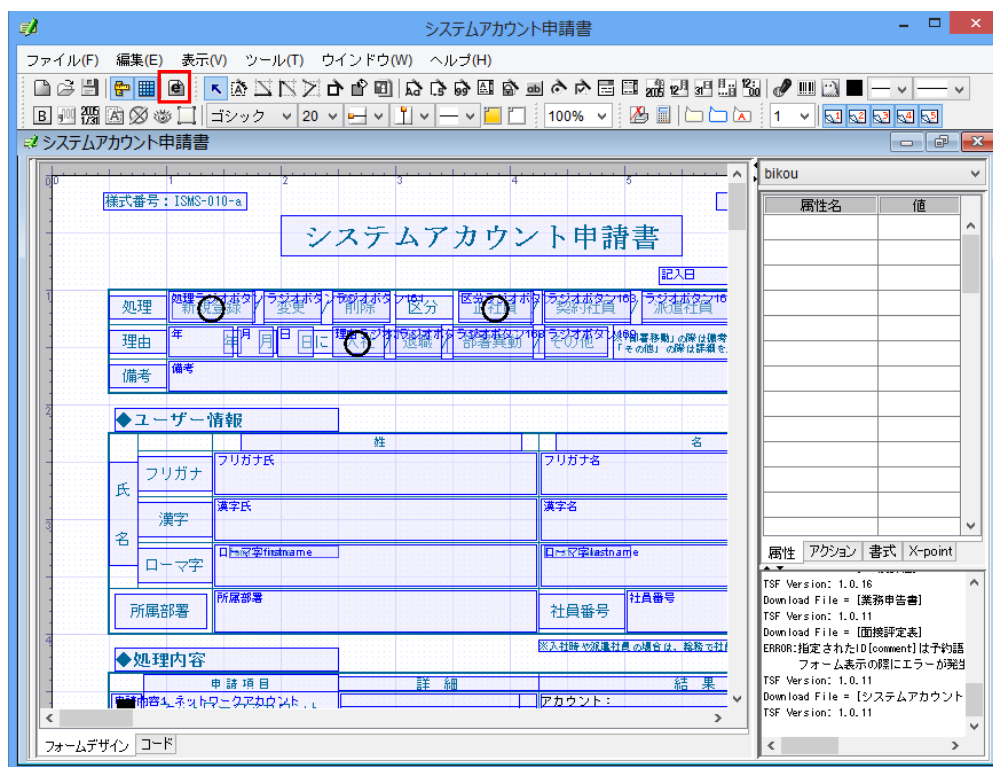
<b>[ 表示 URL(HREF) ]</b>
リンク先の URL を指定します。
<b>[ 表示ウィンドウ(TARGET) ]</b>
フォームを表示している同じウィンドウとは別のウィンドウで表示したい場合は「_blank」と指定します。
<b>[ Link 下線 ]</b>
表示リンクに下線を表示する場合は、「True」を指定します。
<b>[ Link 下線色 ]</b>
表示リンクに下線を表示する場合は、ここで下線の色を指定します。
<b>[ Link カーソル ]</b>
リンク上にマウスが乗った際の、ポインタの種類を選べます。



## 2.8 プレビュー

アイコンメニューバーにある  プレビューボタンを押すと、X-point eFormMaker に内蔵された JSP エンジンが起動され、作成中のフォームが実際にブラウザ表示された状態で確認することができます。

X-point eFormMaker 起動後の最初の 1 回に限り、JSP エンジンの起動に時間が掛かる場合があります。



- ブラウザに表示されるフォームや PDF 化した場合に表示される文字の状態やピッチはデザイン画面に表示されている状態と異なります。実際に運用する場合の画面はブラウザや PDF になりますので、プレビューはこまめに行って表示されるイメージの確認を行うようにして下さい。
- 内蔵エンジンはポート番号 18088 で動作します。このポート番号が利用できない場合は、動作環境の設定メニューよりあいている別のポート番号に変更してください。
- プレビュー画面はレイアウト確認のみ行うことができます。各種フォーム・コンポーネントは動作いたしません。

ブラウザに表示されるプレビュー表示の右上には、ナビボタンが表示されます。PDF ボタンをクリックすることで、PDF に出力した場合の確認も行うことができます。

【フォーム・ブラウザプレビュー】

システムアカウント申請書

2013年02月15日

処理	新規登録 / 変更 / 削除	区分	正社員 / 契約社員 / 派遣社員 / アルバイト
理由	2013年02月15日に入社 / 退職 / 部署異動 / その他 ※「部署移動」の際は備考欄に移動先を、「その他」の際は詳細を必ず記入して下さい。		
備考			

◆ユーザー情報

氏名	フリガナ	姓		名	
	漢字				
	ローマ字	family name	first name		
所属部署			社員番号		

◆処理内容

申請項目	詳細	結果
<input checked="" type="checkbox"/> ネットワークアカウント	-	アカウント： パスワード：
<input checked="" type="checkbox"/> メールボックス	-	
<input type="checkbox"/> Exchangeグループ	所属部署以外に追加したい部署がありましたらお書き下さい。	所属グループ：
<input checked="" type="checkbox"/> ガルーン2アカウント	-	アカウント： パスワード：
<input type="checkbox"/> メールアドレス追加	追加先メールアドレスのアドレ...	

【フォーム・PDFプレビュー】

システムアカウント申請書

2013年02月15日

処理	新規登録 / 変更 / 削除	区分	正社員 / 契約社員 / 派遣社員 / アルバイト
理由	2013年02月15日に入社 / 退職 / 部署異動 / その他 ※「部署移動」の際は備考欄に移動先を、「その他」の際は詳細を必ず記入して下さい。		
備考			

◆ユーザー情報

氏名	フリガナ	姓		名	
	漢字				
	ローマ字	family name	first name		
所属部署			社員番号		

◆処理内容

申請項目	詳細	結果
<input checked="" type="checkbox"/> ネットワークアカウント	-	アカウント： パスワード：
<input checked="" type="checkbox"/> メールボックス	-	
<input type="checkbox"/> Exchangeグループ	所属部署以外に追加したい部署がありましたらお書き下さい。	所属グループ：
<input checked="" type="checkbox"/> ガルーン2アカウント	-	アカウント： パスワード：
<input type="checkbox"/> メールアドレス追加	追加先メールアドレスのアドレ...	
<input checked="" type="checkbox"/> テレワークアカウント	-	アカウント： パスワード：
<input type="checkbox"/> フルタイムアカウント	-	アカウント： パスワード：
<input type="checkbox"/> パートタイムアカウント	-	アカウント： パスワード：

- プレビュー画面に数値やテキストを入力した後に、PDF ボタンを押すと入力した内容が PDF 画面にも表示されます。
- PDF プレビューは PDF ファイルのダウンロードとして実行されます。
- PDF プレビューを行った際に PDF を表示する為には、利用するブラウザが PDF ビューワを内蔵しているか、クライアント PC に「Adobe Reader」がインストールされている必要があります。
- PDF プレビューの中央に「ATLED」が表示されます。これは eFormMaker が試用ライセンスで PDF を表示する仕様になっている為で、運用ライセンスで作成した PDF ではないことを示す為のものです。運用ライセンスで動作している X-point サーバにアップロードすると、これらのロゴは表示されなくなります。

## 2.9 入力フィールドの定義

入力フィールドの設定は、アイコンメニューバーの各アイコンをクリックして、ラベル同様フォーム作成エリアに入力エリアを描画します。

※ 各入力フィールドに指定できるプロパティ（属性、書式、X-point コンポーネント）の説明は[フィールドのプロパティ](#)を参照下さい。



- 入力フィールドの「タグ名」「ID名」は、必ず分かりやすい任意名称を指定して下さい。  
入力フィールドの「タグ名」「ID名」はその後、以下の設定画面から表示されます。
  - ・メニュー【フォーム設定】→「フィールド設定」タブ画面
  - ・数値・整数フィールドに対する自動計算設定画面
  - ・X-point コンポーネント設定画面

### 1) 文字フィールド

名前の通りフォーム内に文字テキストを入力するエリアを作成します。ただ、改行入力機能は持っていないので改行を行いたいのであればテキストエリアを使用します。

またプロパティのIMEモードを「Off」「On」「Disable」に切り替えることによって、エリアに入力する際の初期入力を「ひらがな」「半角英数」に切り替えることが可能です。

「Off」:半角英数入力（ひらがな入力に切り替えが可能）

「On」:ひらがな入力（半角英数に切り替えが可能）

「Disable」:半角英数入力（切り替え不可）

#### 注意事項

IMEモードの切替指定はブラウザの機能を利用しています。使用するブラウザがIMEモード切替機能に対応していない場合、本指定は動作しません。（2024/10時点、Firefoxのみ）

### 2) 数値フィールド

数値入力を行わせたい個所にエリアを作成します。

- ・数値フィールドには、小数点を含む数値のみ入力できます。
- ・数値フィールドは、自動計算の設定を行う事ができます。

### 3) 整数フィールド

整数入力を行わせたい個所にエリアを作成します。



- ・整数フィールドには、小数点を含まない整数のみ入力できます。
- ・整数フィールドは、自動計算の設定を行う事ができます。

※ 数値・整数フィールドに計算式を設定する際は、「[計算式の設定](#)」を参照下さい。

※ 整数フィールドの入力可能最大値・入力可能最小値の設定は、-2147483648~2147483647の範囲で指定できますが、内部動作の関係よりご利用を推奨範囲は-999999999~999999999となります。

#### 4) テキストエリア

文字フィールドとは違い改行可能な入力エリアを作成します。

- ※ テキストエリアで垂直配置を中央 ()、下 () に指定し、表示可能行数をこえて入力を行なうと PDF 表示した際のイメージが入力フォームと異なって表示されます、入力フォームでは常に中央、下寄せになるよう表示されていますが、PDF ではテキストエリアの表示行数を超えた場合、先頭行が必ず表示されます。
- ※ テキストエリアの最大行数チェックは入力後にテキストエリアがフォーカスを失うタイミングで行われます。
- ※ テキストエリアの幅が文字幅より狭い場合（文字が 12、幅が 10 など）、フォームを PDF にした際に入力された文字が表示されない場合があります。テキストエリアの幅は最低でも文字分より広い幅を指定してください。（文字 1 2 であれば幅 1 3 以上にする）。  
なお、テキストエリアに枠線を表示する場合、実際の幅は指定幅から枠線幅（両側の分）を引いた値になるため、注意が必要です。

#### 5) パスワード

パスワードなどを伏せ字で入力する場合に使用します。

文字、数値、整数フィールド、テキストエリアでは最大文字入力数（桁数）や最大値、最小値、IME(※)モードの切り替え等の設定ができますので必要に応じてプロパティシートから設定します。

作成中のプロパティの「初期値」に値を入れてプレビュー行いラベルなどの位置関係を確認します。



また、これらの入力フィールドを定義する場合、定義エリア線の境界線がそのまま赤い枠で表示されます。

美しくフォームを作成するには、背景枠と合わせ、それぞれのエリアの高さ、幅を揃えパディング設定するなどします。

#### **！ 注意事項**

IME の切り替え設定は一部ブラウザのみで利用が可能です。詳細は、「クロスブラウザ環境制限事項ガイド」マニュアルを参照下さい。

## 2.10 コンボボックス・リストボックスの定義

フォームでコンボボックスを利用するには、アイコンメニューバーの  コンボボックス、  リストボックスをクリックしフォーム作成エリアにエリアを描画します。



※ 手順はコンボボックスの場合で説明をします。

- 1) フォーム作成エリアにコンボボックスエリアを描画します。



- 2) エリア描画後リスト項目を設定するため、プロパティの選択肢に項目を入力します。  
リストの内容は半角カンマ区切りで入力し、その中の一つを「初期値」に入力します。

属性名	値
タグ名	コンボボックス1
ID	combobox1
タイプ	17
X座標	225
Y座標	65
幅	105
高さ	50
色	#000000
初期値	月
選択肢	月,火,水,木,金,土,日
データ列数	1

例：曜日のプルダウンを作成するには

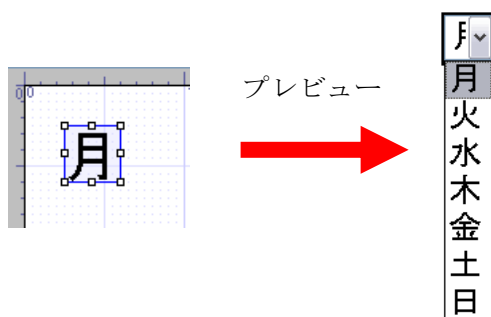
「初期値」 = 月

「選択肢」 = 月,火,水,木,金,土,日

(※) 「選択肢」「データ列数」に関する説明は、

[後章「フィールドのプロパティ」→「属性プロパティの説明」](#)の該当項目を参照して下さい。

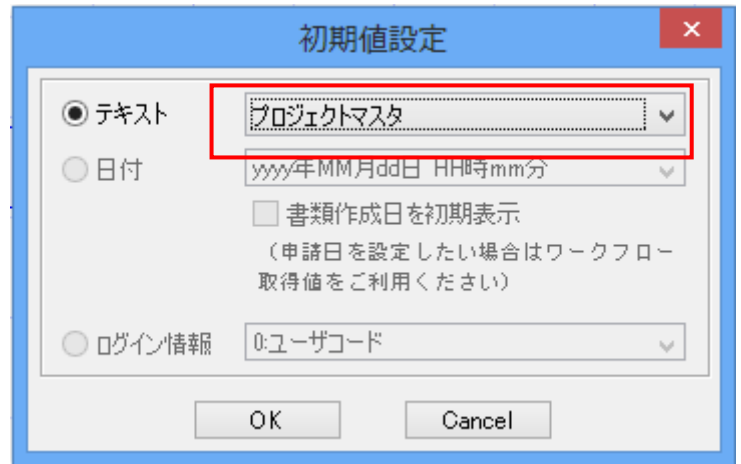
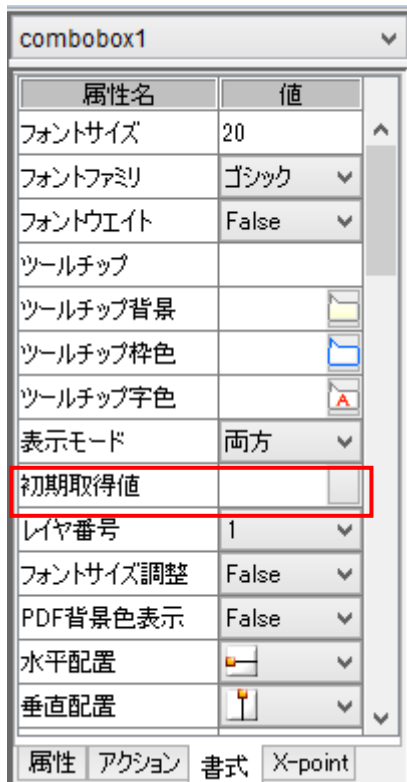
- 3) 初期値、選択肢を入力後、エリアには初期値が表示されプレビューを行いコンボボックスの表示を確認します。



- “フォントサイズ調整”プロパティを「True」に変更すると、コンボボックス内の文字サイズの設定はフィールドエリアのサイズに左右されます。よってプレビューを繰り返しながら、プロパティシートでサイズと座標を調整する必要があります。

#### 4) リスト値をマスタから取得

コンボボックスの内容を X-point の簡易マスタから取得し表示させることができます。使用するマスタの名称は“書式”プロパティの“初期取得値”で指定します。



“初期取得値”の設定ダイアログは、コンボボックス、もしくはリストボックスを選択している場合に限り「テキスト」項目の右側にマスタを選択する為のプルダウンリストが表示されます。

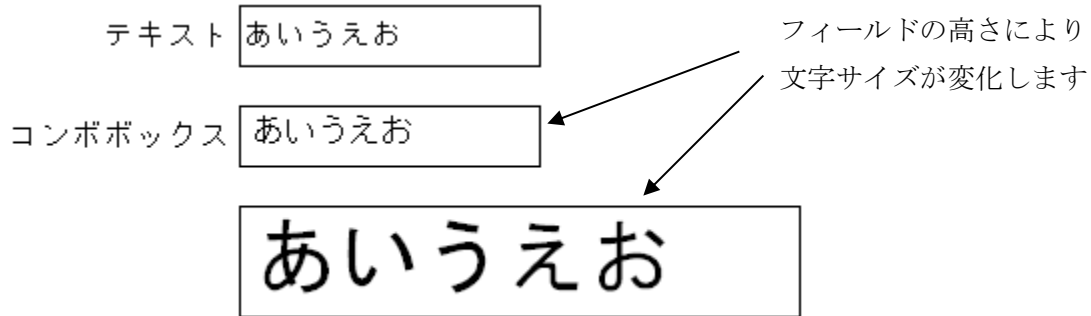
※ リストの内容をユーザ固有マスタから取得することはできません。

## 5) コンボボックス・リストボックス利用上の注意

コンボボックス・リストボックスはブラウザに表示する際、利用するブラウザの HTML 表現力に強く依存する特徴があります。特徴をよく理解してフォームの作成を行って下さい。

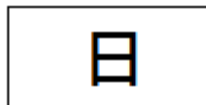
### ① デザイン時のサイズに応じて文字サイズが変わる。(フォント・サイズ調整 : true)

フォーカス取得時のリスト表示サイズをデザイン時の枠サイズに合わせられるよう、文字の大きさを自動的に調整します。

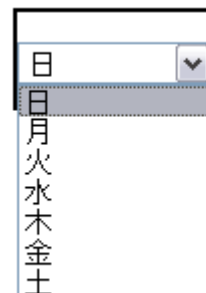
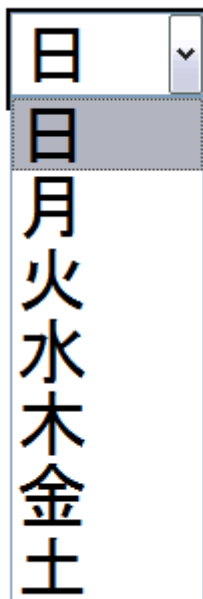
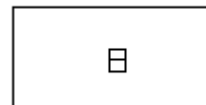


次の例はどちらも同じサイズのフィールドに 15 ポイントの文字サイズを指定した場合です。サイズ調整を true に指定するとフィールドサイズに合わせた文字サイズになります。

サイズ調整 : true



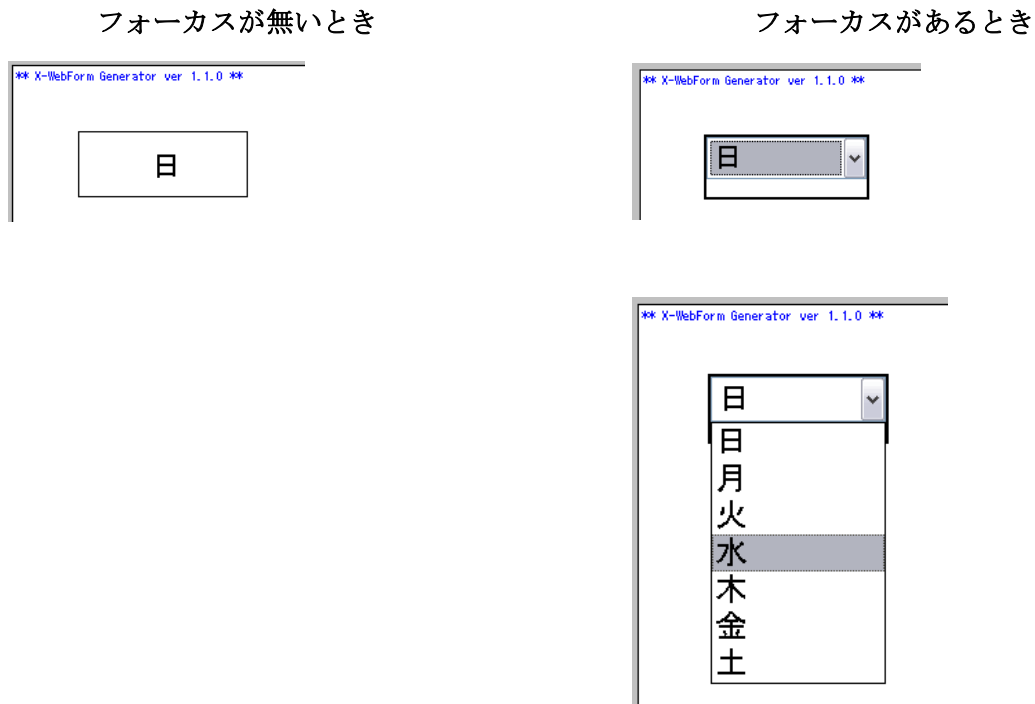
サイズ調整 : false



② コンボボックスはフォーカスの有無で表示が変わる。(フォント・サイズ調整 : false)

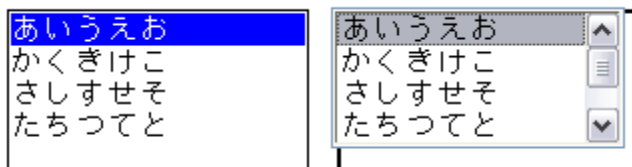
フォーカスが無い場合は文字位置の指定が有効になりますが、フォーカスを取得すると指定されているフィールド位置の左上にリストが固定されます。

リスト選択が終了しフォーカスを失うと元の状態に戻ります。



③ リストボックスはデザイン時に指定したサイズにならない。

幅はデザイン時に指定したサイズに近い大きさになります。高さは行数とフォント・サイズで決定されます。




**！注意事項**

- ※ 一部ブラウザを除きフォーカスが無い場合もフィールド右側のスクロールバーが表示されます。詳細は「クロスブラウザ環境制限事項ガイド」マニュアルを参照下さい。
- ※ 利用するブラウザ種類によりリストボックスの水平文字位置の指定が無視され常に左寄せになる場合があります。詳細は「クロスブラウザ環境制限事項ガイド」マニュアルを参照下さい。

## 2.11 ラジオボタンの定義

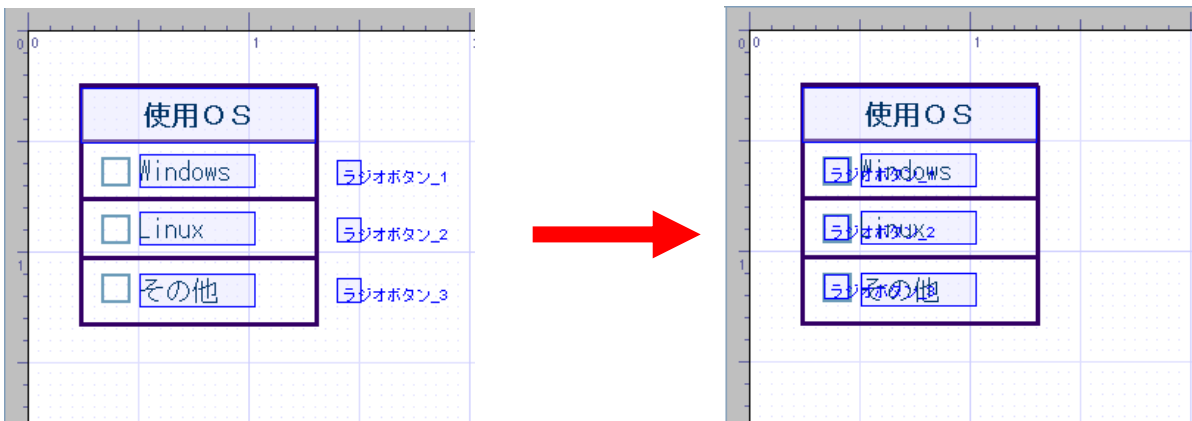
ラジオボタンは、文字ラベルなどで作成した選択項目をチェックする際に使用します。

ラジオボタンの設定はアイコンメニューバーから  ラジオボタンアイコンをクリックしてエリアを描画します。ラジオボタンは複数のグループからなるもので、グループの中から一つだけチェックすることができます。

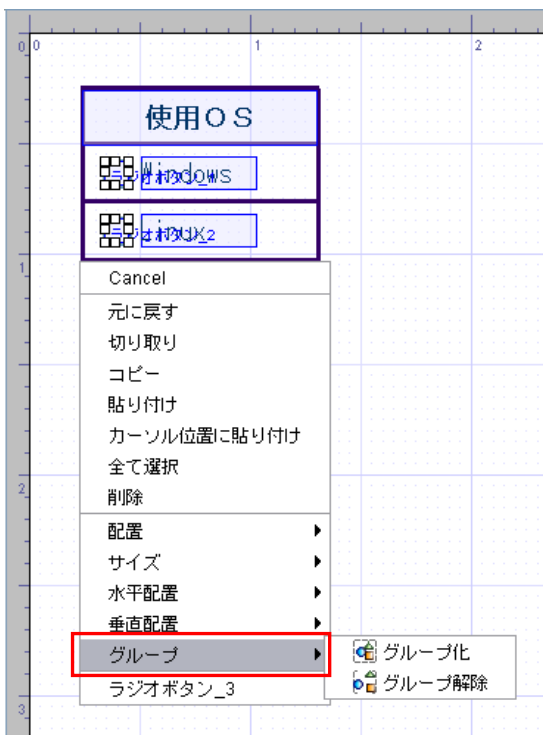
### 1) ラジオボタンの作成

ボタンの見出しをラベルで作りながら作成する場合を説明します。

- ① 文字ラベルの上にラジオボタンを描画していきます。



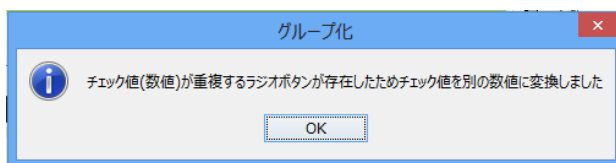
- ② 描画したエリアを全て選択し、グループ化を行います。



- ③ グループ化を行った後、ラジオボタンのエリアを選択し、プロパティでマークのサイズ、位置などの設定をおこないプレビューを行いつつチェックマークの位置等を調整していきます。



- タグ名  
ラジオボタンは、複数ボタンでひとつのグループになりますが、タグ名は同じではありません。
- チェックマーク  
チェックマークは、ラジオボタンをクリックした際につくマークを設定します。  
チェックマークは文字を使ってどんなものでも設定できます。  
例：●、×、レ、■  
チェックマークは、フォント・サイズでも大きさを調整することが可能です。
- 非チェックマーク  
非チェックマークは、ラジオボタンがチェックされていない時のマークを設定します。
- チェック値  
そのボタンがチェックされて登録された際に、データベースへ登録される値を設定します。  
プロパティのチェック値の値は、デフォルトでは1です。  
同じグループに所属するラジオボタンは、それぞれチェック値が1, 2, 3, ...と、一意のものに設定しておく必要があります。ただチェック値を変えず1のままグループ化を行うと以下のウィンドウが表示され自動的にチェック値が変更されるので特に問題はありません。



(※) ラジオボタンは複数フィールドをグループ化する事により、データベース上のテーブルには1つのフィールド(列)が用意されます。そのテーブルフィールド(列)名には、ラジオボタンの先頭の「ID名」が反映される仕様となります。

先頭ラジオボタンフィールドの「ID名」には分かりやすい名称を付けてください。

また、先頭以外のラジオボタンフィールドの「ID名」には、特に分かりやすい名称を付ける必要はありません。

## 2) ラジオボタンの一括設定

ラジオボタンをグループ化すると、ラジオボタン・グループのグループ設定画面がラジオボタン用に変化します。設定画面では各ラジオボタンの値、選択マーク、非選択マークの指定・変更が可能です。

メンバID	タグ名	値	選択	非選択
car_typea	乗物種別A	1	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
car_typeb	乗物種別B	2	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
car_typec	乗物種別C	3	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>

### ■ ID 名

JavaScript 等でフォーム上のラジオボタンを扱う際の ID 名になります。グループメンバの先頭になるラジオボタンの名称になります。フォーム設定画面などでグループ内の並びを変更すると、ID 名が変化するので注意してください。

### ■ 初期値

チェック値の初期値を指定します。

設定画面ではなく、デザイン画面のプロパティ欄から設定する場合は、ラジオボタングループの並びで先頭のデータの初期値に指定します。先頭以外のラジオボタンに設定しても初期値の指定は反映されません。

### 【明細行】

#### ■ メンバ ID

個々のラジオボタンの ID 名です。明細内では変更できません。

#### ■ タグ名

ラジオボタンのタグ名です。

#### ■ 値

ラジオボタンが選択された際に取得できる値です。同一グループ内に同じ値があってははいけません。

#### ■ 選択

ラジオボタンが選択された際に表示する文字列を指定します。

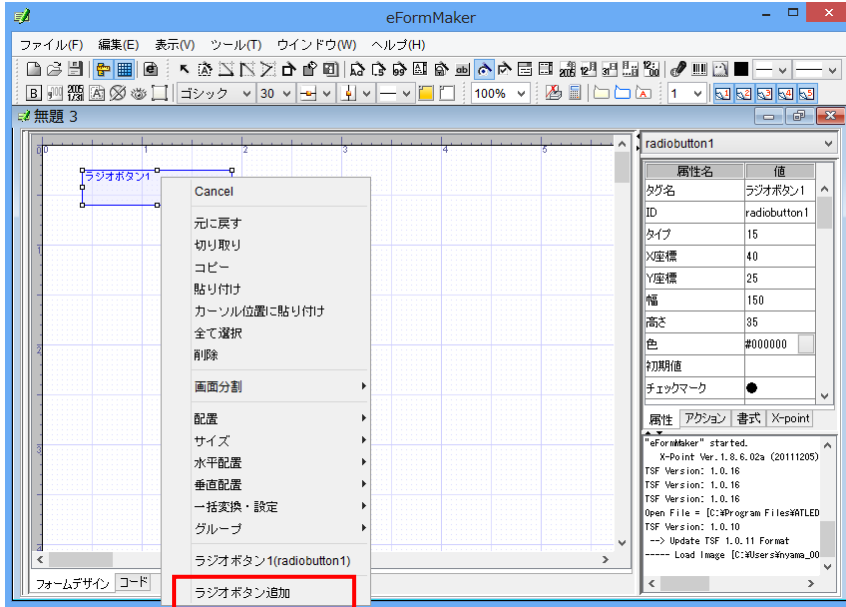
#### ■ 非選択

ラジオボタンが選択されていない際に表示する文字列を指定します。

### 3) ラジオボタンの追加

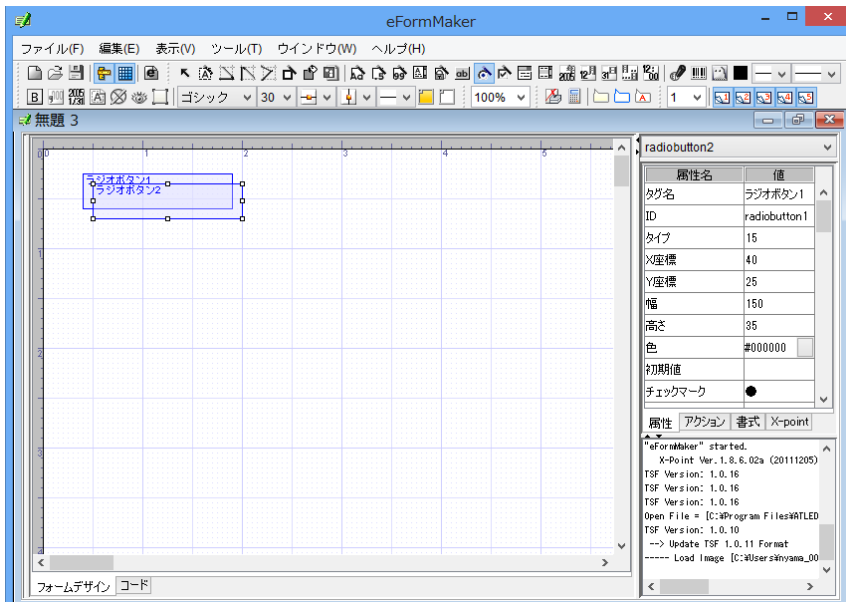
ラジオボタンを利用する場合はグループ化操作が必要ですが、ラジオボタンを一つだけ選んだ状態で表示されるポップアップ・メニューの“ラジオボタンの追加”を利用することで、グループ化を自動的に行うことができます。

#### 【メニューの表示】



ラジオボタンを一つだけ選んでポップアップ・メニューを表示させます。

#### 【追加後の状態】




追加後は選択していたラジオボタンの近くに新しいラジオボタンが選択された状態で表示されます。位置を調整して意図していた位置に配置してください。

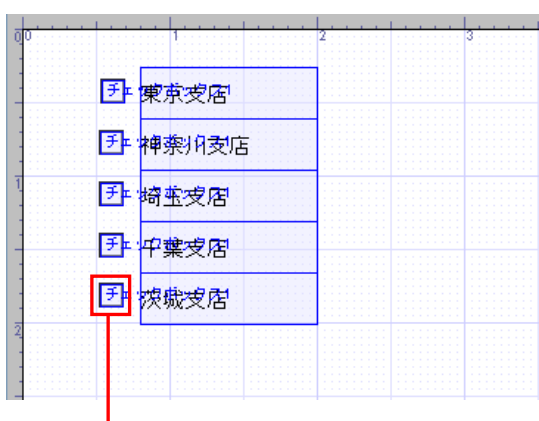
## 2.12 チェックボックスの定義

チェックボックスは、ラジオボタンとは違い複数の項目に対して一つだけチェックをつけるだけでなく複数チェックをつけることができます。

主な使用例としては、ラジオボタン同様ラベルや文字と組み合わせて使用します。

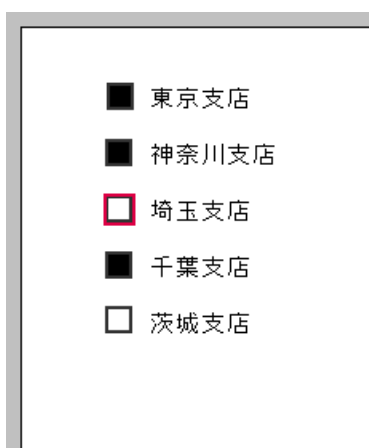
例えば「東京支店」「2 神奈川支店」等の文字ラベルを作成し、その上にチェックボックスを描画していきます。

- 1) アイコンメニューバーより  チェックボックスアイコンをクリックし、フォーム作成エリアにチェックボックスエリアを描画します。



プロパティのチェックマークの設定から、チェックマークを「■」、非チェックマークを「□」に設定すると、チェック時にチェックマークがきれいに表示されます。

- 2) チェックボックスエリアを描画後、プロパティからパディングなどでチェックマークのサイズ及び配置の設定を行い、プレビューを繰り返しながら調整をしていきます。

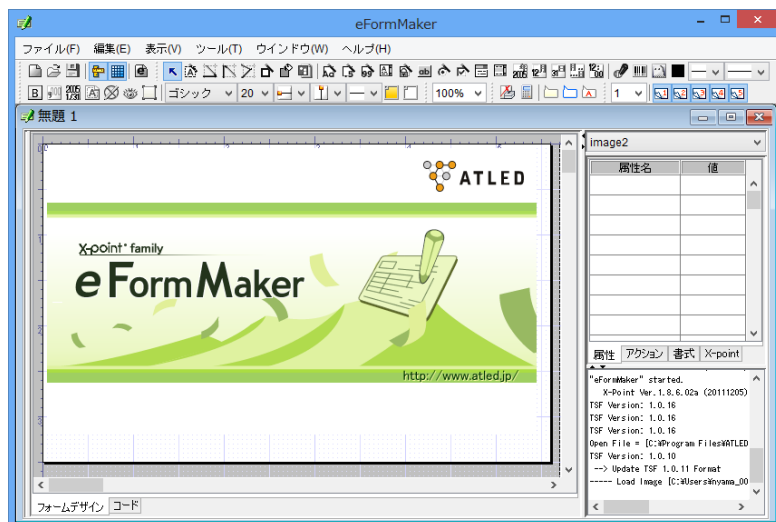


## 2.13 イメージ・フィールドの定義

X-point eFormMaker ではイメージ (GIF,JPG,PNG) をフォーム上に配置することができます。

イメージはエクスプローラーからコピー&ペースト、ドラッグ&ドロップでも貼り付けることができます。ドラッグ&ドロップの場合は、ドロップした際のカーソル位置に、複数のイメージを一括して張り付け、ドロップした場合は、20ピクセルずれて貼り付けが行われます。

### 【イメージ配置の例】



- ・ フォーム作成エリア以外（灰色部分）に画像をドロップすると、プレビュー時の背景画像に設定されます。
- ・ PDF ファイルをドロップすると、PDF 出力時の背景 PDF に設定されます。

イメージ表示の初期状態では常に倍率が“0%”で表示されます。倍率が0である場合に限り、幅と高さを変更することができます。**倍率が指定されている場合は幅・高さの変更ができません。**

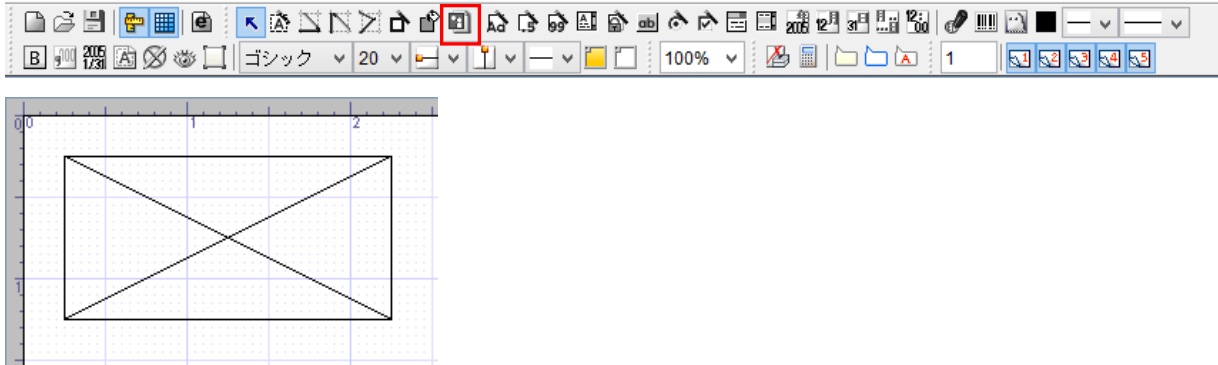
**また、マウス操作でイメージの大きさを変更した場合は倍率が強制的に0に設定**されます。

なお、倍率を指定している際に表示されている幅・高さは実際の画像サイズに倍率を掛けた数値がピクセル値で表示されています。

## 【イメージ・フィールド】

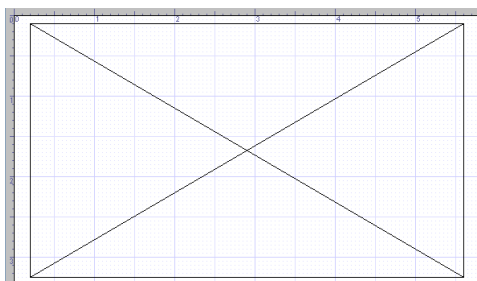
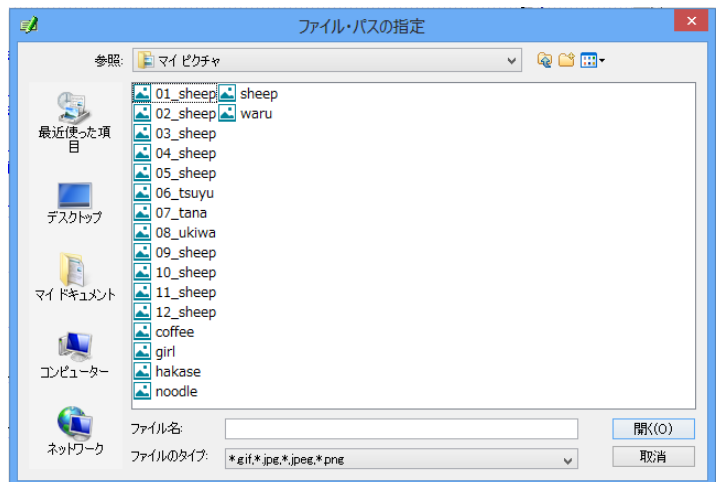
画像をドラッグ&ドロップで配置するほか、アイコンメニューバーにあるイメージコンポーネントから作成する方法があります。

1) アイコンメニューバーにあるイメージ・フィールドのアイコンをクリックしエリア描画します。



2) エリアを描画後、プロパティからイメージを選択しエリアに画像を配置します。

属性名	値
タイプ	24
X座標	25
Y座標	25
幅	200
高さ	100
倍率(%)	0
イメージ	D:\amochizuki\amochizu <input type="text"/>



## 2.14 イメージアップロード・フィールドの定義

通常のイメージ・フィールドに対し、イメージアップロード・フィールドではフォーム作成時以外にも、書類ごとに任意のイメージを設定することが可能です。

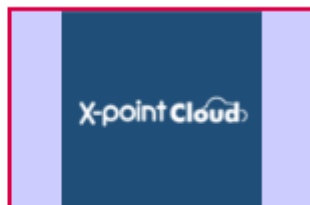
また必須属性を設定して、各ステップで入力チェックを行うことや、フィールド編集権限設定や書類制御により、編集可否の切り替え等を行うことが可能です。

更に通常のイメージ・フィールドと異なる点として、イメージアップロード・フィールドで描画する画像は画像の元々の縦横比が維持されて表示されます。

イメージアップロード・フィールドでは  
タテ方向またはヨコ方向の長辺に合わせて  
画像が拡張されます



イメージ・フィールド

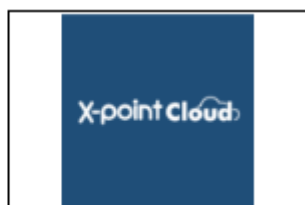


イメージアップロード・フィールド

枠線を設定することも可能です。枠線ありの場合は、表示領域の周囲に囲い線が引かれます。アップロードする画像の縦横比によっては余白が発生します。



イメージなし



イメージあり

なお、イメージ・フィールドで可能である href 属性の設定や、アクションプロパティから onClick などのイベントを契機にした Javascript の設定は不可となっております。

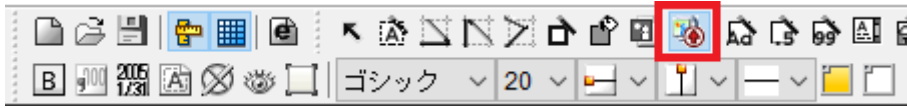
### 【ファイル制限】

イメージアップロード・フィールドにアップロードできる画像ファイルには、以下の制限があります。

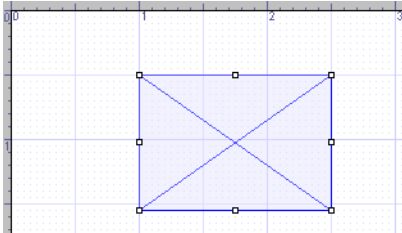
項目	内容
ファイルサイズ	最大 5MB まで
ファイル形式 (拡張子)	GIF,JPG,PNG (jpg,jpeg,png,gif)

## 【イメージアップロード・フィールドの作成手順】



- 1) アイコンメニューバーにあるイメージアップロード・フィールドのアイコンをクリックします。  
※またはメニューから「ツール>図形>イメージアップロード・フィールド」を選択

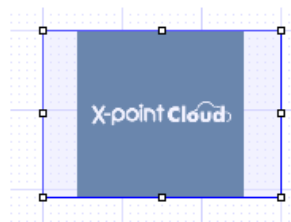


- 2) アイコンが選択状態になったらマウスドラッグでエリアを描画します。



- 3) プロパティからイメージを選択し、エリアに画像を配置します。(省略可)  
※デフォルトで表示したい画像がある場合に、ご設定ください

属性名	値
タグ名	imageuploa...
ID	imageuploa...
タイプ	35
X座標	100
Y座標	50
幅	150
高さ	105
イメージ	
備考	

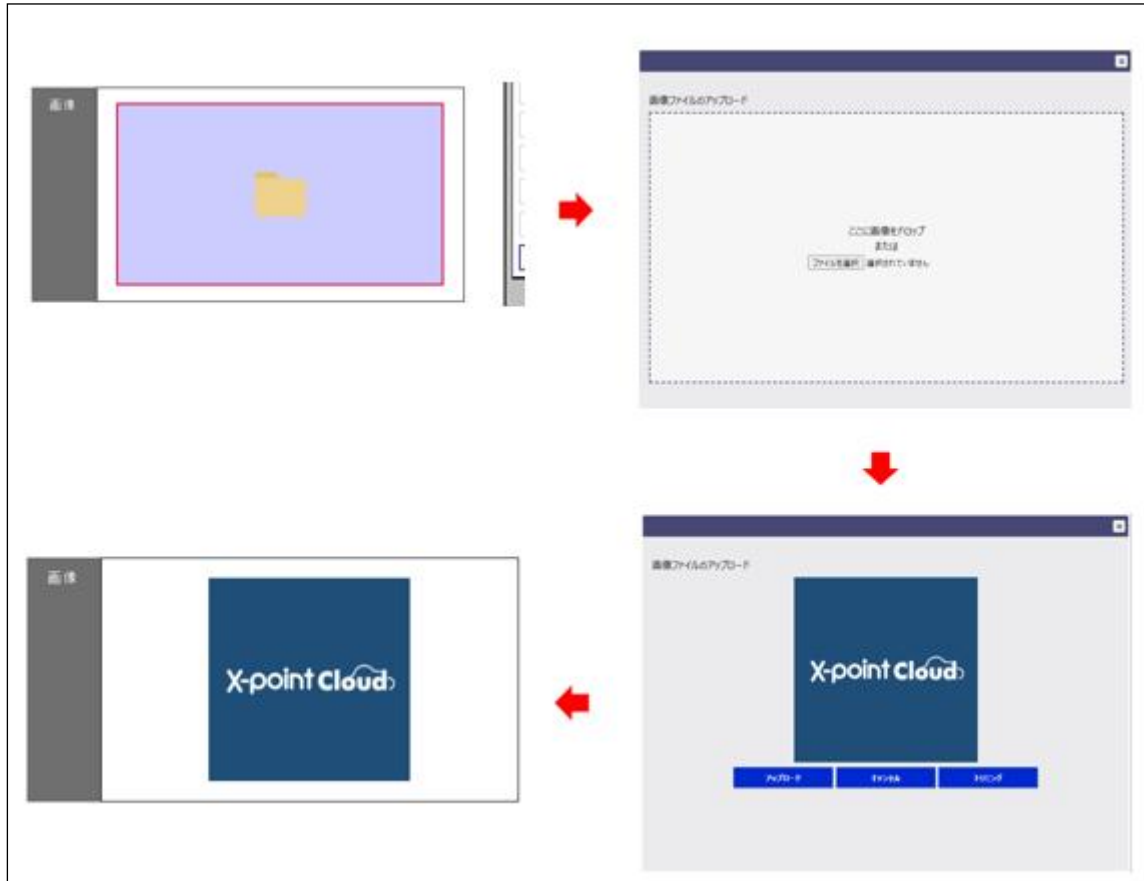


### 【イメージアップロード・フィールドの利用手順】

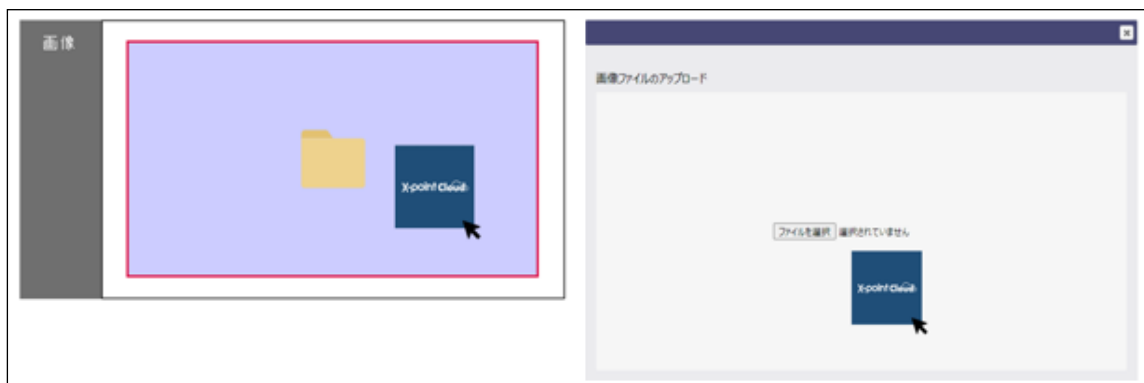
イメージアップロード・フィールドがクリック可能な場合、フィールドが強調表示されます。その状態でフィールドをクリックすると、アップデート用のモーダルが出現します。

モーダル内で画像を選択するとアップロード確認画面が表示され、

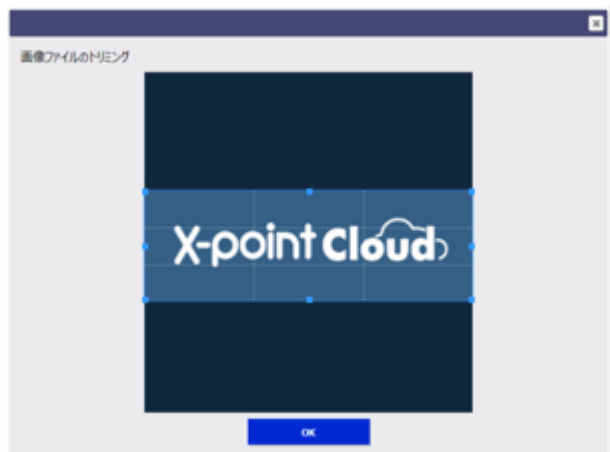
「アップロード」ボタンをクリックすると、選択したフィールドに画像が反映されます



また、ファイルのアップロードはドロップ操作で行うこともできます。



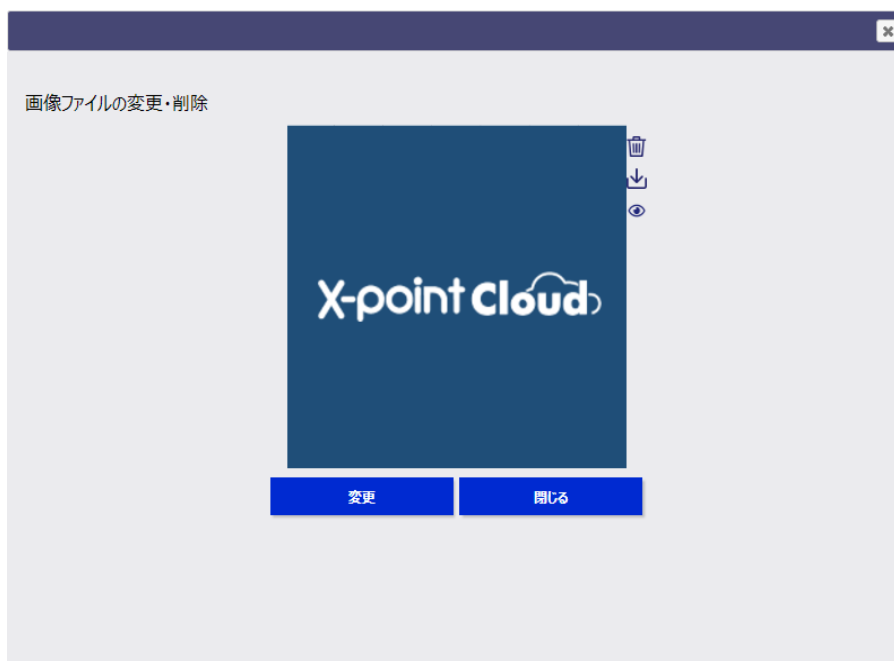
アップロード確認画面で「トリミング」ボタンをクリックすると、アップロードの際に画像のトリミングを行うことが可能です。



必要な範囲のみを切り取って、アップロードすることができます。

トリミングを行うと、画像に設定されているメタ情報（exif 情報）が消失します。写真等を扱う場合はご注意ください。





アップロード済みのフィールドをクリックすると、画像ファイルの変更や削除が可能です。また、画像ファイルのダウンロードやプレビュー表示を行うこともできます。

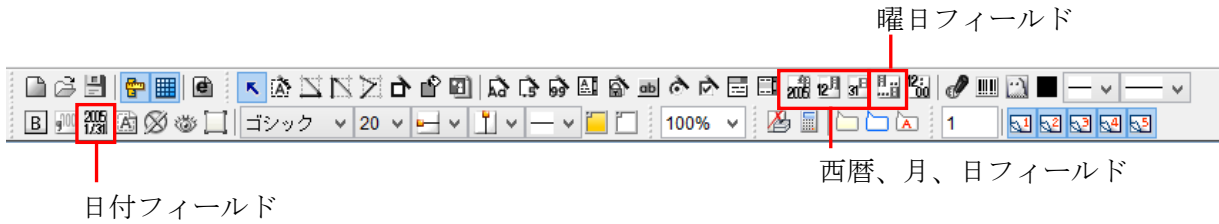


ボタン／アイコン	操作
変更ボタン	イメージの再選択 ※
バケツアイコン	イメージの削除 ※
ダウンロードアイコン	イメージのファイルダウンロード
プレビューアイコン	イメージのプレビュー表示
閉じるボタン	モーダルを閉じる


※ 変更／削除しても提出等の書類操作を行うまでは、ファイルは削除されません

## 2.15 日付フィールドの定義と関連付け

日付属性  を利用することで、テキスト・フィールドを日付フィールドとして区別することが可能になります。また、日付コンポーネント 、、 を利用することで、数値入力範囲の制限を容易に行うことが可能にあります。




### 1) 日付フィールド


テキスト・フィールドに“日付属性”  を指定すると、ブラウザ・プレビューの際にフィールドをダブルクリックした際にカレンダーがポップアップするようになります。

### 2) 西暦、月、日フィールド


日付コンポーネントを利用すると

 西暦：1900～9999 までが入力可能な数値項目が定義されます。

 月：1～12 までが入力可能な数値項目が定義されます。

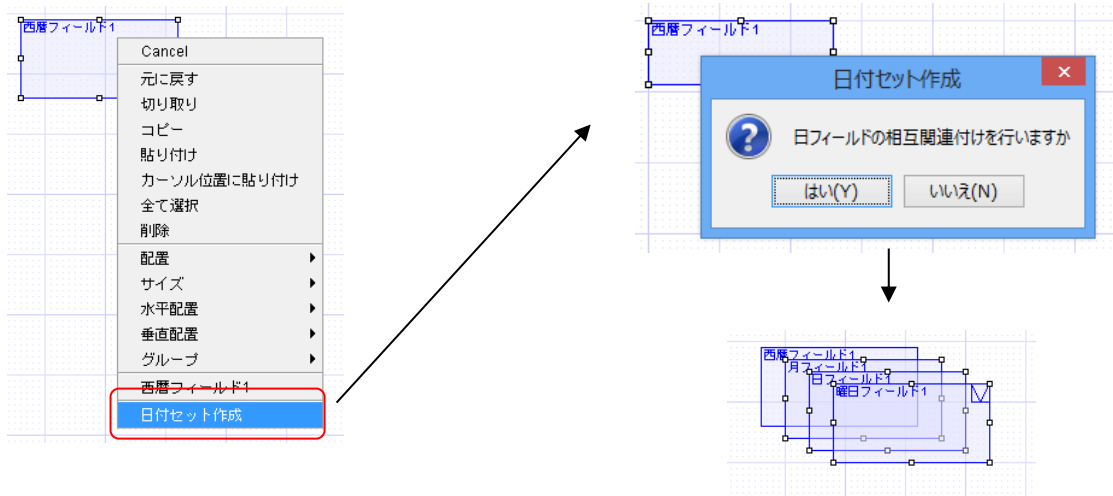
 日：1～31 までが入力可能な数値項目が定義されます。

### 3) 曜日フィールド

曜日  コンポーネントを利用するとコンボボックスで指定できるようになります。データは日～土が0～6までの数値で表現されます。表示は“日”、“Sun”、“Sunday”のように3種類から選択することができます。

### 4) 日付セットの作成

西暦、月、日、曜日に関連付けたフィールドを作成する場合、西暦フィールドを作成後に「日付セット作成」を実行すると一度の操作でフィールド作成と関連付けを行うことができます。





## 5) ポップアップカレンダーとの関連付け

日付フィールドでポップアップカレンダーを利用可能とした場合、互いに関連する複数のフィールドを一度に設定することが可能になります。

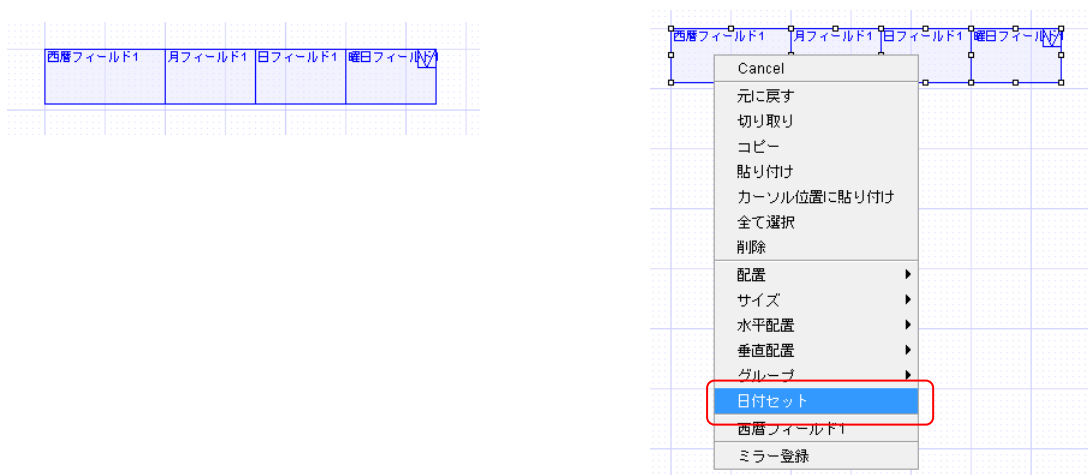
たとえば、月フィールドに西暦と日付、曜日フィールドを関係付けておいた場合、月フィールドをダブル・クリックして表示させたポップアップカレンダーで選んだ年月日の、西暦、日付、曜日を各フィールドに設定することができますようになります。また、数値入力で変更した場合は曜日フィールドが変化するようにになります。



※ 日付属性の指定で表示されるポップアップカレンダーは、X-point サーバのカレンダーコンポーネントを使用しません。X-point サーバのカレンダーコンポーネントを利用する場合は“”をクリックし設定を行ってください。

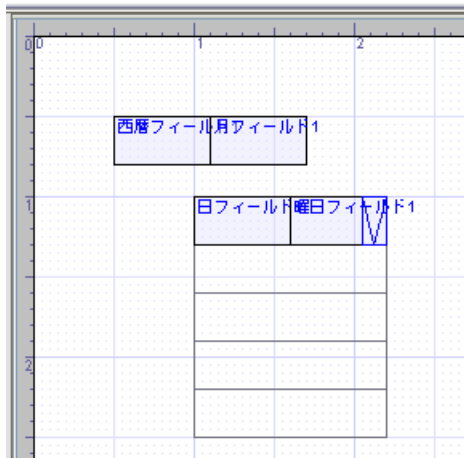
## 6) 関連付け情報の一括設定

既存の西暦、月、日、曜日フィールドの関連づけの際に“日付セット”メニューを利用すると関連付けを一度に行うことができます。関連付けは、4つセットでなくても可能です。



7) 表外と表内の日付セット

表の外と中(明細行)にある西暦、月、日、曜日を関連付けることができます。表の外と中で関連付けを行うと表外での西暦、月などの変更に伴い表内の曜日フィールドを一括変更することができます。



表の外と中での日付セットは次の組み合わせで利用ができます。

西暦	月	日	曜日
表外	表外	表内	表内
表外	表内	表内	表内
表内	表内	表内	表内

表の外と中(明細行)にある西暦、月、日、曜日を関連付けることができます。

## 8) 表内に定義した日付フィールドの特殊動作

表内に定義された日付フィールドはフォーム初期表示の際に特殊な動作をさせることができます。具体的には、日付フィールドを表内に定義した際に“属性”プロパティ内の“行番号の日付加算”を“True”に指定すると初期値で指定した値を行毎に変えることができます。

### 【初期値 “5” の動作例】

#### 【設定例】

False	True
05	05
05	06
05	07
05	08
05	09
05	10
05	11
05	12
05	13
05	14

#### 【設定項目】

【日付フィールド】
・初期値を「5」と指定します。
・行番号の日付加算を「True」と指定します。

#### ！注意事項


行番号の日付加算は日付フィールドに「初期値」の設定した場合のみ動作します。初期取得値で「書類作成日を初期表示」にチェックを入れた場合や、ポップアップカレンダーから入力した場合には機能しません。

## 9) ポップアップカレンダーの表示とフィールド編集権限の関係

ポップアップカレンダーの動作は X-point の編集中にのみ動作しますが、その際フィールド自体に設定されている編集禁止設定とは無関係に表示する動作が行なわれます。カレンダーをキー入力させたくない場合には都合がよいわけですが、承認ステップ毎に JavaScript 等を利用してカレンダー自体の入力をさせないといった動作を実現する場合には、編集禁止にしても動作してしまうことは不都合といえます。

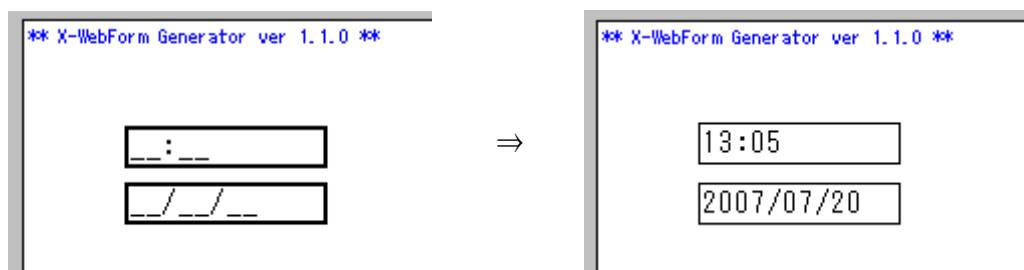
その様な場合は、フォーム作成の際にアクションプロパティで「R/0 Calendar」設定を false に指定します。この項目を切り替えることで、フィールドが読み取り専用の場合のカレンダー表示動作を制御することができます。

## 2.16 日時フィールドの定義

日時フィールドは日付・時刻専用のフィールドで、テキスト・フィールドを利用した場合と異なり、四則演算の対象として指定することが可能です。フィールドの作成はアイコンメニューバーの「」をクリックして行います。



### 1) フィールドの作成



※ 実際の表示とは異なります。

日時フィールドでは、入力時（フォーカスを取得しているとき）と表示時（フォーカスが無いとき）で異なる書式を指定することが可能になります。例えば、入力時は24時間制で入力を行いフォーカス喪失と同時に12時間制で表示をするといった指定です。

入力時（フォーカスあり）		表示時（フォーカス無し）	
hh:mm	15:35	hh:mm	15:35
hh:mm:ss	15:35:22	hh:mm:ss	15:35:22
yy/mm/dd	07/07/07	hh:mm a	03:35 PM
yyyy/mm/dd	2007/07/07	hh:mm:ss a	03:15:35:22 PM
hhh:mm	999:59	hhh:mm	999:59
hhh:mm:ss	999:59:59	hhh:mm:ss	999:59:59
		yy/mm/dd	07/07/07
		yyyy/mm/dd	2007/07/07

※ 時刻で“a”が付く場合は、12時間制でAM・PM表記となります。

※ “hhh:mm”, “hhh:mm:ss”では“hhh”部が3桁の数値入力項目として扱われます。

## 2) 計算時の扱い

時刻、日付フィールドを四則演算の対象とした場合、それぞれのフィールドが数値化された状態で扱われます。

時刻 . . . 1分を1とした数値。3時15分ならば、195 (3×60+15) になります。

秒を含むフィールドは小数点以下が秒を現します。1秒は1を60で割った値です。

日付 . . . 1970/01/01からの経過日数で扱われます。

計算結果の代入は、代入先のフィールドが数値であるか、時刻・日付であるかにより動作が異なります。幾つかの例を示します。

### ① 時刻の差を数値、時刻に代入する場合

時間差

$$\boxed{15:00} - \boxed{12:30} = \boxed{150}$$
$$\boxed{15:00} - \boxed{12:30} = \boxed{02:30}$$

### ② 日数差を数値に代入する場合

日付差

$$\boxed{07/07/20} - \boxed{07/07/10} = \boxed{10}$$

### ③ 時刻に数値を加算し、時間として代入する場合

時間加算


$$\boxed{15:20} + \boxed{12} = \boxed{15:32}$$

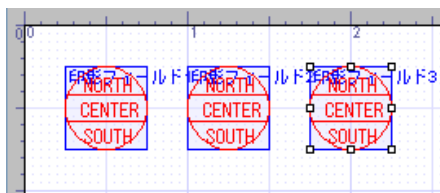
### ④ 日付に数値を加算し、指定日数経過した日付を代入する場合

日数加算

$$\boxed{07/07/20} + \boxed{1} = \boxed{07/07/21}$$
$$\boxed{07/07/20} + \boxed{10} = \boxed{07/07/30}$$

## 2.17 印影フィールドの定義

印影フィールドは、アイコンメニューバーの 印影ツールをクリックしフォーム作成エリアに印影フィールドを描画します。また、利用の際は、X-point サーバが必要です。

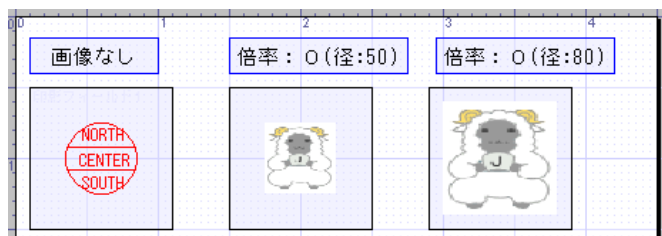


※ X-point との連携機能を利用した場合は使用する印影コンポーネントの内容で表示されます。

### 【表示例】



印影フィールドには画像を指定することもできます。通常の画像フィールドとは異なり、デフォルトでは表示される画像の大きさが印影サイズにより変化します。



倍率を指定することで印影画像の拡大・縮小を行うこともできますが、倍率を+(プラス)で指定した場合は元画像に対する割合で表示されます。倍率を-(マイナス)で指定した場合は、フィールドの枠サイズに対する比率で画像の大きさが決まります。



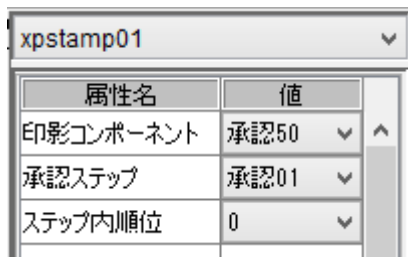
X-point で印影を利用する場合は、印影コンポーネント上に表示する印影の種類（X-point 上でのコンポーネント名）、承認ステップの何ステップ目か、同一ステップに複数の印影が必要な場合の優先順位（印影が表示される順番）を指定する必要があります。

例えば、X-point でフォームを利用する場合、次のような承認ルートが指定されているものと過程します。

（ステップ 1） （ステップ 2）

申請者 → 課長承認 → 経理課

フォーム上に配置した印影にはプロパティの X-point タブから対応する承認ステップの番号を指定します。



属性名	値
印影コンポーネント	承認50
承認ステップ	承認01
ステップ内順位	0

承認ステップ番号の指定は、X-point の承認ルートの承認ステップ番号に対応します。

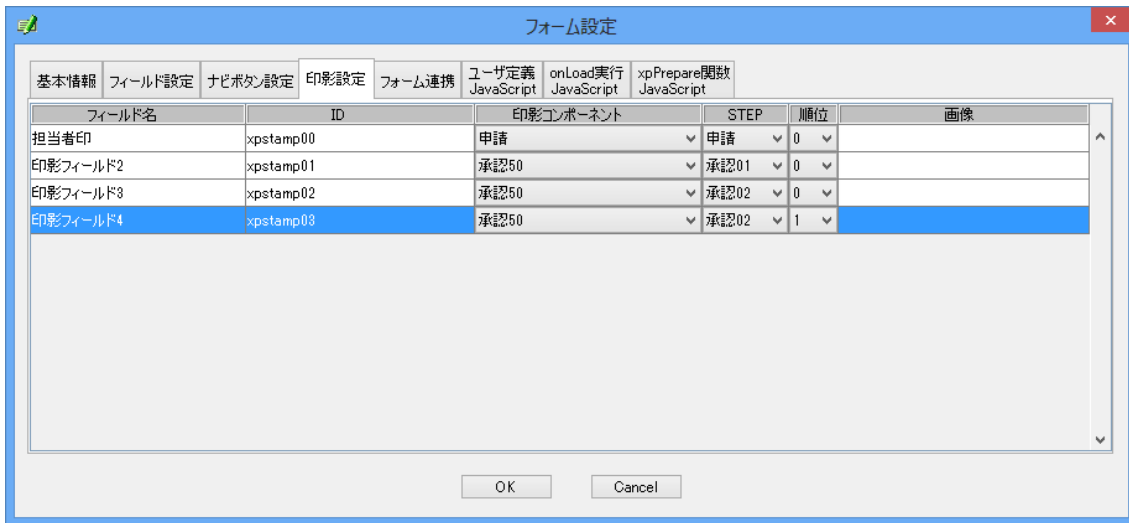
申請者の場合は、承認ステップに“0”を設定します。

申請者 . . . 0

承認者 . . . 承認ステップの番号


ステップ内順位は AND 承認、OR 承認を行う場合に利用します。AND や OR を行う場合、同一の承認ステップに複数の印影が必要となります。その場合に、印影を表示する順番を 0 から順に指定します。

印影コンポーネントに承認ステップ番号、ステップ内順位を指定する方法は、「フォーム設定」画面の「印影設定」タブで一括して行うこともできます。



- **フィールド名** (変更不可)  
印影フィールドのタグ名が表示されます。
- **ID** (変更不可)  
印影フィールドの ID 名が表示されます。
- **印影コンポーネント**  
印影フィールドに表示する“印影コンポーネント”名を指定します。eFormMaker が X-point と連携動作している場合に限り、プルダウンリストに登録されているコンポーネントが表示される。
- **STEP**  
ワークフローのステップを指定します。申請者は“申請”を指定します。承認ステップは“承認 01”から“承認 99”までをステップ単位に指定します。
- **順位**  
同一 STEP に複数の印影フィールドが存在する場合に、印影を表示する順番を 0 から指定します。順位を指定しない、同一順位が複数存在する場合は、X-point 側でワークフロー処理をする都度任意に決定されます。  
※ 順位は 0 からはじめる必要があります。
- **画像**  
指定された画像を印影表示の代わりに表示します。

## 2.18 バーコードの定義

アイコンメニューバーより  バーコードコンポーネントを利用することで、フォーム上にバーコードを表示することが可能になります。表示可能なバーコードは、CODE128、CODE39、PDF417 の3種類です。



### ① CODE-39

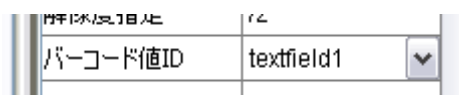
数字（0～9）、英文字を使用できます。

### ② CODE-128

数字（0～9）、英文字を使用できます。CODE-39 と比べ、バーコード長が短くなります。

### ③ PDF417

バーコード表示を別のフィールドに関連させる場合は「バーコード ID」プロパティを利用します。



バーコード ID を指定すると初期設定値は無視され、関連するフィールドの内容に従って表示内容が変化します。

### ▶ 特記事項

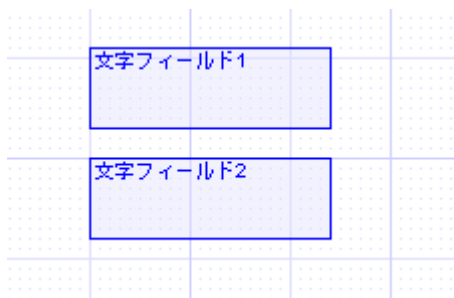
バーコードの表示は、「Barbecue(<http://barbecue.sourceforge.net/>)」と呼ばれるオープンソースプロジェクトで開発されたバーコード表示ライブラリで行われています。バーコードの表示能力はこのソフトウェアに依存します。

## 2.19 るび(ふり仮名)フィールドの定義

二つの文字フィールドを組み合わせることにより、るび(ふり仮名)を自動的に入力することができます。ふり仮名機能を利用するには二つの文字フィールドを作成し、漢字入力フィールドに“かなフィールド”を対応付けます。

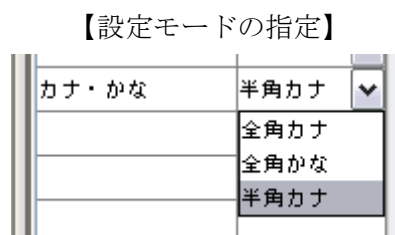
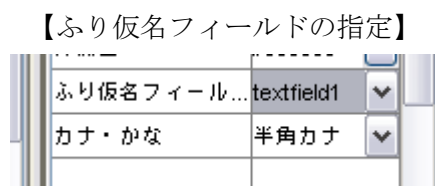
### 1) 文字フィールドの作成

“文字フィールド1”をふり仮名、“文字フィールド2”を漢字入力として作成します。



### 2) フィールドの関連付け

“文字フィールド2”のプロパティで、“ふり仮名フィールド”に“文字フィールド1”(textfield1)を指定し、ふり仮名として入力するタイプを指定します。




設定後、プレビュー機能を利用して動作を確認します。

トキョウトウキョウ

東京都渋谷区

## 2.20 不可視項目の定義

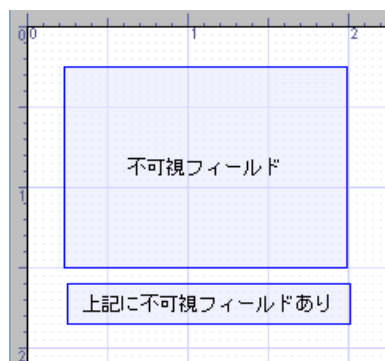
不可視コンポーネントを利用することで、ブラウザ表示の際に計算などで一時的に利用するフィールドを作成する際に利用可能な不可視(HIDDEN)フィールドを定義することができます。

項目の作成はアイコンメニューバーからアイコンをクリックしてからエリアを描画します。

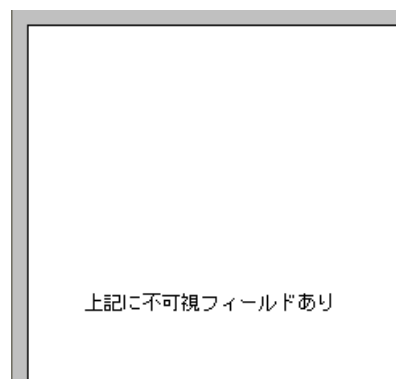


プレビュー等の実行時には表示されない項目ですから、フォーム上の任意の位置に配置することができますが、フォーム作成で邪魔にならない場所に置くのが良いでしょう。

【eFormMaker 時】



【プレビュー時】



## 2.21 配置位置・サイズ調整

フォーム上に配置するオブジェクトの位置、サイズの変更は、通常画面右側のプロパティを変更するか、オブジェクトを選択した際に表示されるグリップをマウスで操作して行いますが、画面上のレイアウトを確認しながら微調整を行いたい場合の作業には余り向いていません。

そこで、配置・サイズの微調整を行いたい場合には、矢印キーを利用して、配置やサイズの調整を1ピクセル単位で行います。

配置の調整 : <CTRL>キーを押したまま、矢印キー（↑、↓、←、→）を押します。

サイズの調整 : <SHIFT>キーを押したまま、矢印キー（↑、↓、←、→）を押します。

↑、↓ : 高さが増減します。

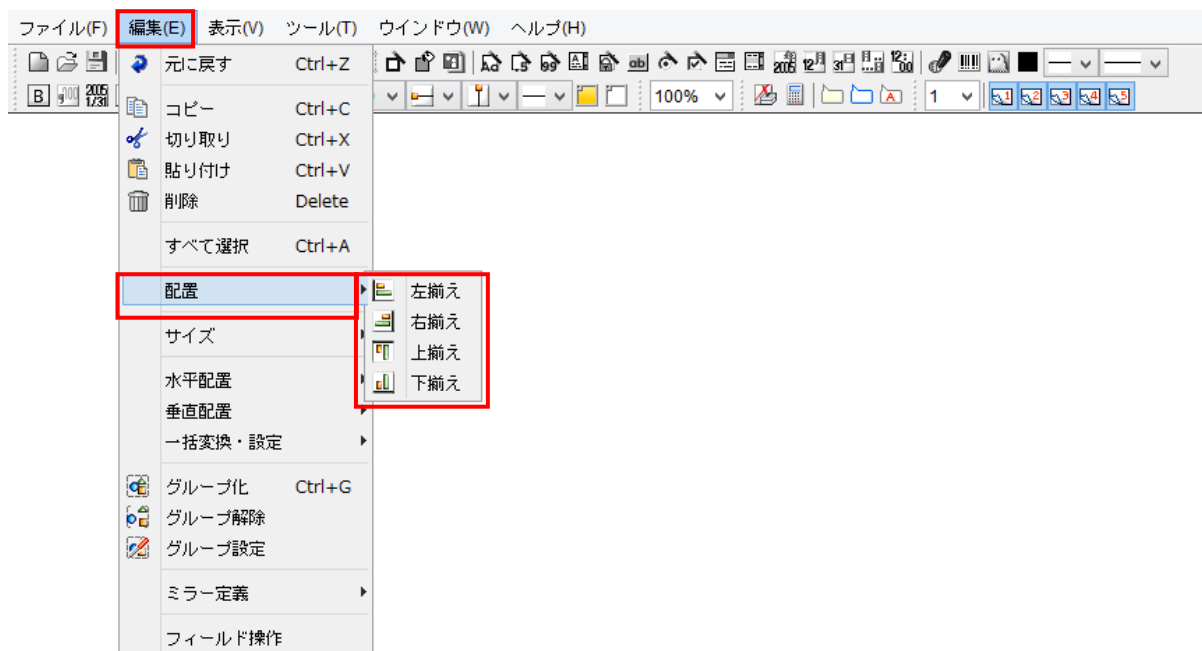
←、→ : 幅が増減します。





配置の調整では矢印の方向にオブジェクトが1ピクセル移動します。サイズの調整では、矢印の方向に1ピクセル単位で、高さ、幅が増減します。

なお、キーボードを利用した位置、サイズの調整は“選択モード”以外でも利用できますので、オブジェクトを作成しながら調整作業を行うことができます。

## 2.22 配置位置揃え

フォームを作成していると複数のオブジェクトの位置を揃えたい場合があります。そのような場合、編集メニューの配置を利用して、選択した複数のオブジェクトの位置を基準とするオブジェクトに一気に揃えることができます。

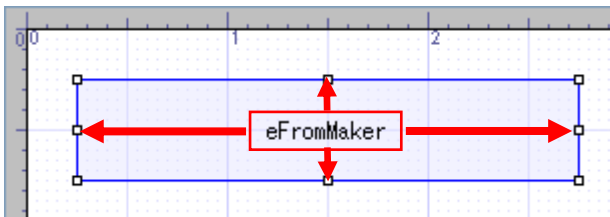
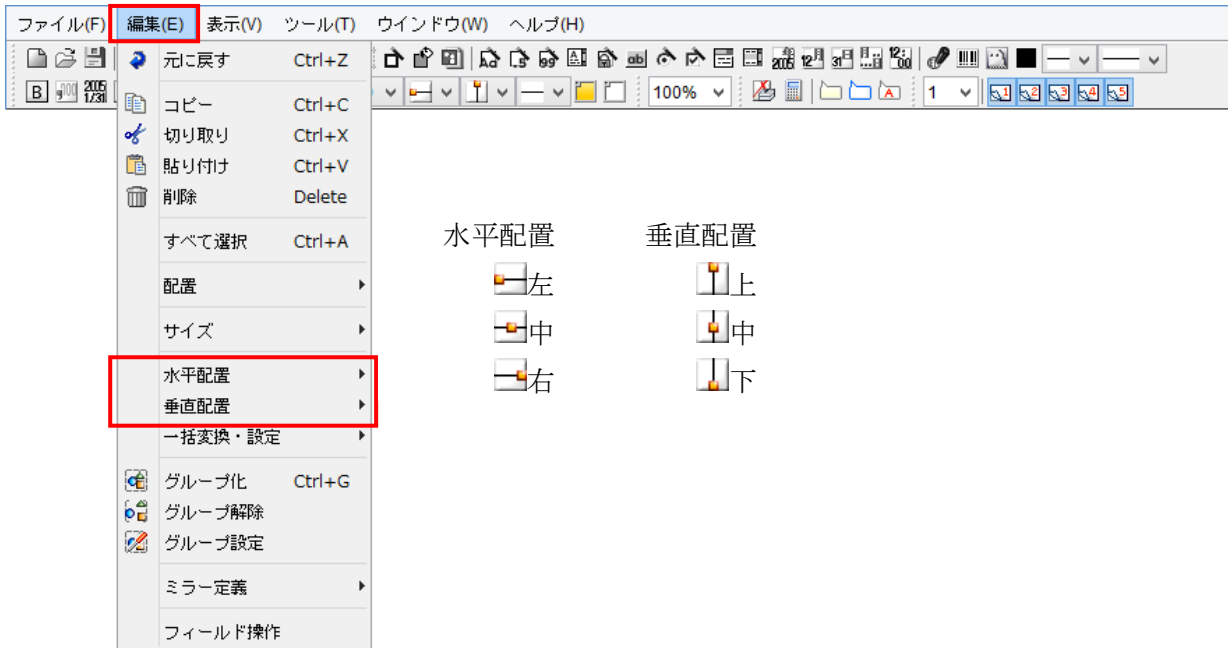


位置は、基準オブジェクトに対して左揃え、右揃え、上揃え、下揃えができます。基準オブジェクトは、最後に選択したオブジェクトになります。

## 2.23 一括文字位置調整

ラベル、テキスト等で、文字の表示位置をオブジェクトの中央に配置したい場合があります。

そのような場合、編集メニューの水平配置、垂直は位置を利用して選択したオブジェクトの文字表示位置を変更できます。



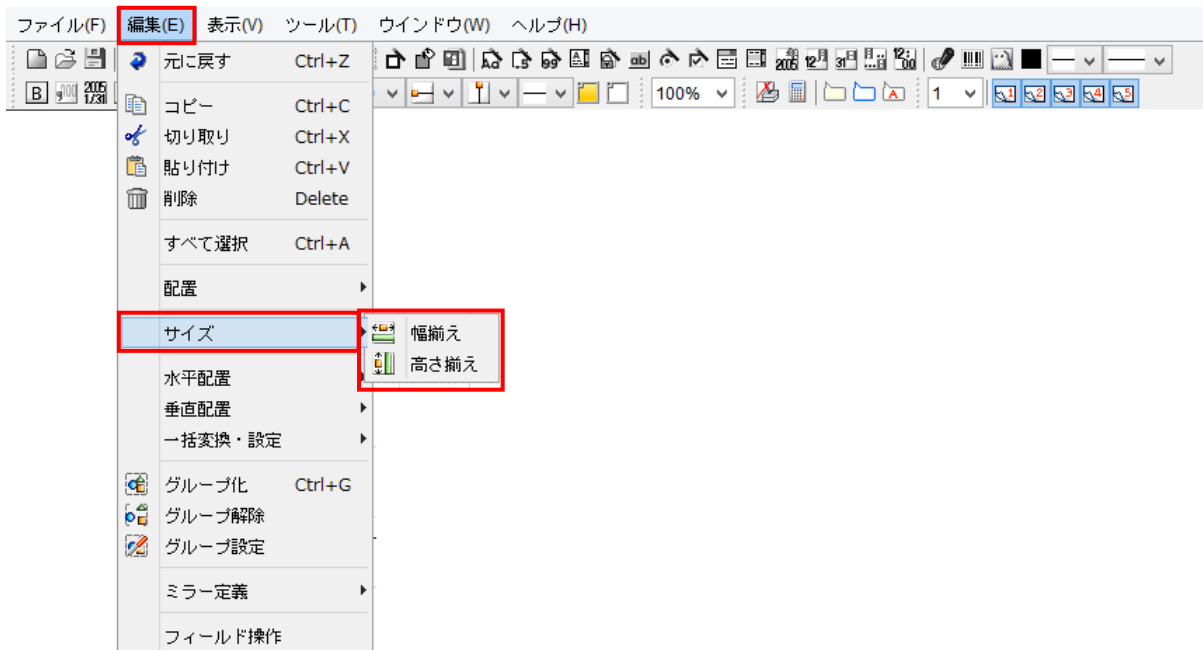
### ▶ 特記事項

※ 指定できないオブジェクトもあります。

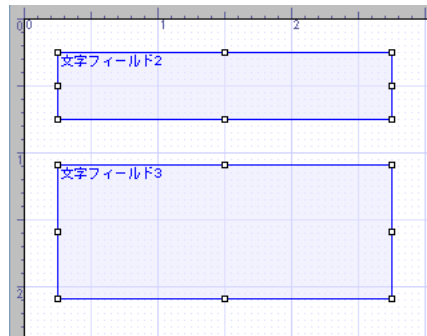
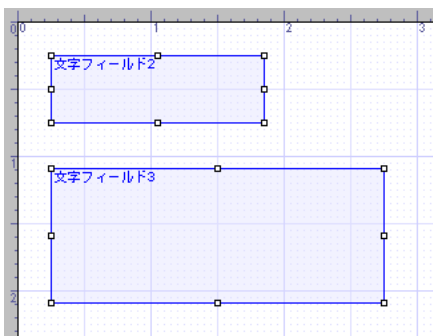
## 2.24 サイズ揃え

フォームを作成していると、複数のオブジェクトの大きさを揃えたい場合があります。

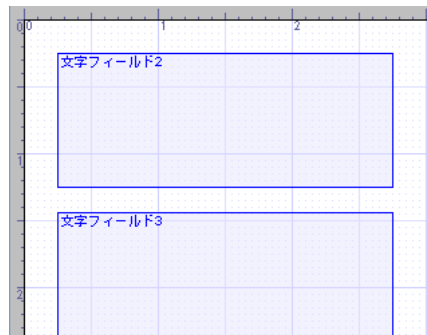
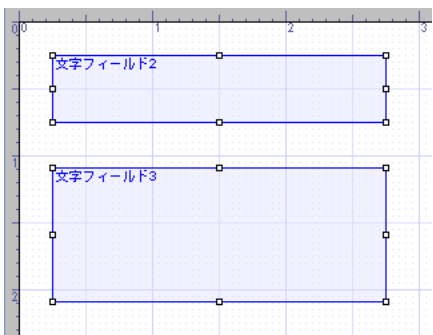
そのような場合、編集メニューの配置を利用して、選択した複数のオブジェクトの大きさを基準とするオブジェクトに一気に揃えることができます。



幅揃え




高さ揃え

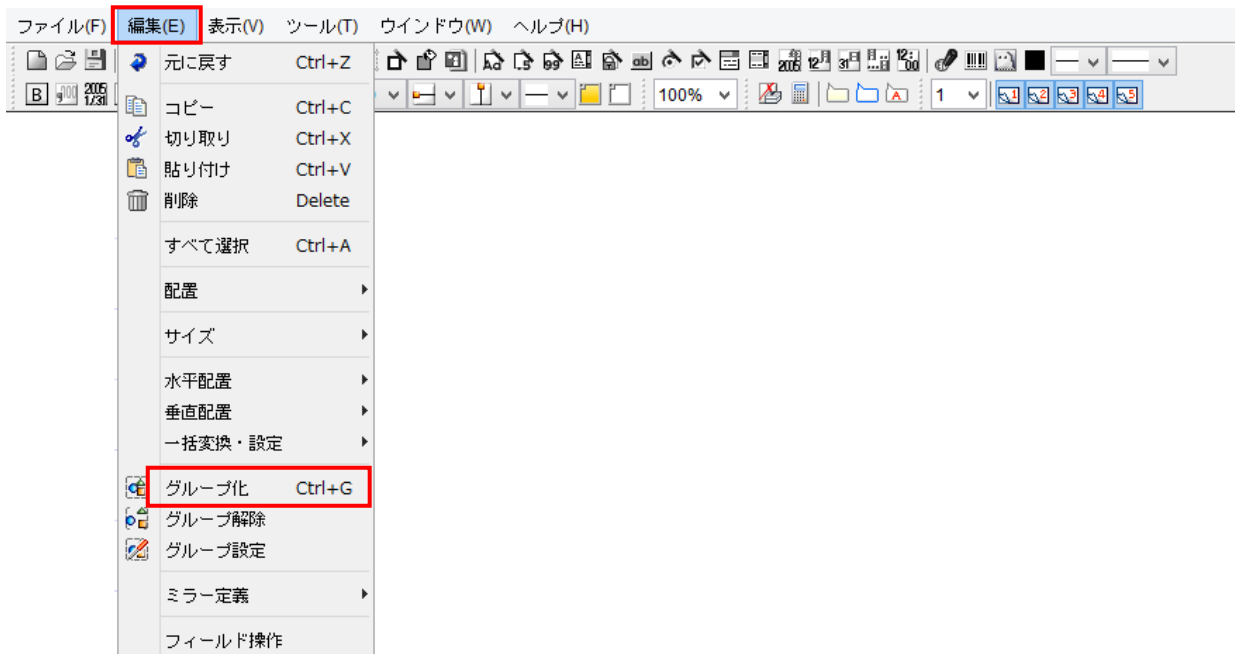


サイズ揃えは基準オブジェクトに対して、幅、高さの一方を合わせます。幅と高さの両方をあわせたい場合は、2回操作を行います。基準オブジェクトは、最後に選択したオブジェクトになります。

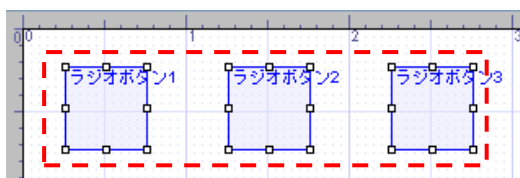
## 2.25 グループ化

### 1) グループ化

ラジオボタンや表レイアウトを作成する場合、それらのフィールドをグループ化しておく必要があります。グループ化の対象となるラジオボタンを選択しておき、編集メニューからグループ化を選択しグループ化を行います。



#### 【ラジオボタングループ化】

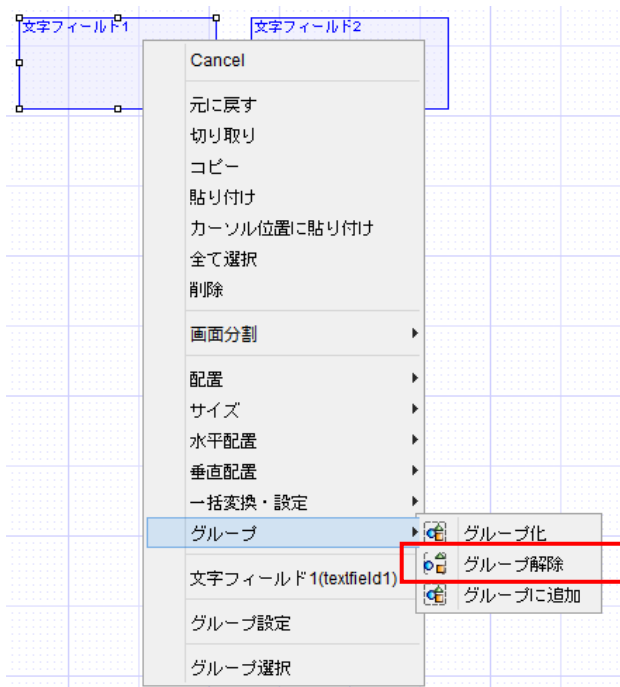


#### ▶ 特記事項

- ※ ラジオボタンのグループには、ラジオボタン以外にラベルを含めることができます。
- ※ ラジオボタンは「ラジオボタンの追加」操作を行う際に自動的にグループ化することもできます。

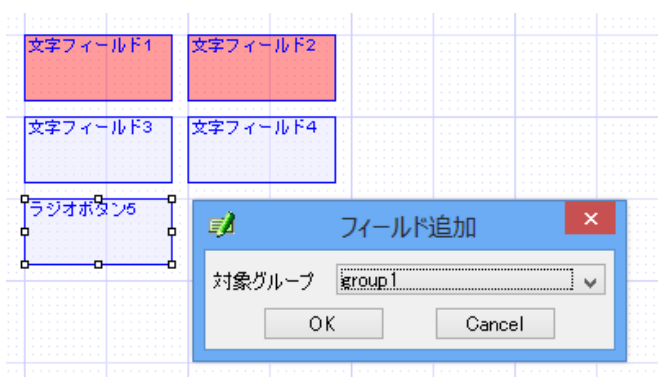
## 2) グループ解除

フィールドのグループ化を解除するには、グループ化されているフィールドの一つを選択し「グループの解除」を行います。選択中であったグループに関係していたフィールド全てのグループ化が解除されます。



## 3) グループに追加

グループ化されていないフィールドを既存のグループに追加したい場合は「グループに追加」を行います。フィールドを選択し「グループに追加」を行うと対象グループの選択ダイアログが表示されます。対象として選択しているグループに関するフィールドは背景色が変化します。追加するグループがきまったら“OK”ボタンをクリックします。



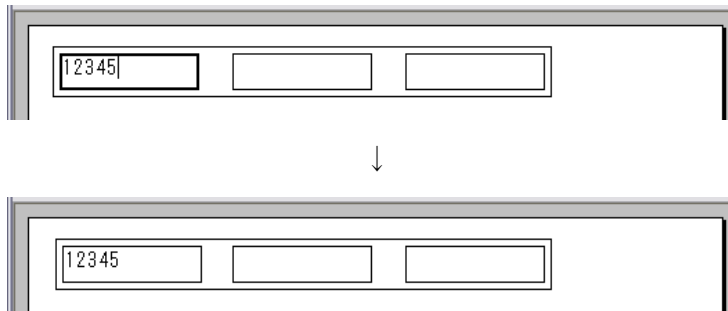
### 特記事項

- ※ 選択ダイアログの対象グループにはラジオボタングループは含まれません。
- ※ ラジオボタングループとしてグループ化されているフィールドは「グループ追加」で別のグループに追加することが可能です。

## 2.26 ミラー定義

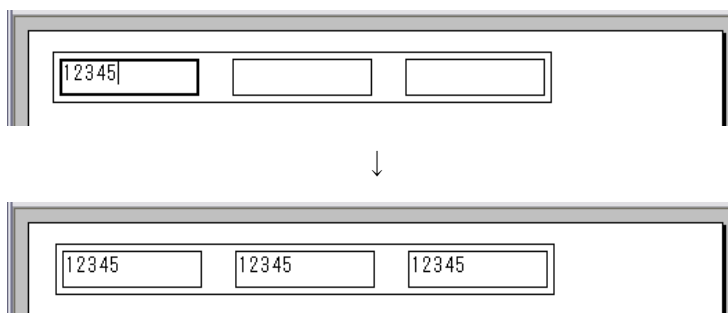
文字列や数値などをフィールドに入力した際、その値を別のフィールドにも自動的に反映させたい場合に“ミラー定義”を利用します。

【ミラー指定されていない場合】



入力した項目のみに値が入る

【ミラー指定されている場合】

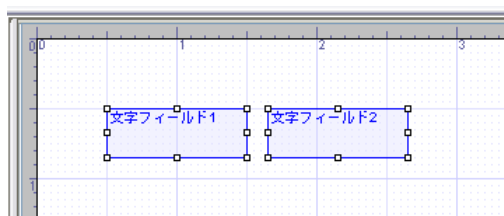


ミラーで関連付けられているフィールド全てに同じ値が入る

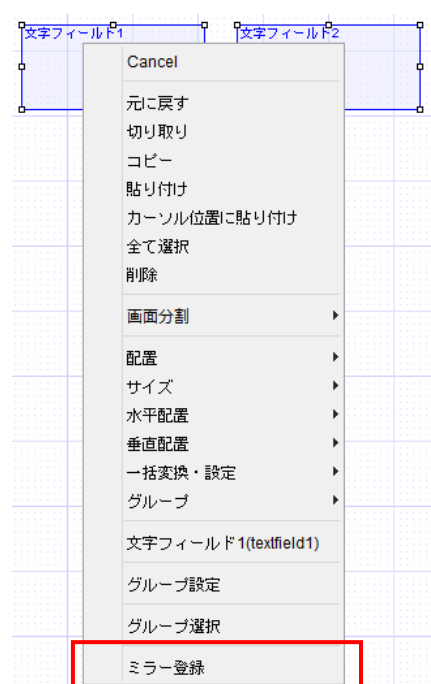
### 1) ミラー登録

ミラー登録は関連付けるフィールドを選択してから“ミラー登録”メニューを実行します。

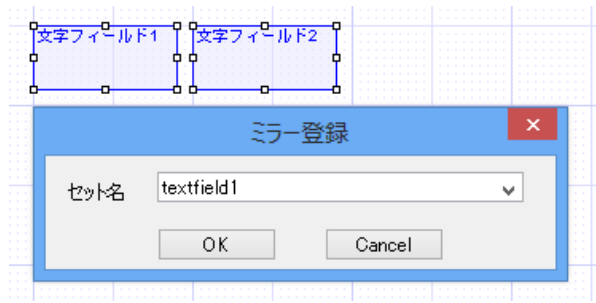
【対象の選択】



【登録メニュー】



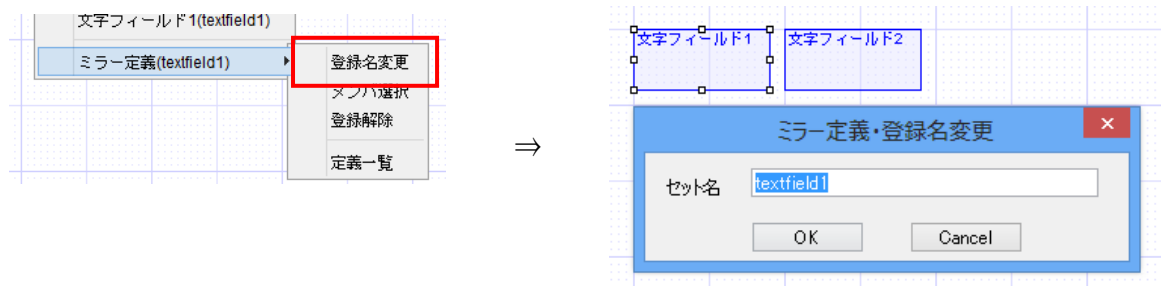
## 【登録名の指定】



- ※ 初期登録名は選択されているフィールドからランダムにフィールドが選択されて使用されます。
- ※ 登録名は任意の文字列を指定可能です。

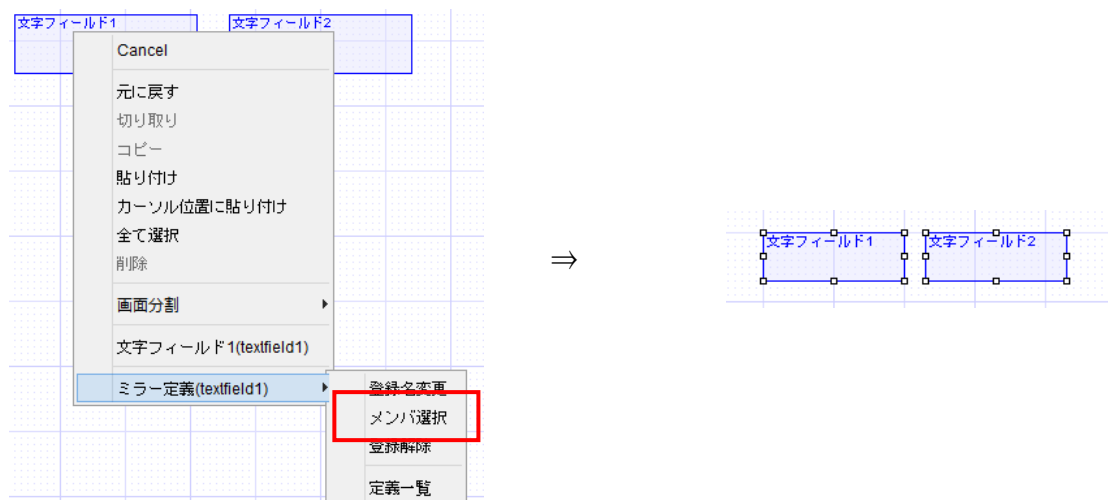
## 2) 登録名変更

登録名の変更はミラー登録されているフィールドを一つ選んだのち“登録名変更”を行います。



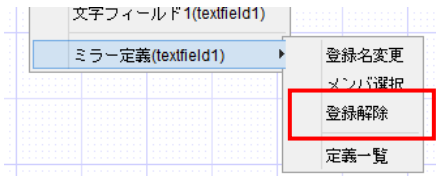
## 3) メンバ選択

メンバ選択を行うと同一登録名で関連付けられているフィールドが全て選択状態になります。



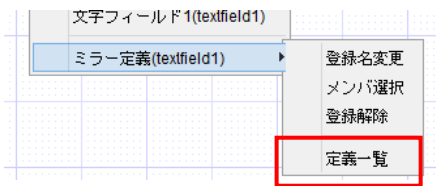
#### 4) 登録解除

ミラー登録を解除します。

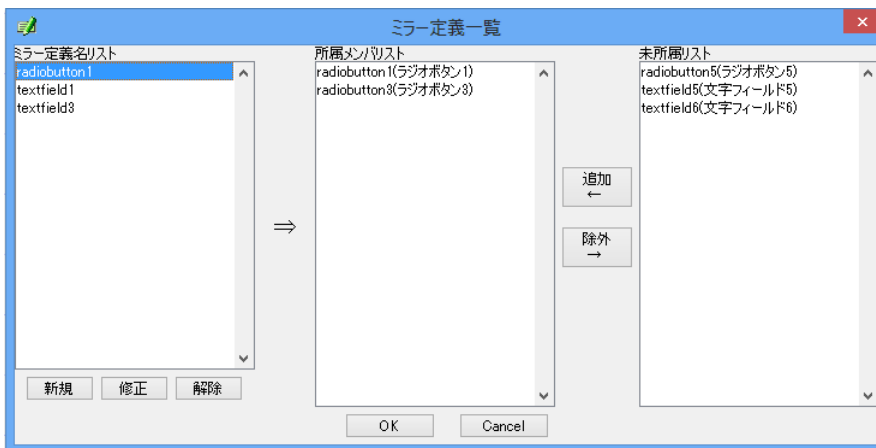


#### 5) 定義一覧

作成中のフォーム内で使用しているミラー登録を一覧形式で表示します。



さらに登録内容の確認画面では、ミラーを行なうフィールドの追加・削除も行なう事ができます。



- ミラー定義名リスト  
ミラー定義の定義名が表示されます。定義名を選択すると画面中央に内容が表示されます。
- 所属メンバリスト  
選択中のミラー定義に含まれている入力フィールドが表示されます。
- 未所属リスト  
フォーム内のどのミラー定義にも含まれていない、入力フィールドが表示されます。
- 新規、修正、解除  
ミラー定義の新規作成、定義名変更、解除（破棄）を行ないます。実際の登録は一覧画面を「OK」ボタンで閉じた場合に行なわれます。
- 追加（←）、除外（→）  
所属メンバリスト、未所属リストで選択されているフィールドをメンバに追加、除外します。実際の登録は一覧画面を「OK」ボタンで閉じた場合に行なわれます。



6) 初期設定値の取り扱い

ミラー定義されたフィールドに初期値、初期取得値が設定されていても、  
フォーム表示の際に初期値、初期取得値はコピーされません。


## 2.27 枠線表示

フォームをブラウザに表示する際、ラベルや入力フィールドの周りに枠線を表示させたい場合があります。X-point eFormMaker では2種類の枠表示方法を用意しています。

### 1) 枠表示属性による表示

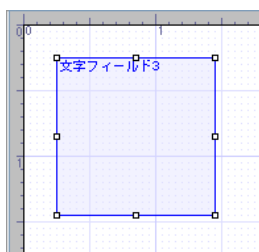
フィールド・ラベルに対して枠属性（枠あり：、枠なし：）を指定します。



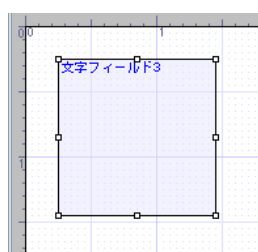
枠線の指定は、フィールド、ラベルを選択した後、枠属性アイコンをクリックしての状態にします。アイコンをクリック後、フィールド、ラベルのエリアの枠が黒枠になります。

これで枠属性の設定は完了です。実際に、プレビューして枠が表示されているか確認してみましょう。

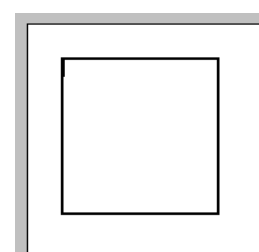
#### 【枠属性設定前のフィールド】



#### 【枠属性設定後のフィールド】

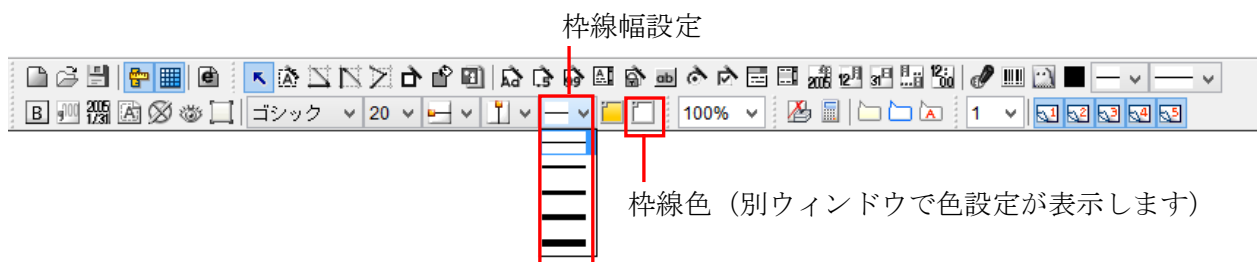


#### 【プレビュー表示】



また、枠の色、線幅を設定したい場合は、アイコンメニューバーとプロパティ（属性）の枠線付き、枠線幅、枠線色から設定ができます。

#### 【アイコンメニューバー】



#### 【プロパティ（属性）表示】

枠線付き	False	▼
枠線幅	—	▼
枠線色	#000000	■

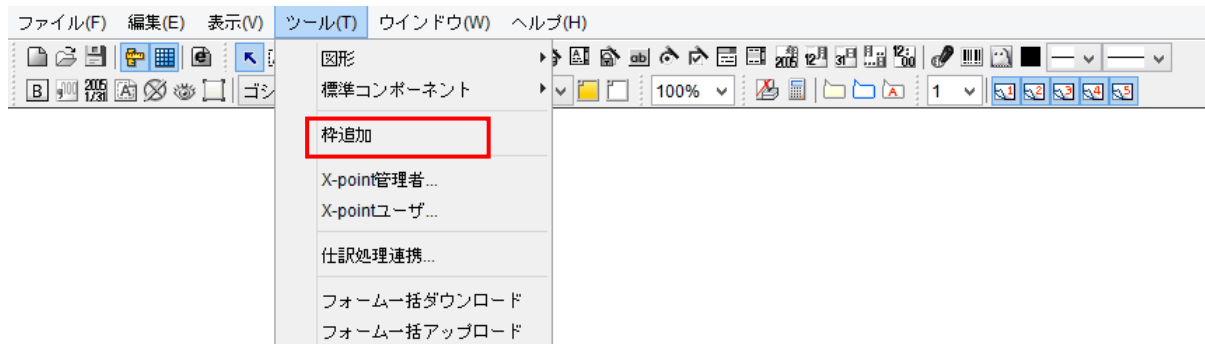
枠線付き：False（枠なし）、True（枠あり）を選択することで枠属性と同じ設定できます。

枠線幅：プルダウンメニューから枠線幅を選択します。

枠線色：別ウィンドウの色の設定から色を選択します。

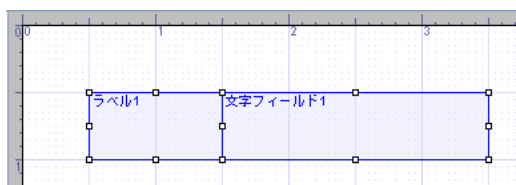
## 2) 同一サイズ枠フィールドの追加

フィールドを作成した後に、同じ大きさの枠線を作成するような場合、メニューバーのツールから「枠追加」を利用すると簡単に作成することができます。



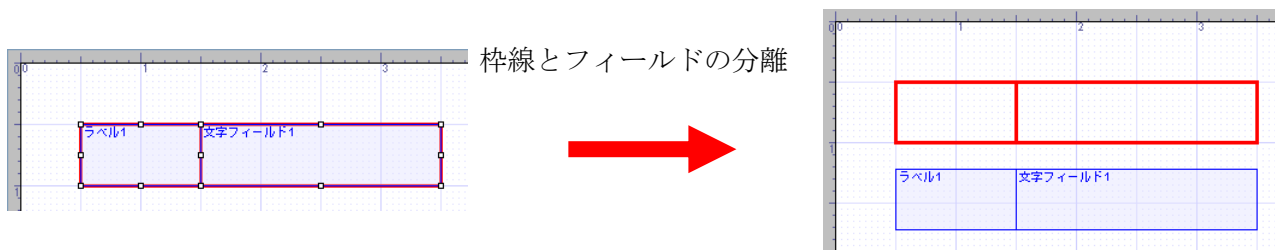
### 【枠追加する前】

フィールド配置。「枠追加」を行う前にアイコンメニューバーから色設定、線幅設定することができます。



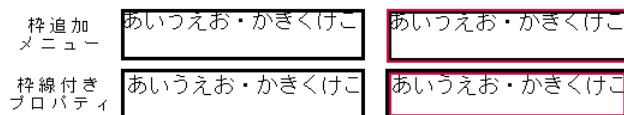
### 【枠追加した後】

フィールドと同じサイズの枠線が作成されるだけなので、フィールドを移動した場合も枠線は元の位置に表示され続けます。



※ 「枠線付き」プロパティと「枠追加」メニューの違いについて

フィールドに枠を付ける機能として、「枠線付き」プロパティと「枠追加」メニューの2種類は、実際に入力表示される場合に違いがあります。枠線の幅を太くすると差が判りやすいので、例では太めの枠線にしています。



プロパティで指定した場合は、枠線の太さに応じて入力フィールドのサイズが調整されるため、枠線が太くても文字に重なることはありません。メニューから追加した場合は調整されないため、線が太くなると文字に重なってしまいます。同様にフォーカス枠の表示も異なります。

フォームデザイン時にこの差を、どのように生かすかで利用方法がかわります。

## 2.28 背景色の設定

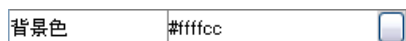
フォームをブラウザで表示する際に、ラベルや入力フォームに背景色つけたい場合があります。その場合アイコンメニューバーから背景色アイコンをクリックし背景色を設定します。

また、プロパティ（属性）から設定することができます。

### 【アイコンメニューバー】

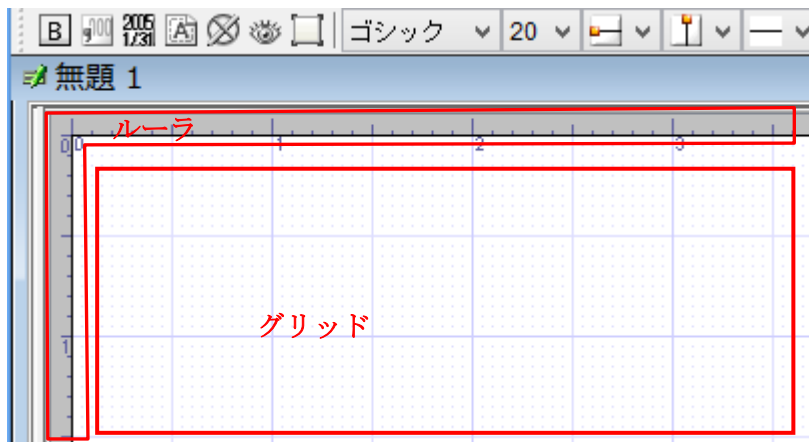


### 【プロパティ（属性）表示】

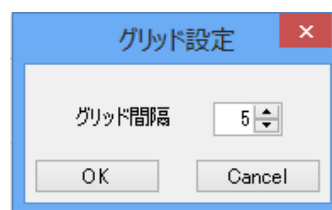
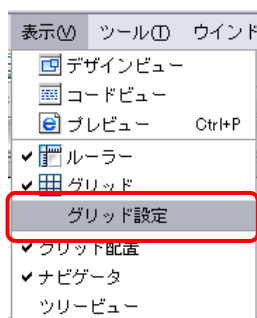


## 2.29 ルーラーとグリッド

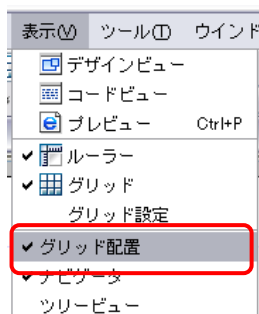
フォーム作成画面にはフォームサイズを現すルーラーとフィールドを配置する際の目安として利用するグリッド(格子状の線と点)が表示され、メニューの“表示(V)” から表示の有無を指定することができます。



グリッドの間隔は“グリッド設定”画面から編集中のフォームに対してのみ一時的に行う事ができ、グリッド表示中はマウスによるフィールド作成、移動、サイズ変更の操作がグリッドに合わせて行うことができます。



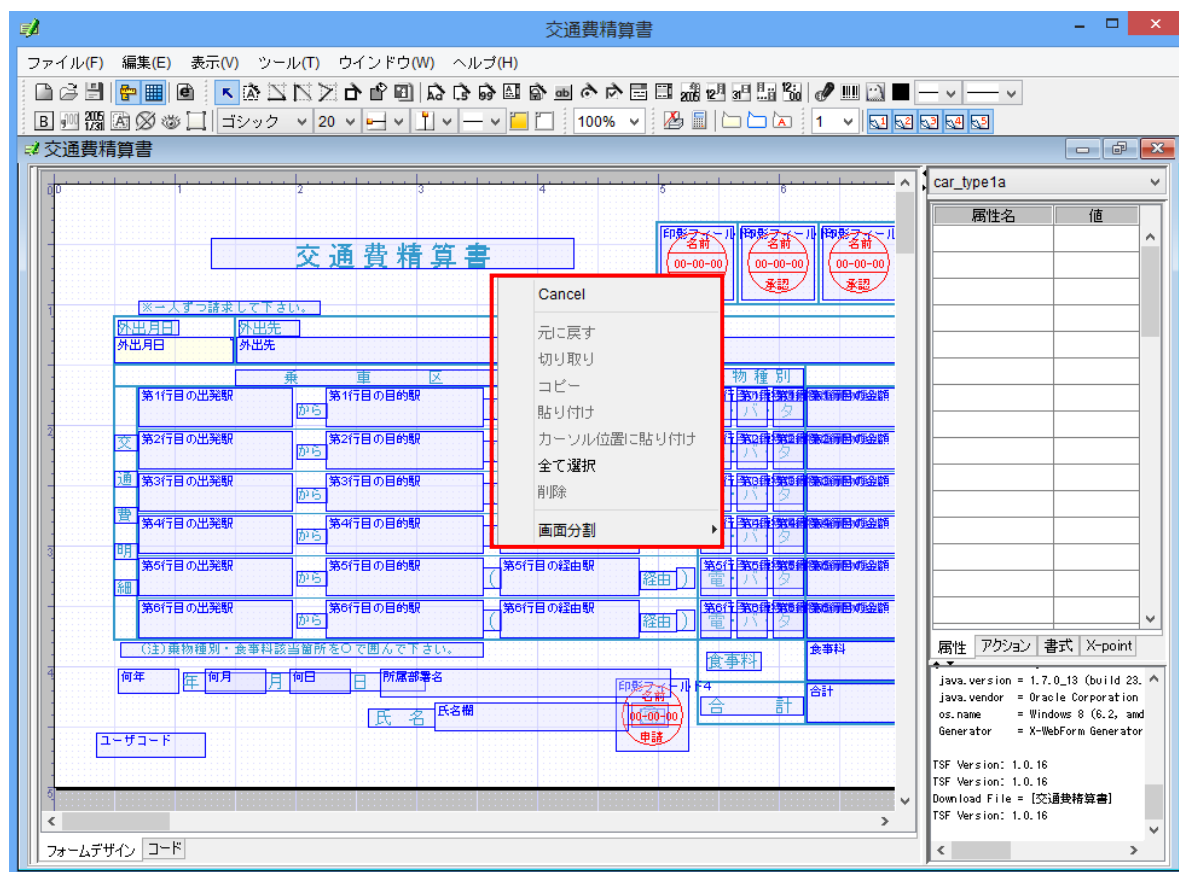
グリッド表示中であっても“表示”メニュー内の“グリッド配置”を OFF にすることで1ピクセル単位での操作が可能になります。



## 2.30 右クリックメニューの使い方

フォームデザイン領域でマウス右ボタンをクリックすると、ポップアップ・メニューを利用することができます。ポップアップ・メニューは、選択されているオブジェクトの状態により表示内容が変化します。また、複数のオブジェクトが重なって選択しにくい場合の補助機能も提供します。選択補助機能を利用すると、通常“選択モード”でのみ可能なオブジェクトの選択操作を“選択モード”以外でも行うことができます。

### 【オブジェクトを一つも選択していない場合】



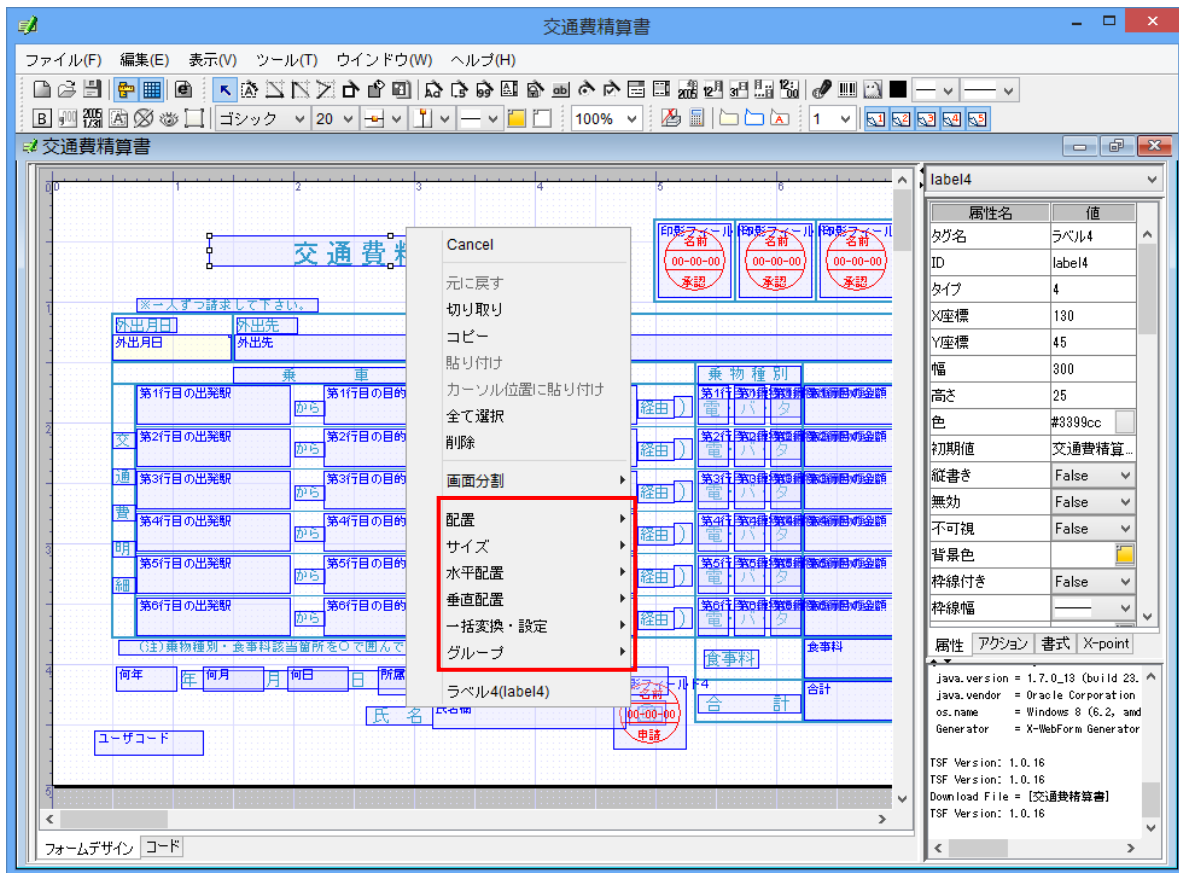
- |             |                                       |
|-------------|---------------------------------------|
| Cancel      | : ポップアップ・メニューの表示を取りやめます。              |
| 元に戻す        | : 操作ミスを起こしてしまった場合、一つ前の状態に戻ることができます    |
| 切り取り        | : 選択中のオブジェクトを切り取り、貼り付け可能な状態にします。(※1)  |
| コピー         | : 選択中のオブジェクトを貼り付け可能な状態にします。(※1)       |
| 貼り付け        | : コピーしたオブジェクトを同じ位置に貼り付けます。(※2)        |
| カーソル位置に貼り付け | : コピーした基準オブジェクトを現在のカーソル位置に貼り付けます。(※2) |
| 全て選択        | : デザイン領域のオブジェクトを全て選択状態にします。           |
| 削除          | : 選択中のオブジェクトを削除します。(※1)               |

※1) 選択されているオブジェクトが存在する場合にのみ選択可能になります。

※2) コピーされたオブジェクトがある場合にのみ選択可能になります。

【オブジェクトが選択されている場合】

位置揃え、サイズ一括変更などの操作を行うメニューが追加表示されます。



配置：編集→配置 と同様の操作ができます。

サイズ：編集→サイズ と同様の操作ができます。

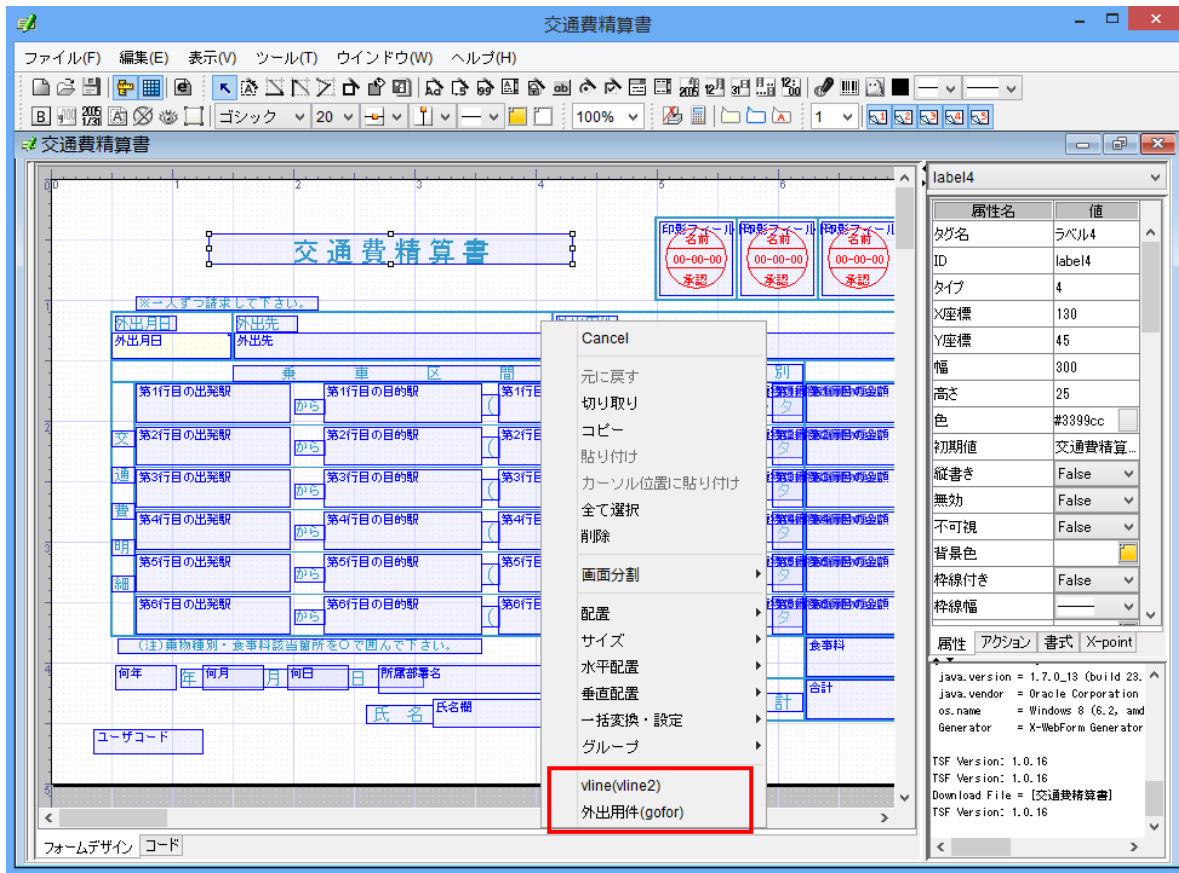
水平配置：編集→グループ化、編集→水平配置 と同様の操作ができます。

垂直配置：編集→グループ化、編集→垂直配置 と同様の操作ができます。

グループ：編集→グループ化、編集→グループ解除 と同様の操作ができます。

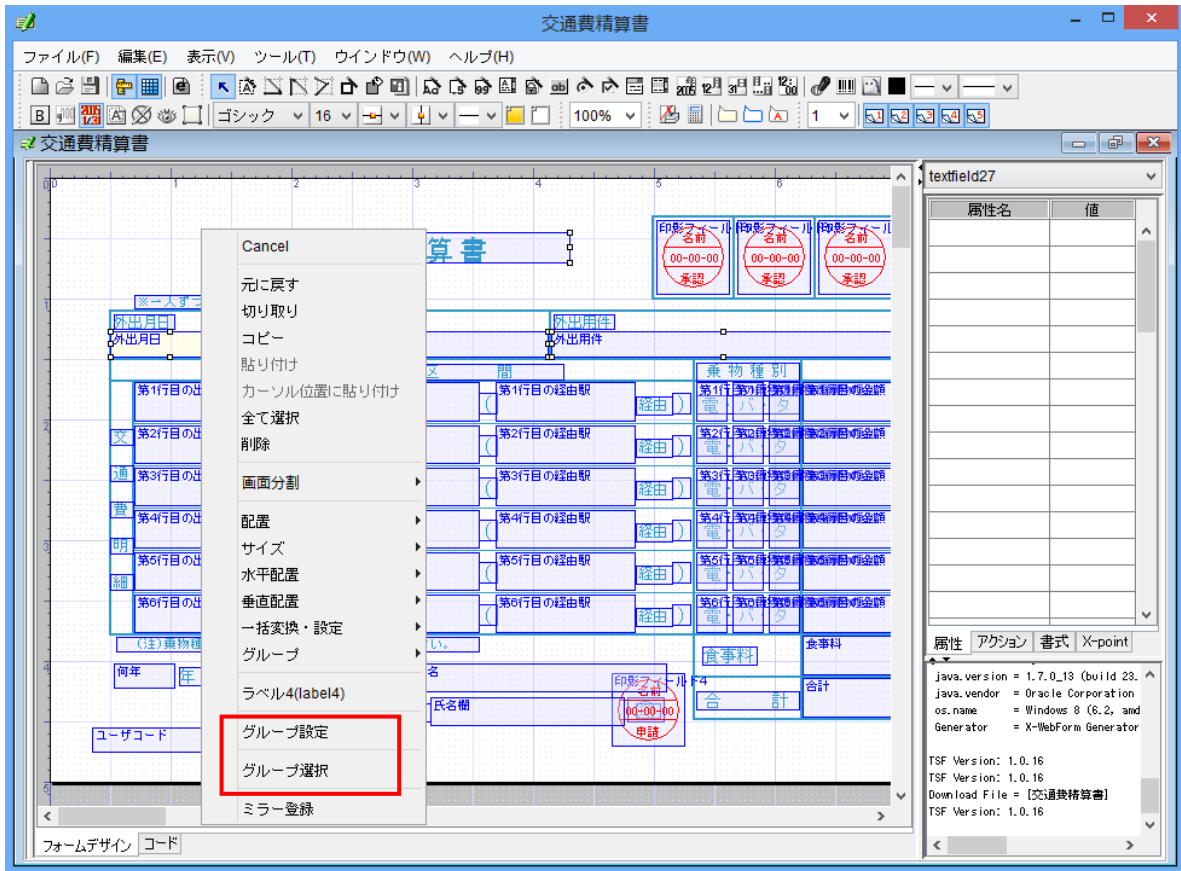
【複数オブジェクトが重なった場所で表示した場合】

カーソル位置にあるオブジェクトが、ポップアップ・メニュー下の段にリストされます。表示されたオブジェクト名を選ぶと、選んだオブジェクトが選択状態になります。



【グループ化されたオブジェクトの上で表示した場合】

グループ操作を行うメニューが追加表示されます。



グループ設定：グループに関する設定（表レイアウト設定）を行うことができます。

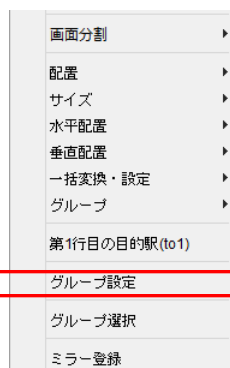
グループ選択：同じグループのフィールド全てを選択状態にすることができます。

## 2.31 グループ設定による表定義の作成

表形式レイアウトのように特定の項目が繰り返し現れるような場合には、グループ設定を利用すると、X-point eFormMaker では最初の一行目のみを定義しておくだけで表全体を作成することが可能になります。

手順 1) 表の 1 行目の入力フィールドを作成しグループ化します。

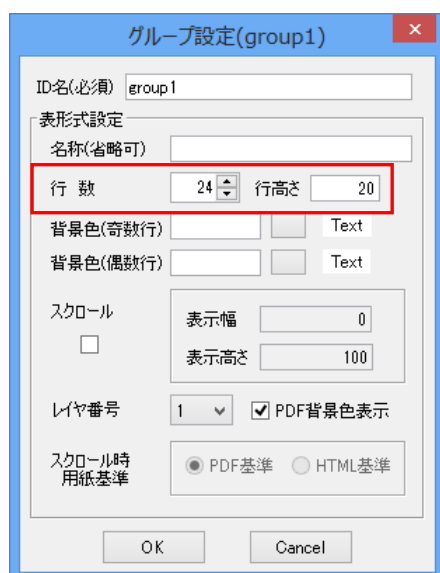
手順 2) 1 行目の入力フィールドをすべて選択し、右クリックします。



右クリックメニューから「グループ設定」を選択します。

手順 3) 「グループ設定」画面から表の「行数」「行高さ」を指定します。

行高さを省略（0を設定）するとグループ化したフィールドを元に高さが自動計算されます。

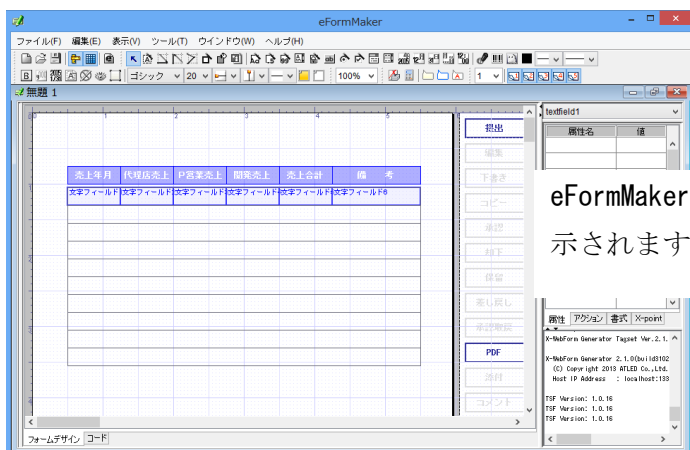


「グループ設定」画面のプロパティからは、「行数」、「行高さ」の他に、「背景色（奇数行）」、「背景色（偶数行）」の設定から、1 行おきに背景色を変えることにより、見やすいデザインを作成することも可能です。

### ▶ 特記事項

行背景色の指定は「PDF 背景色表示」のチェック指定で PDF 作成時にも背景色を表示するか否かを指定できます。各フィールドは PDF 作成時に背景色が“表示されない動作”が基本になりますが、表定義での背景色は“表示する動作”が基本になります。

【OK】 ボタンをクリックすると、以下のような画面イメージとなります。



### 【フォーム設定画面 (eFormMaker)】

eFormMaker 画面上では、繰返し行の背景イメージが薄く表示されます。画面を見ながら「行数」「高さ」を調整します。



### 【フォームプレビュー画面】

プレビューを行うと、表定義の行数分の入力フィールドができていることが確認できます。

#### (※) 行数自動表示

表定義各行に行数を自動表示するには、「文字ラベル」を利用し、他の繰返しフィールドとグループ化します。続けて「文字ラベル」のプロパティ属性「行番号」を”True”にすることで、行数を自動表示できます。

#### ！注意事項

#### (※) 表定義作成時の注意・制限事項

- ・ グループ化による表定義を設定すると各行のフィールド設定は、**1行目の設定を引き継ぎます。**
- ・ **表定義内のフィールドと表定義外のフィールドの間での計算式は設定できません。**
- ・ スクロールタイプの表部分に表のグループに含まれていないフィールドを配置しないでください。  
X-point ではスクロール表の内・外の配置位置により情報を管理する部分があります。その為、表に含まれない項目が表の内側に配置されると、配置されたデータが登録されないことがありますので、**表に関係ない項目は表の外に配置してください。**
- ・ スクロールタイプの表を定義した場合、表部分の左右下に配置したフィールドが、表示を折りたたむ際の判定により表示されない場合があります。スクロールタイプの表はフォームの下部におき、表の左右には項目を配置しない利用を推奨します。
- ・ 表定義はフォーム内に複数作成できますが、**スクロールタイプの表はフォーム内に一つだけです。**  
X-point 上で複数枚フォームとして利用する場合には、ページ毎に一つのスクロール表が利用できます。
- ・ スクロールタイプの表の設定項目「表示幅」を指定することはできません。

“表内スクロール”は指定範囲内のフォームを指定サイズのフレーム内で表示する機能です。この機能を利用することによって、何行もある表を少ない行数で表示し入力することが可能になります。

「表示高さ」で任意のサイズを指定します。

### 【表内スクロールの例】

日付	商品/内容	数量	単位	単価	金額
5/18					
	(消費税(5%))	0)		小計	0
お支払い期限	2005 / 5 / 18			合計	0

但し、PDF印刷時はスクロールにより変化する行高さ分がフォームのサイズに反映されますのでフォーム作成の際に注意が必要です。

その為、スクロール表を利用する場合は、フォーム設定で指定した“用紙サイズ”がPDF出力時のサイズであるか、HTML(入力フォーム)表示時のサイズであるかを指定する必要があります。

グループ設定(group1)

ID名(必須) group1

表形式設定

名称(省略可)

行数 24 行高さ 20

背景色(奇数行) Text

背景色(偶数行) Text

スクロール

表示幅 0

表示高さ 100

レイヤ番号 1  PDF背景色表示


スクロール時 用紙基準

PDF基準  HTML基準

OK Cancel

- PDF 基準 (デフォルト)  
フォーム設定で指定された“用紙サイズ”はPDF作成時のサイズを表します。その為、入力フォームはスクロール分が高さ方向に縮んだサイズになります。
- HTML 基準  
フォーム設定で指定された“用紙サイズ”はHTML作成時のサイズを表します。その為、入力フォームの作成中、フィールドや図形オブジェクトがフォーム範囲からはみ出した形で作成するようになります。

## 2.32 画像・PDF

画像はイメージコンポーネントを利用して作成しますが、explorer から画像ファイルをドラッグ&ドロップすることでも作成できます。画像ファイルをドロップする場合、ファイルを置く位置によってイメージコンポーネントと背景画像に振り分けが行われます。

フォーム作成エリアの上に配置・・・ イメージ

フォーム作成エリアの外に配置・・・ 背景画像

となります。PDF ファイルをドロップした場合は、背景 PDF として指定されます。

## 2.33 マイクロソフト・エクセルのワークシート

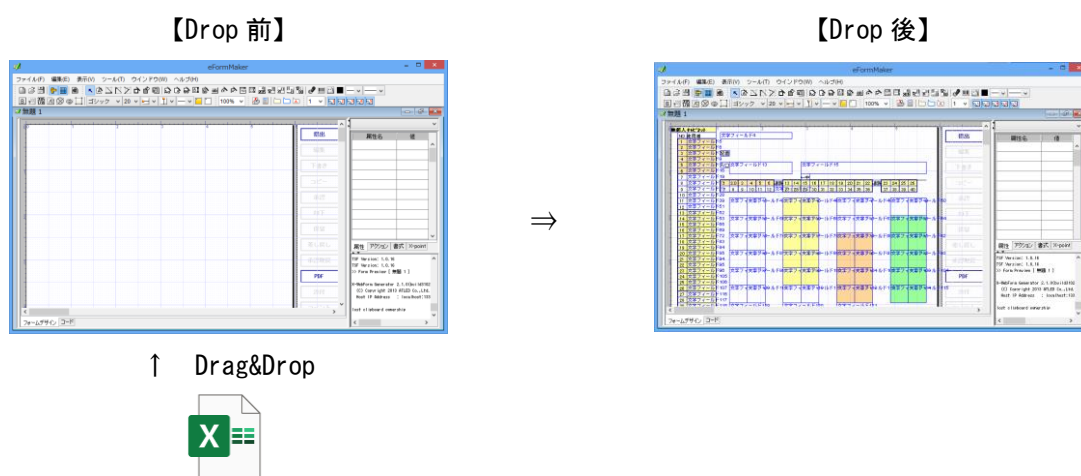
eFormMaker のフォームデザイン領域にマイクロソフト・エクセルで作成したワークシートの内容をインポートしフォーム定義に変換表示することができます。

### ！ 注意事項

- マイクロソフト・エクセルで利用できる全ての機能には対応していません。
- エクセル上で表現されているセルサイズと完全には一致しません。シート情報取り込み後にデザイン画面上で調整を行なう必要があります。
- EXCEL ブック (xlsx)、EXCEL 97-2003 ブック (xls) が対象になります。

### 1) 利用方法

フォームデザイン画面に目的のエクセル・ファイルをドラッグ&ドロップするとフォーム上に 1 枚目のワークシート内容が表示されます。



#### ① 事前準備と取り込み対象

ブック形式エクセル・ファイル 1 枚目のワークシートのみが対象になります。取込を行う前にフォームとして利用するセルがある範囲を「印刷範囲」として設定しておきます。

範囲指定が無い場合、読み取り範囲ワークシート全体に及ぶ場合があります。処理に非常に時間がかかる読み取りが完了せず異常終了する等が発生しやすいため「印刷範囲」の設定を推奨します。

### ▶ 特記事項

ワークシートの読み取り範囲の決定には条件があります。

- 1) 印刷範囲設定が設定されている範囲の項目を対象にします。
- 2) 印刷範囲が設定されていない、印刷範囲の情報が取得できないワークシートの場合はワークシート読込の際に有効と範囲されたセル全てを対象にします。
- 3) フォーム設定に指定された用紙サイズ外になるワークシートの項目は配置されません。

#### ② 配置される場所

印刷範囲の設定がある場合は、印刷範囲の左上がフォーム左上（座標 0, 0）に配置されます。

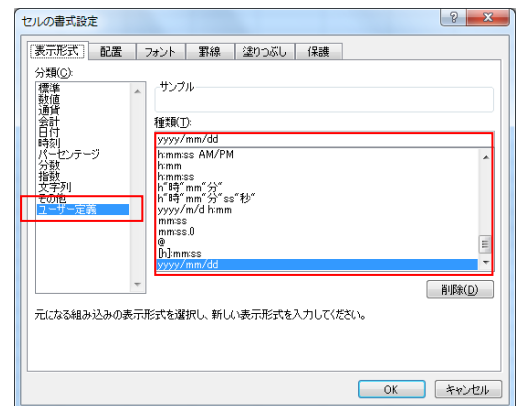
印刷範囲の設定がない場合は、A1 セルがフォーム左上（座標 0, 0）に配置されます。

## 2) セル書式 (罫線・色など) の扱い

ワークシート上のセルの扱いの主要な点をまとめます。

なお、変換は EXCEL の内部データ設定に従って行われる為、ワークシートの見た目と異なる場合があります。(セルに文字が無いが内部では文字項目扱いになっている、罫線表示されていないが内部では罫線設定がある状態になっている等)

- ① テキスト型、テキストエリア型、数値型でフィールドが作成されます。  
セルの書式設定で方向が縦になっている場合は縦書きラベルになります。
- ② 結合セル  
結合されているセルは一つのフィールドとして定義されます。
- ③ 文字入力が無いセル  
セルの周囲4辺のうち1辺以上の罫線がある場合、フィールドに変換されます。  
枠線が無い場合、ラベル項目の右側に配置されたセル以外はフィールドに変換されません。
- ④ 文字型で入力値があるセル  
文字型で入力値がある項目はラベル型フィールドで配置されます。
- ⑤ ラベル型に変換されたフィールドの右側セル  
ラベル型に変換したセルの右側はテキスト入力の有無にかかわらず文字フィールドで配置します。
- ⑥ 計算式  
計算式は実行されません。計算式が設定されたセルに対応するフィールドは数値形式になります。
- ⑦ 取得セルのデータ表示形式  
日付型は"yyyy/mm/dd"、"yy/mm/dd"がセルに書式指定されているもののみ表示されます。予めExcelの「セルの書式設定」>「表示形式」タブより、「ユーザ定義」を選択し、「種類」項目でいずれかの書式を定義してください。それ以外は、eFormMaker が取り込みを行なった際にワークシートより取得できたデータ文字列表現になります。数値型は **General** のみが処理されます。



- ⑧ 罫線  
セルの四方に同一幅・同一線種・同一色の罫線がある場合はフィールドの枠として設定されます。種類や色が異なる場合は個別の線として作成され、個別に作成された水平線、垂直線が連続している場合は、一本の線として作成されます。  
なお、取り込みが行なわれない主な情報として以下のようなものがあります。
  - (1) 斜め線は取り込まれません。
  - (2) 線幅は3段階のみになります。
  - (3) 線種は実線、破線、点線に置き換えられます。
  - (4) セルを囲むように設定されている二重線は実線に変換されます。
  - (5) 指定される色により反映されない場合があります。

⑨ 文字色・背景色

フィールドの文字色・背景色に設定されます。指定される色により反映されない場合があります。

⑩ フォント

MS ゴシック、MS 明朝、MS P ゴシック、MS P 明朝になります。それ以外の場合は MS ゴシックになります。

⑪ メモ（旧バージョンの EXCEL では「コメント」と表現される場合があります）

マイクロソフト・エクセルの[校閲]メニューにて、メモが表示になっている場合、セルに設定されているメモはツールチップとして設定されます。

⑫ 拡大縮小印刷
























利用できません。等倍で取り込まれます。

### 3) セル以外のデータ

取り込まれません。

## 2.34 アイコンメニューバー


アイコンメニューバーよりフィールドに属性値を指定することができます。

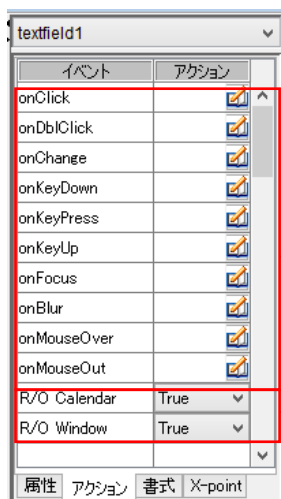
-  . . . フォント・ウェイトを設定します。  
(標準 : 、ボールド : )
-  . . . 数値、整数フィールドにて、ブラウザ表示、PDF 表示でカンマ区切りが行われます。  
(区切り有り : 、区切り無し : )
-  . . . テキスト・フィールドをダブル・クリックすると、カレンダー表示され入力ができます。  
(カレンダー表示有り : 、カレンダー表示無し : )
-  . . . ブラウザ表示、PDF 表示でフィールドに枠が表示されます。  
(枠あり : 、枠なし : )
-  . . . フィールドで編集操作を禁止します。(編集禁止 : 、編集可 : )
-  . . . ブラウザ、PDF 上にフィールドが表示されなくなります。(可視 : 、不可視 : )
-  . . . フィールドオブジェクトが固定され、マウスを使った移動ができなくなります。  
(固定 : 、未固定 : )
-  . . . 垂直文字位置の指定
-  . . . 水平文字位置の指定

## 2.35 フィールド・アクション設定

フォームに配置したフィールドに対し、フィールドの操作に対応した JavaScript アクションを指定することが出来ます。

### 1) アクションの起動指定

フィールド・アクションの起動指定はフィールド選択後にプロパティ画面の“アクション”タブにて行います。各項目でアクション欄に「」アイコンがあるものが JavaScript で行うアクションになります。



#### JavaScript アクション

- ・ 実行したい JavaScript をダイアログに記述します。

#### R/O Calendar アクション


- ・ フィールドにカレンダー表示が指定された際、フィールドが読み取り専用の場合の動作を指定します。

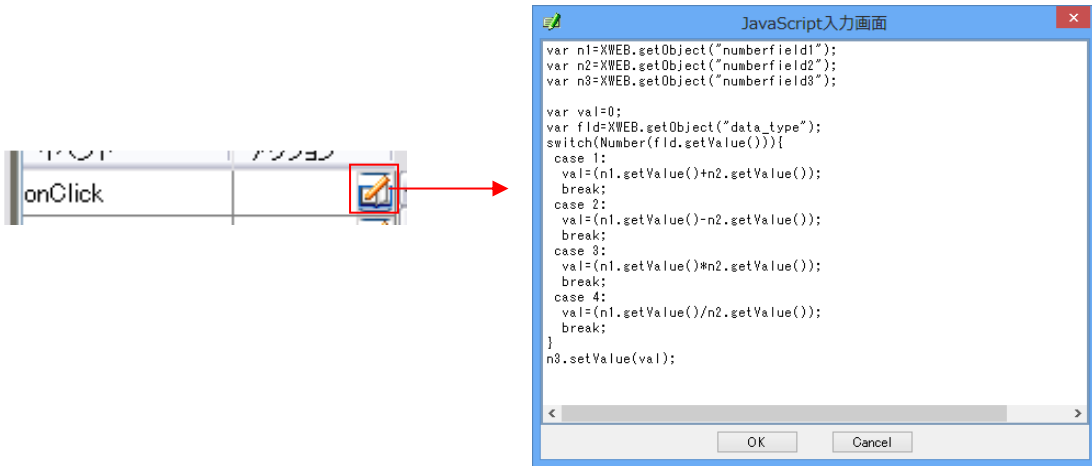
#### R/O Window アクション

- ・ フィールドにマスタ参照ウィンドウの表示が指定された際、フィールドが読み取り専用の場合の動作を指定します。

JavaScript アクションは各イベントに直接 JavaScript を直接記述してプログラムを行います。

## 2) JavaScript イベント

フィールドに設定する JavaScript はプロパティ欄の「」をクリックして表示されるダイアログから入力を行います。



フィールドに指定した JavaScript はフォーム実行の際に function として定義されます。ボタンをクリックした際に“A”という文字を表示する場合、ブラウザ表示されたフォームの中には次のような function が作成されます。

### 【通常の場合】

```
function button1_onclick(_obj) {
  alert('A');
}
```

### 【表内の場合】

```
function button1_onclick(_obj, _no) {
  alert('A');
}
```

function 名は“ID 名\_イベント名”で作成され、引数として \_obj と \_no が与えられます。\_obj はフィールドを示すオブジェクトなので、\_obj.id とすることでフィールド ID を取得することが出来ます。\_no は表定義内で作成されたフィールドのみで利用できる情報で表の何行目（先頭行は 0 です）で実行されたかを示しています。

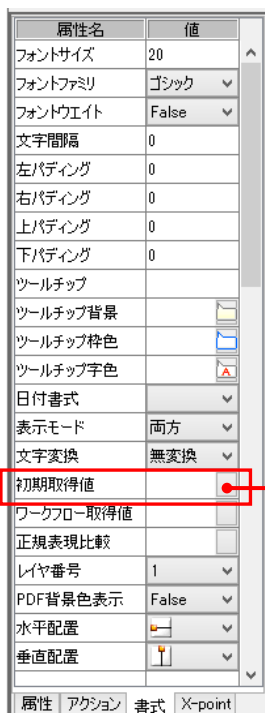
指定した JavaScript はこのような形で利用される為、異なるフィールド間で JavaScript 変数を参照する外部変数(共有変数)を利用する場合、“ファイル” → “フォーム設定”の“JavaScript”タブ内に JavaScript 変数を予め定義しておく必要があります。



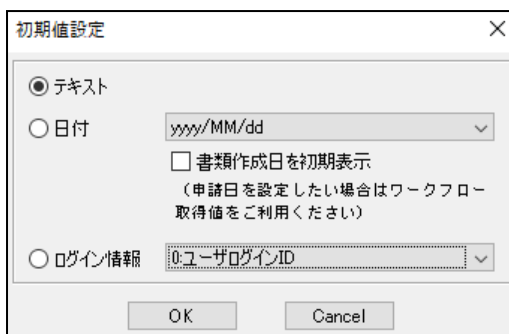
## 2.36 初期取得値

フォームを開いた際に予め表示させる初期値を指定することが可能です。

表定義内のフィールドに設定した場合は、全ての行のフィールドに対して値が反映されます。



【クリック後初期値設定ウィンドウ表示】



【取り扱い可能な書式】

	書式	備考1	備考2
日付(※1)	指定なし	X-point が適当な書式を自動設定します	
	yyyy年MM月dd日HH時mm分	(例) 2005年03月18日15時30分	文字フィールドのみ
	yyyy年MM月dd日	(例) 2005年03月18日	文字フィールドのみ
	yyyy年MM月dd日(前0なし)	(例) 2005年3月18日	文字フィールドのみ
	yyyy/MM/dd HH:mm	(例) 2005/03/18 15:30	文字フィールドのみ
	yyyy/MM/dd	(例) 2005/03/18	文字、日時フィールド
	yyyy/MM/dd(前0なし)	(例) 2005/3/18	文字フィールドのみ
	yyyy-MM-dd HH:mm	(例) 2005-03-18 15:30	文字フィールドのみ
	yyyy-MM-dd	(例) 2005-03-18	文字フィールドのみ
	yyyy-MM-dd(前0なし)	(例) 2005-3-18	文字フィールドのみ
	HH:mm	(例) 15:30	文字、日時フィールド
	E	和暦	文字フィールドのみ
	yyyyMMdd	(例) 20050318	
	yyyy	年のみ(西暦)	
	MM	月のみ	
	M(前0なし)	月のみ	
dd	日付のみ		
d(前0なし)	日付のみ		
HH	時間のみ(24時間表記)		
mm	分のみ		
時刻(※1)	yyyy/MM/dd		文字、日時フィールド
	yy/mm/dd		日時フィールドのみ
	HH:mm		文字、日時フィールド

	HH:mm a		日時フィールドのみ
	HH:mm:ss		日時フィールドのみ
	HH:mm:ss a		日時フィールドのみ

	書式	備考 1	備考 2
ログイン 情報	ユーザログイン ID (※2)	申請者に関する情報が指定フィールドに反映されます。	文字、数値フィールド
	ユーザコード (※2)	同上	文字、数値フィールド
	ユーザ名称 (※2)	同上	文字、数値フィールド
	ユーザ・カナ(※2)	同上	文字、数値フィールド
	ユーザ E メール・アドレス (※2)	同上	文字、数値フィールド
	グループコード (※2)	同上	文字、数値フィールド
	グループ名 (※2)	同上	文字、数値フィールド
	役職コード (※2)	同上	文字、数値フィールド
	役職名 (※2)	同上	文字、数値フィールド
	ユーザ情報(予備 01)～(予備 30)	同上	文字、数値フィールド
	グループ情報(予備 01)～(予備 15)	同上	文字、数値フィールド
マスタ		X-point 簡易マスタを指定します。 (※)ユーザ固有マスタは選択できません。	コンボボックス、リストボックスのみ

※1) 「書類作成日を初期表示」にチェックすると、新規書類を開く際に書類作成日で上書きします。  
 チェックしない場合は、書式の上書きのみ行います。(初期値の上書きは行いません)  
 なお、初期取得値の日付・時刻は、X-point サーバーのシステム日付から取得されます。

※2) 日時フィールドにおいて、ユーザログイン ID、ユーザコード、ユーザ名称、ユーザ・カナ、ユーザEメールアドレス、グループコード、グループ名、役職コード、役職名の何れかを指定した場合、入力書式・表示書式を変更することはできません。  
 これらの項目を指定している場合は、保存した TSF ファイルを開いた際に“hh:mm”の初期値に戻されます。  
 ただし、これらの項目を設定しても運用時に設定される値が日時の書式ではないために、ほとんどの場合エラーが発生します。

### 1) テキスト・フィールド

日付、ログイン情報を指定することが可能。

初期値設定

テキスト

日付 yyyy/MM/dd

書類作成日を初期表示  
(申請日を設定したい場合はワークフロー取得値をご利用ください)

ログイン情報 0:ユーザーログインID

OK Cancel

### 2) 数値・整数フィールド

日付を指定することが可能。ログイン情報を指定した場合、取得できる値が数値・整数である場合にのみフォームに初期値として表示されます。数値・整数以外の場合は初期値として取得可能な情報があっても空欄になります。

初期値設定

テキスト

日付 yyyyMMdd

書類作成日を初期表示  
(申請日を設定したい場合はワークフロー取得値をご利用ください)

ログイン情報 0:ユーザーログインID

OK Cancel

### 3) コンボボックス・リストボックスフィールド

指定可能なアイテムに X-point に登録されている簡易マスタを指定する場合に利用します。

初期値設定

テキスト プロジェクトマスタ

日付 yyyy年MM月dd日 HH時mm分

書類作成日を初期表示  
(申請日を設定したい場合はワークフロー取得値をご利用ください)

ログイン情報 0:ユーザーログインID

OK Cancel

## 2.37 ワークフロー取得値

X-point の承認ルートにおける、申請・承認・承認完了のタイミングで、取得表示する書類情報値を指定することが可能です。

表定義内のフィールドに設定した場合は、1行目のフィールドに対してのみ値が反映されます。

属性名	値
フォントサイズ	20
フォントファミリー	ゴシック
フォントウェイト	False
文字間隔	0
左パディング	0
右パディング	0
上パディング	0
下パディング	0
ツールチップ	
ツールチップ背景	
ツールチップ枠色	
ツールチップ字色	
日付書式	
表示モード	両方
文字変換	無変換
初期取得値	
ワークフロー取得値	
正規表現比較	
レイヤ番号	1
PDF背景色表示	False
水平配置	
垂直配置	

【クリック後ワークフロー取得値設定ウィンドウ表示】

ワークフロー取得値設定

書類情報 --

承認ステップ STEP01

OK Cancel

ワークフロー取得値設定

書類情報 承認日

承認ステップ

- STEP01
- STEP02
- STEP03
- STEP04
- STEP05

書類情報に以下の承認に関する項目を選択した場合は、メニューから承認ステップを指定できます。

- 承認日
- 承認者 (ユーザコード)
- 承認者 (ユーザ名)
- 承認者 (ユーザカナ)
- 承認者 (ユーザ E メール)
- 承認者 (グループコード)
- 承認者 (グループ名)
- 承認者 (ユーザ予備項目 01~30)
- 承認者 (グループ予備項目 01~15)

### ！注意事項

同一步に複数の承認者がいる場合、最終承認者の情報が適用されます。

【取り扱い可能な取得値】

書類情報	説明	取得（更新） タイミング	値の削除	指定可能フィールド		
				文字 テキスト エリア 不可視	数値 整数	西暦 月 日 曜日 日時
書類 No	X-point によって採番される書類の識別番号	新規提出、下書き	—	○	○	
件名 1	件名 1 の入力値	全ての操作	—	○		
件名 2	件名 2 の入力値	全ての操作	—	○		
承認状況	書類の承認状況（下書き、承認中、保留中、差戻され、承認完了、却下）	全ての操作	—	○		
承認ルートコード	回付中の承認ルートコード	全ての操作	—	○		
承認ルート名	回付中の承認ルート名称	全ての操作	—	○		
申請日	書類が申請された日時	新規提出、再提出	—	○		○
申請者（ユーザコード）	申請者のユーザコード	新規提出、再提出	—	○		
申請者（ユーザ名）	申請者のユーザ名称	新規提出、再提出	—	○		
申請者（ユーザカナ）	申請者のユーザカナ	新規提出、再提出	—	○		
申請者（ユーザ E メール）	申請者の E メールアドレス	新規提出、再提出	—	○		
申請者（グループコード）	申請者が所属するグループコード	新規提出、再提出	—	○		
申請者（グループ名）	申請者が所属するグループ名称	新規提出、再提出	—	○		
申請者（ユーザ予備項目 01～30）	ユーザ設定で入力された申請者の予備項目の内容	新規提出、再提出	—	○		
申請者（グループ予備項目 01～15）	ユーザグループ設定で入力された申請者所属グループの予備項目の内容	新規提出、再提出	—	○		
承認日	ステップの承認日時	指定承認ステップ	差し戻し、承認者取り戻し、承認完了後の再申請	○		○
承認者（ユーザコード）	指定ステップ承認者のユーザコード	指定承認ステップ	差し戻し、承認者取り戻し、承認完了後の再申請	○		
承認者（ユーザ名）	指定ステップ承認者のユーザ名称	指定承認ステップ	差し戻し、承認者取り戻し、承認完了後の再申請	○		
承認者（ユーザカナ）	指定ステップ承認者のユーザカナ	指定承認ステップ	差し戻し、承認者取り戻し、承認完了後の再申請	○		
承認者（ユーザ E メール）	指定ステップ承認者の E メールアドレス	指定承認ステップ	差し戻し、承認者取り戻し、承認完了後の再申請	○		
承認者（ユーザグループコード）	指定ステップ承認者が所属するグループコード	指定承認ステップ	差し戻し、承認者取り戻し、承認完了後の再申請	○		
承認者（グループ名）	指定ステップ承認者が所属するグループ名称	指定承認ステップ	差し戻し、承認者取り戻し、承認完了後の再申請	○		
承認者（ユーザ予備項目 01～30）	ユーザ設定で入力された指定ステップ承認者の予備項目の内容	指定承認ステップ	差し戻し、承認者取り戻し、承認完了後の再申請	○		
承認者（グループ予備項目 01～15）	ユーザグループ設定で入力された指定ステップ承認者所属グループの予備項目の内容	指定承認ステップ	差し戻し、承認者取り戻し、承認完了後の再申請	○		
承認完了日	承認完了となった日時	最終承認	承認完了後の再申請、（取り戻し）	○		○

！注意事項

通常フォームの場合は、「書類 No」「件名 1」「件名 2」だけが取得できます。

## 2.38 X-point コンポーネント

X-point サーバで使用するフォームを作成する場合、X-point eFormMaker 上でフィールドに X-point 上のコンポーネントを指定することができます。

コンポーネントの指定を行う場合は、指定を行うフィールドを選択したのちコンポーネントアイコン(🔗)をクリック、もしくはプロパティの X-point タブから指定します。

【コンポーネントが利用できない、もしくは利用しないに状態した場合】

The screenshot shows the 'コンポーネント設定' (Component Settings) dialog box. At the top, there is a checkbox labeled 'コンポーネントを利用する(選択されているタブのコンポーネントが有効になります)' (Use component (components in the selected tab are enabled)). This checkbox is currently unchecked. Below the checkbox, there are tabs for 'マスタ参照ウィンドウ', '自動採番', '残管理', 'カレンダー参照(下位互換用)', and 'マスタ検索(下位互換用)'. The 'コンポーネント名' (Component Name) is set to '勘定科目'. Below this, there are two tables: 'フィールド設定' (Field Settings) and 'フィルタ設定' (Filter Settings).

フィールド設定			フィルタ設定		
主キー	マスタ項目	対応フィールド	フィルタタイプ	フィルタ値指定	Like
🔗	account_cd	-	-	-	<input type="checkbox"/>
	account_name	-	-	-	<input type="checkbox"/>
	account_type	-	-	-	<input type="checkbox"/>

【コンポーネントを利用可能にした状態】

This screenshot is identical to the previous one, but the checkbox 'コンポーネントを利用する(選択されているタブのコンポーネントが有効になります)' is now checked, indicating that the component is enabled for use.

- ※ コンポーネントは「コンポーネントを利用する」をチェックすると指定可能になります。
- ※ コンポーネントは予め、X-point 管理者画面上で定義しておきます。  
eFormMaker を開いている間に定義したコンポーネントは、eFormMaker に反映されません。  
eFormMaker に最新のコンポーネントを反映させるには、メニュー→【ファイル】→【動作環境】画面から「OK」ボタンをクリックして再接続を行って下さい。
- ※ 既にコンポーネントが設定されている場合は、設定内容を示すタブが表示されます。
- ※ eFormMaker でプレビュー操作を行った場合には、設定したマスタ参照ウィンドウ・マスタ検索は動作しません。  
プレビュー時には、マスタ参照ウィンドウが設定されている項目では参考用のイメージ画像、マスタ検索が設定されているフィールドで値の入力・変更を行うと検索動作が設定されていることを示す表示が行われます。

## 1) マスタ参照

マスタ参照コンポーネント、マスタ参照&検索コンポーネントを指定します。

フィールドをダブル・クリックするとマスタ参照ウィンドウが表示され、選択した行の値をフォーム・フィールドに反映します。「自動検索入力を行う」をチェックすると、入力フィールドの値を主キーの値としてマスタ検索を行い該当レコードの内容をフォーム・フィールドに反映します。

フィールド設定			フィルタ設定		
主キー	マスタ項目	対応フィールド	フィルタタイプ	フィルタ値指定	Like
<input checked="" type="checkbox"/>	account_cd	ac_code	-		<input type="checkbox"/>
	account_name	ac_name	-		<input type="checkbox"/>
	account_type	ac_type	field	ac_type	<input checked="" type="checkbox"/>

空のフィルタを除外する  
マスタ参照利用時に、ユーザがフィルタフィールドに入力を行わなかった場合、そのフィルタの絞り込みを行いません。

自動検索入力を行う  
自動検索入力とは、マスタ参照ウィンドウ表示を省略し、キー項目を入力してフォーカス移動する際に対応するデータをマスタから検索し自動入力する機能です。

自動検索時にレコードが見つからない場合、警告を表示する  
メッセージ: [マスタ自動検索入力エラー]レコードが見つかりません。入力値を確認してください。

### ● コンポーネント名

“マスタ参照ウィンドウ” コンポーネント名を指定します。

予め X-point 管理者サイトでマスタ参照ウィンドウを作成しておく必要があります。

### ● 主キー

X-point のマスタ参照ウィンドウコンポーネント設定で主キー指定された項目に主キーアイコンが表示されます。

### ● 対応フィールド

利用者がマスタ参照ウィンドウでレコードを選択した際、該当レコードの「マスタ項目」値を指定されたフォームフィールドに反映します。

### ● フィルタ設定

対象となるマスタの内容をフォーム上のフィールド値、もしくは値で絞りこみます。複数の指定を行った場合は AND 条件となります。フィルタタイプが“field”の場合はフィールド ID、“static”の場合はフィルタ情報欄に絞り込み条件となる文字列を直接記述します。“like”をチェックした場合は部分一致で検索が行われます。

### ● 空のフィルタを除外する

このチェックボックスにチェックすると、“field”タイプのフィルタ設定を使用するフォームで、該当フィルタフィールドが未入力のままマスタ参照が使われた場合、そのフィルタの絞り込みを行いません。チェックしない場合、空文字列を条件としてそのフィルタを適用します。(通常はチェックを入

れてご利用ください。)

- 自動検索入力を行う

通常はフィールドをダブル・クリックした際にマスタ参照ウィンドウを開くのみですが、“自動検索入力を行う”にチェックするとフィールドへの入力値を元にマスタ検索を行い、レコードの値を各対応フィールドに入力します。

また、自動検索入力実行時に、利用者の入力キーが複数のマスタレコードに該当する場合は、そのレコードの中から利用者が選択入力できるよう自動でマスタ参照ウィンドウが開きます。

### 【入力コードが複数レコードにマッチした場合の動作例】

受 注 書


2010 年 11 月 04 日 木 曜日


発注元 ××××××××××

担当者 ○○ ○○○ 様

商品コード	品名	色	単価	数量	金額(税抜)
x3820					

Web ページからのメッセージ

 自動検索入力[警告]:レコードを特定できません。マスタ参照ウィンドウにて選択してください。



商品 - Windows Internet Explorer

**商品**

商品コード	品名	色	単価	選択
x3820	x3820:■■■■■■■■■■	赤	1280	<input type="button" value="選択"/>
x3820	x3820:■■■■■■■■■■	青	1280	<input type="button" value="クリア"/>
x3820	x3820:■■■■■■■■■■	黄	1280	<input type="button" value="終了"/>

※該当レコード(複数)からの選択を求めます。

#### ！ 注意事項

自動検索入力でユーザの入力したキーに該当するレコードが無い場合、フォームフィールドは空欄になりますが、「自動検索時にレコードが無い場合、警告を表示する」にチェックを入れると、ユーザに注意を促すことができます。(次項解説参照)

- 自動検索時にレコードが見つからない場合、警告を表示する

自動検索入力を行う場合で、利用者が不正なコードを入力した際に警告を表示したい時にチェックします。また、警告のメッセージは下の“メッセージ”項目で編集可能です。メッセージを改行したい場合は、改行箇所「¥n」と記述してください。

**特記事項**

- ※ マスタ参照ウィンドウの表示はフォームの編集中にのみ動作しますが、その際フィールド自体に設定されている編集禁止設定とは無関係に表示する動作が行なわれます。マスタ参照項目をキーボードから入力させたくない場合には都合がよいわけですが、承認ステップ毎に JavaScript 等を利用してマスタ参照入力をさせないといった動作を実現する場合には、編集禁止にしても動作してしまうことは不都合といえます。

その様な場合は、フォーム作成の際にアクションプロパティで「R/O Window」設定を false に指定します。この項目を切り替えることで、フィールドが読み取り専用の場合のマスタ参照ウィンドウの動作を制御することができます。

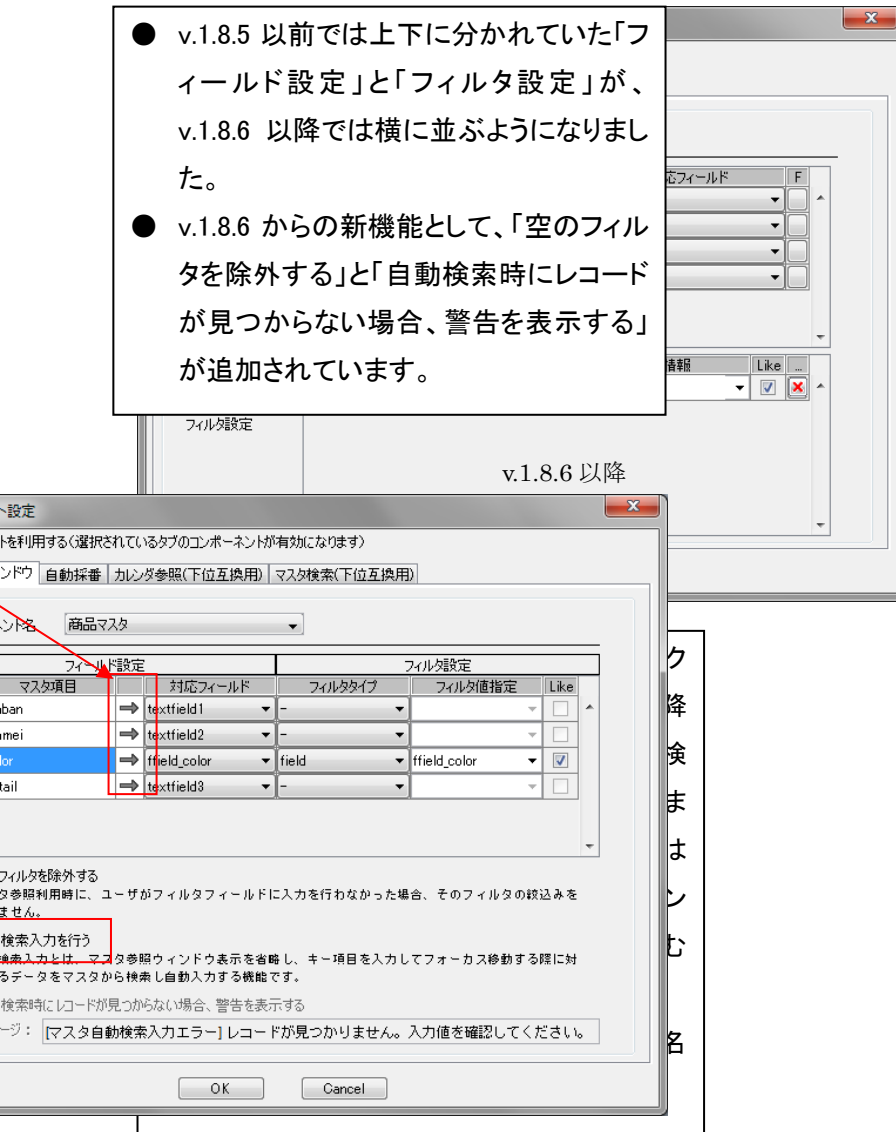
- ※ 自動検索入力を同一フォーム上の複数のフィールドに設定した場合、それらを同時に動作させることはできません。よって、マスタ参照によって入力される側のフィールドに、別途マスタ参照+自動検索入力を設定する場合、最初のマスタ参照入力から別の自動検索入力を連動させることは可能ですが、複数を実行させることはできませんのでご注意ください。

## 【マスタ参照 v1.8.5 以前との互換性について】

マスタ参照の設定画面は v.1.8.6 以降から変わりました。V.1.8.5 以前の eFormMaker からアップデートして使用する際は、以下の機能対応図を参考にして下さい。

v.1.8.5 以前

- v.1.8.5 以前では上下に分かれていた「フィールド設定」と「フィルタ設定」が、v.1.8.6 以降では横に並ぶようになりました。
- v.1.8.6 からの新機能として、「空のフィルタを除外する」と「自動検索時にレコードが見つからない場合、警告を表示する」が追加されています。



### ！ 注意事項

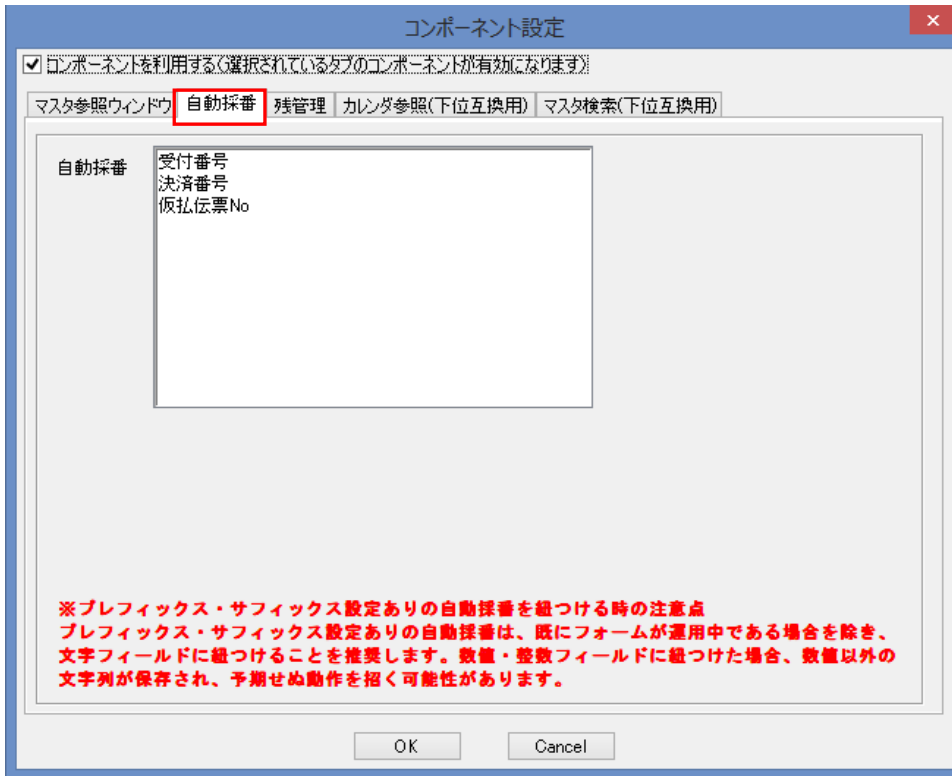
尚、v.1.8.5 以前の eFormMaker で作成したフォームファイルを、最新の X-point にアップロードした場合、以下の点に注意してください。

- ・ 「空のフィルタを除外する」は OFF 設定となります。
- ・ 「自動検索時にレコードが見つからない場合、警告を表示する」は OFF 設定となります。
- ・ v.1.8.5 以前の eFormMaker での「検索」キー設定は無効となり、一律に X-point 管理者サイトの「マスタ参照ウィンドウ」で設定された「主キー」が使用されます。

## 2) 自動採番

自動採番コンポーネントを指定します。

フォームを登録する際、自動的に登録連番を採番し、フィールドに設定します。



### ! 注意事項

プレフィックス・サフィックス設定ありの自動採番は、文字フィールドに紐つけることを推奨します。

数値・整数フィールドに紐つけた場合、数値以外の文字列が保存され、予期せぬ動作を招く可能性があります。

### 3) 残管理

利用者に数値を入力させたいフィールドをフォームに作成し、そこに残管理コンポーネントを設定します。X-point 管理者サイトで設定する決済ステップにてフィールドに入力された値が「受入」(加算)又は「払出」(減算)として記録されることで、現在の残数を計算させることができます。

eFormMaker では「受入」/「払出」処理の選択、処理対象となる残管理マスタへの紐づけ、残数の表示フィールド設定、残管理マスタへのレコード追加の際の設定などを行います。

※使用例については「eFormMaker フォーム作成ガイド」を参照してください。

コンポーネント設定

コンポーネントを利用する(選択されているタブのコンポーネントが有効になります)

マスタ参照ウィンドウ 自動採番 **残管理** カレンダー参照(下位互換用) マスタ検索(下位互換用)

コンポーネント名: 資材在庫管理 処理: 受入

残管理マスタとの紐づけ

キー項目	フィールド名
キー項目1	sizeid
キー項目2	size
キー項目3	color
キー項目4	
キー項目5	

期間評価日: 決済承認日

表示用  
残数表示: zaikosu

紐づくマスタがなければレコードを追加する

開始日時入力: startdate 終了日時入力: enddate

備考入力: remarks

OK Cancel

- コンポーネント名

残管理コンポーネント名を指定します。

予め X-point 管理者サイトで残管理コンポーネントを作成しておく必要があります。

- 処理

「受入」又は「払出」から選択します。「受入」の場合フィールドに入力された数値は加算処理され、「払出」の場合は減算処理されます。

- キー項目 1～20

X-point 管理者サイトで残管理コンポーネントを作成した際に指定した「キー項目数」の数だけフィールドを指定します。これらのフィールドに入力された内容をキーとして残管理マスタへの引き当てが行われます。

- 期間評価日

「決済承認日」または任意のフィールドを指定します。

残管理マスタのレコードにて「開始日時」「終了日時」によりその品目の有効期間が設定してある場合に、その期間内であるかの評価に用いられます。有効期間の設定がない場合は常に有効としてこの設定は無視されます。

<「決済承認日」を選択した場合>

有効期間内であるかどうかを決済承認が行われるシステム日時において評価します。

<フィールド指定の場合>

有効期間内であるかどうかを、指定したフィールドに入力された日時（時間を省略した場合は、その日付の0時0分0秒）において評価します。

※入力形式は「YYYY/MM/DD」又は「YYYY/MM/DD hh:mm:ss」としてください。

- 残数表示

紐づく残管理マスタレコードから、残数を計算して表示します。

- 紐づくマスタがなければレコードを追加する

主に「受入」処理を選択した際に使用するオプションです。受け入れる品目がその時点の残管理マスタ上で存在しない（存在はするが有効期限内でない場合も含む）に、品目を登録して受け入れるか、受入エラーとするかの設定となります。品目を管理者だけが管理し、追加登録を許可したくない場合にはチェックを入れないで利用します。

- 開始日時入力

品目を残管理マスタレコードに追加する際に登録する、有効期間の開始日時を入力するフィールドです。

- 終了日時入力

品目を残管理マスタレコードに追加する際に登録する、有効期間の終了日時を入力するフィールドです。

- 備考入力

品目を残管理マスタレコードに追加する際に登録する、備考文を入力するフィールドです。

**！ 注意事項**

残管理コンポーネントはワークフローフォームのみ利用可能です。通常フォームでは利用できません。

#### 4) カレンダー参照

当機能は v1.7 以前の下位互換のための機能です。V1.8 以降では X-point eFormMaker の「ポップアップカレンダー」の機能を使うことを推奨いたします。

「ポップアップカレンダー」については「2.15 日付フィールドの定義と関連付け」をご参照ください。

##### ・カレンダー参照の設定方法

カレンダーコンポーネントを指定したフィールドをダブル・クリックすると表示されるカレンダーから選択された日付をどのフィールドに設定するかを設定します。

コンポーネント設定

コンポーネントを利用する(選択されているタブのコンポーネントが有効になります)

マスタ参照ウィンドウ | 自動採番 | 残管理 | **カレンダー参照(下位互換用)** | マスタ検索(下位互換用)

表示フィールド

同フィールド (日付フォーマット: yyyy年MM月dd日)

年月日別フィールド

年: [ ]  
月: [ ]  
日: [ ]  
曜日: [ ]

設定しない

※本機能は下位互換用です。新規に作成する場合は「ポップアップカレンダー」をご利用ください。

OK Cancel

##### ▶ 特記事項

X-point 上のカレンダーコンポーネントを利用する場合、プレビュー時の表示は参考用のカレンダー表示となります。eFormMaker のポップアップカレンダーのように操作を行うことは出来ません。実際の操作は、X-point にフォームアップロードを行った後に可能となります。

## 5) マスタ検索

当機能は v1.7 以前の下位互換のための機能です。V1.8 以降では「1) マスタ参照」の機能を使うことを推奨いたします。

- マスタ検索の設定方法

コンポーネント設定

コンポーネントを利用する(選択されているタブのコンポーネントが有効になります)

マスタ参照ウィンドウ | 自動採番 | 残管理 | カレンダー参照(下位互換用) | **マスタ検索(下位互換用)**

マスタ名: 事業部マスタ(簡易)

フィールド設定			フィルタ設定		
主キー	マスタ項目	対応フィールド	フィルタタイプ	フィルタ値指定	Like
<input checked="" type="checkbox"/>	itemcd	→ textfield1	-		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	itemval	→ textfield2	-		<input type="checkbox"/>

空のフィルタを除外する  
マスタ参照利用時に、ユーザがフィルタフィールドに入力を行わなかった場合、そのフィルタの絞込みを行いません。

マスタ検索時にレコードが見つからない場合、警告を表示する  
メッセージ: [マスタ自動検索入力エラー] レコードが見つかりません。入力値を確認してください。

**※本機能は下位互換用です。新規に作成する場合は「マスタ参照ウィンドウ」をご利用ください。**

OK Cancel

- マスタ名  
参照先のマスタ名を指定します。  
ユーザ固有マスタを利用する場合、予め X-point 管理者サイトでマスタの「取込」を行っておく必要があります。
- 主キー  
マスタ、ユーザ固有マスタを検索する際に使用する主キー項目を指定します。
- 対応フィールド  
利用者が入力する主キー値で特定されるレコードから、その「マスタ項目」値を設定するフィールドに反映させます。
- フィルタ設定  
対象となるマスタの内容をフォーム上のフィールド値、もしくは値で絞りこみます。複数の指定を行った場合は AND 条件となります。フィルタタイプが“field”の場合はフィールド ID、“static”の場合はフィルタ情報欄に文字列を記述します。“like”をチェックした場合は部分一致で検索が行われます。
- 空のフィルタを除外する  
"field"タイプのフィルタ設定を使用するフォームで、そのフィルタフィールドが未入力のままマスタ検索が使われた場合、そのフィルタの絞込みを行いません。この機能を使わない場合、空文字列を条件としてそのフィルタを適用します。(通常はチェックを入れてご利用ください。)

- マスタ検索時にレコードが見つからない場合、警告を表示する  
利用者が不正なコードを入力した際に警告を行う場合にチェックします。また、警告のメッセージは下の“メッセージ”項目で編集可能です。

## 2.39 レイヤの利用

フォームの一部を一時的に見えない状態にすることで複雑なフォームを作成するような場合の作業性が向上する場合があります。フォームを作成する際に作成するフィールドをレイヤに所属させながら作業することで、レイヤ単位で一括してフィールドや図形の表示制御（可視・不可視）を一時的に行う事ができます。

※ レイヤ機能はフォーム作成補助機能です。その為、設定することにより eFormMaker 上でフォームの表示が変化する等、影響を与えることはありません。また、X-point にアップロードしたフォームにも設定による影響はありません。



レイヤ作成用のアイコンメニューは2つの要素から構成されています。



### ①作成レイヤ

新たに作成するフィールド・図形が所属するレイヤの番号になります。


フィールド・図形の選択中にレイヤ番号の切り替えを行うと選択中のオブジェクトを別のレイヤに一括変更する事ができます。

### ②表示レイヤ選択

レイヤ番号ボタンの状態を ON/OFF することでレイヤの表示状態を切り替えることができます。

但し、ボタンの動作は表示モードの状態により変化します。

## 2.40 計算式の設定

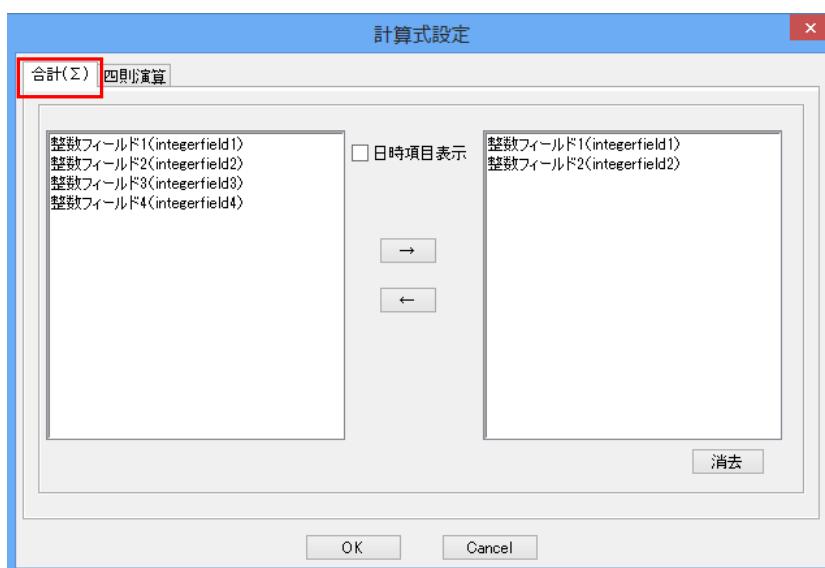
数値フィールド、整数フィールドを選択しアイコンメニューバーから  電卓アイコンをクリックすると、計算式を設定するウィンドウが表示されます。

- ・計算式に使用できるフィールドタイプは、整数フィールド・数値フィールド、日時フィールドのみです。
- ・計算式の設定には以下の制限があります。
  - 1) 表定義内のフィールドと、表定義外のフィールドの間での計算式は設定できません。
  - 2) 複数枚フォームを使用する場合、フォームをまたがる計算式は設定できません。
  - 3) 数値フィールドに結果を格納する際、小数点以下のまるめ桁数を指定しない場合は、計算に利用した各フィールドの小数点以下桁数を元に結果の桁数が四捨五入されます。(加減算のみの場合)  
0.01+0.01+0.01+0.01 は 0.04、0.011+0.01+0.01+0.01 は 0.041 になります。
  - 4) 日時フィールドを計算式で利用した場合、日付として利用した場合は、1970年1月1日からの経過日数。時刻として利用した場合は当日の午前0時0分からの経過分数を表します(秒は少数で表現) 計算結果を日時フィールドに代入した場合は、日付型の項目であれば1970年1月1日の経過日数を計算した結果が表示され、時刻の場合は午前0時からの経過時間として表示されます。
  - 5) 計算式に設定したフィールドにJavaScriptによって値をセットした場合は、計算が実行されません。  
別途、calculate()関数により計算を実行させる必要があります。  
(参照：『X-point JavaScript プログラミングガイド』)



### 1) 合計

指定したフィールドの合計を行います。指定したフィールド内に空白がある場合は0として計算されます。



左項目リスト：フォーム内にある数値、整数フィールドの一覧。  
右項目リスト：合計を行うフィールドの一覧。



: 左項目リストで選択した項目を右リストに追加します。  
表内のフィールドを縦合計する場合はフィールド名を一つ定義します。  
項目をマウス左ボタンのダブル・クリックで右項目に追加できます。



: 右項目リストで選択した項目をリストから削除します。  
項目をマウス左ボタンのダブル・クリックで右項目から削除できます。



: 右項目リストの内容を全て消去します。

日時項目表示 : 計算式の設定対象として数値・整数フィールドを指定した場合、左側リストに日時フィールドが表示されません。式に日時を加える場合はチェックをします。式の設定対象に日時フィールドを指定した場合は、チェック済みの状態で表示されチェックの解除はできません。

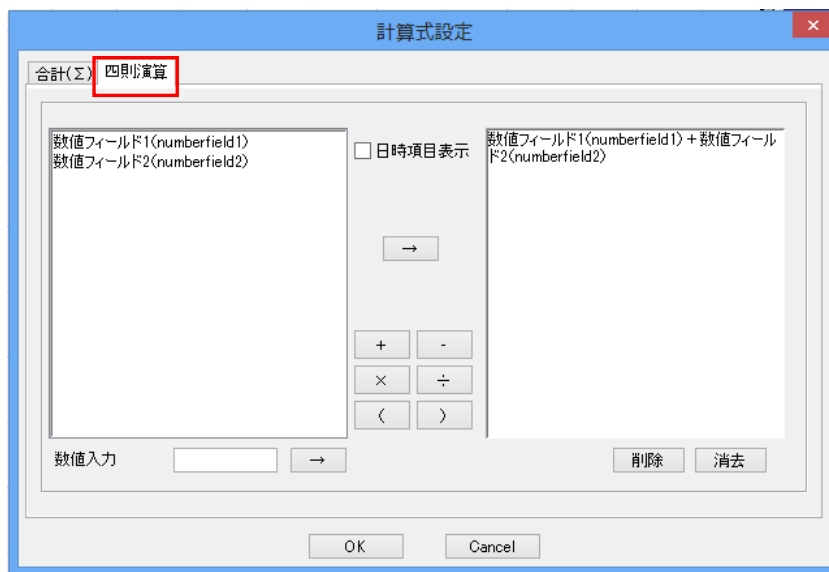
合計(Σ)での「端数処理」「小数点以下桁数」は、計算式を設定したフィールドの“書式”タブの「端数処理」「小数点以下桁数」から指定してください。整数フィールドの場合は「端数処理」のみになります。

#### 【ポイント】

表定義のメンバ項目を集計対象に指定すると表の列を合計した結果になります。(5行であれば、1行目から5行目までを自動的に合計します)

## 2) 四則演算

指定したフィールドを計算し結果を設定します。指定したフィールドの値が揃った時に計算されます。



左項目リスト : フォーム内にある数値、整数フィールドの一覧。

右項目リスト : 計算式。



: 左項目リストで選択した項目を右リストに追加します。

項目をマウス左ボタンのダブル・クリックで右項目に追加できます。



: 計算式中で利用できる演算子。




: 右項目リストの最後に追加した項目を一つ削除します。

リスト内でマウス左ボタンをダブル・クリックでも同様に削除できます。



: 右項目リストの内容を全て消去します。

数値入力 : 計算式中で定数を使用する場合に、入力後  をクリックします。

日時項目表示 : 計算式の設定対象として数値・整数フィールドを指定した場合、左側リストに日時フィールドが表示されません。式に日時を加える場合はチェックをします。式の設定対象に日時フィールドを指定した場合は、チェック済みの状態で表示されチェックの解除はできません。

### 【ポイント】

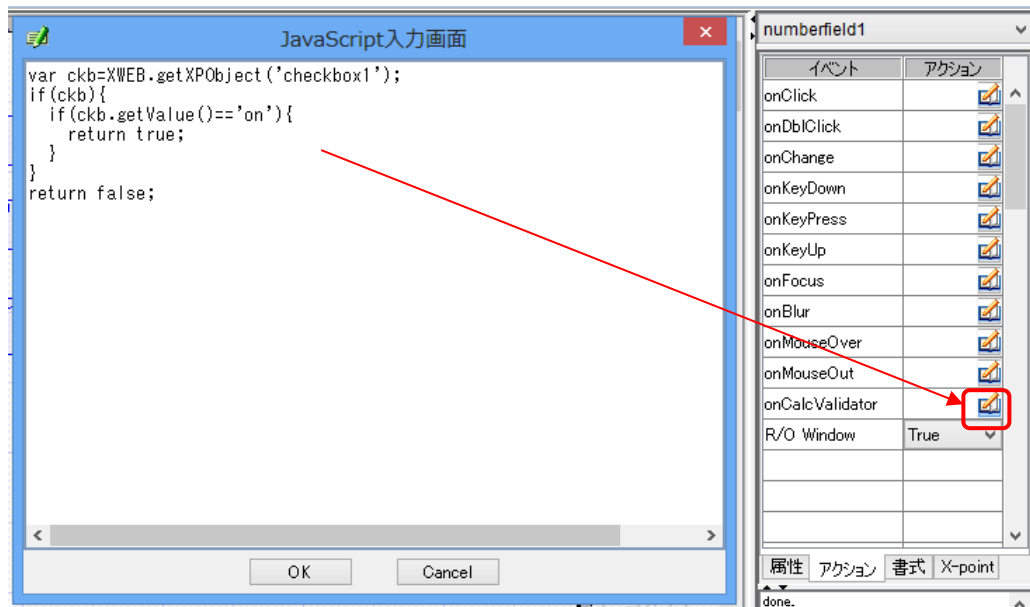
四則演算の制限事項として、項目に表定義のメンバになっている項目を加えることはできません。表項目の集計結果を、四則演算に加える場合は、フォーム上にダミーの数値フィールド（もしくは、整数フィールド）を指定し、そこに集計を行う設定をしてダミーフィールドを介して計算式を作ってください。ダミーフィールドは不可視に指定しておくことで画面に表示されなくなります。

※ 四則演算を設定するフィールドが表内の項目である場合、同一表内の項目と表に含まれない項目を選択する事ができます。

### 3) 計算実行の制御

設定した計算式は関連付けられているフィールドの値が変化する度に(※)自動的に再計算が行われますが、フィールドの値により計算式の実行を制御したい場合があります。

その様な場合は計算結果を格納する数値・整数フィールドの「onCalcValidator」イベントを設定します。設定は JavaScript により行います。



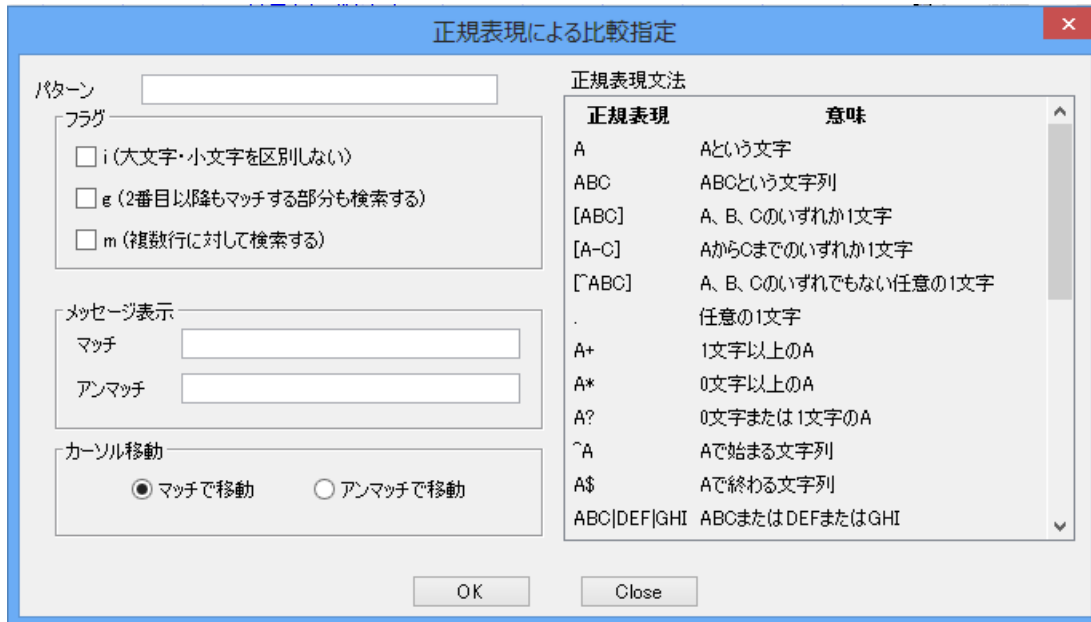
計算式の実行制御は記述した JavaScript からの戻り値が true / false の何れであるかにより変化します。

※関連付けられているフィールドに JavaScript によって値をセットした場合、自動計算が行われません。

## 2.41 正規表現比較

「正規表現比較」設定により、文字フィールド・テキストエリアに対してパターンマッチングでの入力制限を行うことが可能です。

「正規表現比較」は、文字フィールド・テキストエリアのプロパティシート”書式”タブ、「正規表現比較」の設定ウィンドウから指定します。



**パターン**：マッチングパターンの正規表現文字を入力します。

ここでの指定は、正規表現の知識が前提となります。画面右の「正規表現文法」を参考の上、入力して下さい。

**フラグ**：マッチングパターンに関する以下のフラグを指定します。

**i**：大文字・小文字を区別しない場合にチェックします。

**g**：2番目以降もマッチする部分を検索する場合にチェックします。

**m**：複数行に対して検索する場合にチェックします。

**メッセージ表示**：パターンがマッチする場合と、マッチしない場合の表示するメッセージを指定します。

**カーソル移動**：該当フィールドに値を入力した後のカーソル移動のルールを指定します。

**マッチで移動**： 該当フィールドに値を入力し、パターンにマッチした時だけ別フィールドにカーソル移動ができます。

**アンマッチで移動**： 該当フィールドに値を入力し、パターンにマッチしない時に別フィールドにカーソル移動ができます。

## 2.42 メニュー構成

X-point eFormMaker のメニュー構成です。

### 1) ファイル

新規作成

開く

フォームダウンロード

フォームアップロード

保存

名前をつけて保存

JavaScript の挿入

フォーム設定

動作環境設定

閉じる

ファイル履歴 (最大4件)

終了

### 2) 編集

元に戻す

コピー

切り取り

貼り付け

削除

すべて選択

配置 (左揃え、右揃え、上揃え、下揃え)

サイズ (幅揃え、高さ揃え)

水平配置 (左、中、右)

垂直配置 (上、中、下)

一括変換・設定 (属性設定)

グループ化

グループ解除

グループ設定

ミラー定義 (登録、名称変更、メンバ選択、解除、定義一覧)

フィールド操作

### 3) 表示

デザインビュー

コードビュー

プレビュー

ルーラー

グリッド  
グリッド設定  
グリッド配置  
ナビゲータ  
ツリービュー

#### 4) ツール

図形 (選択ツール、文字ラベル、水平線、垂直線、直線、長方形枠、長方形、イメージ)  
標準コンポーネント

(文字フィールド、数値フィールド、整数フィールド、テキストエリア、パスワード、ボタン  
ラジオボタン、チェックボックス、コンボボックス、リストボックス、西暦フィールド、  
月フィールド、日フィールド、曜日フィールド、日時フィールド、印影、バーコード、  
Hidden フィールド)

枠追加

X-point 管理者

X-point ユーザ

フォーム一括ダウンロード

フォーム一括アップロード

#### 5) ウィンドウ

カスケード

垂直タイル

水平タイル

最大化

復元

アイコン化

画面分割 (上下に並べる、左右に並べる、一方を閉じる)

ウィンドウ・リスト

#### 6) ヘルプ

基本操作マニュアル

フォーム作成ガイド

JavaScript ガイド

製品情報

ライセンス登録

eFormmaker について

## 2.43 イメージオブジェクトのプロパティ

### 1) オブジェクト種類別属性一覧表

	水平	垂直	線分	枠	塗り潰し	イメージ
タグ名	○	○	○	○	○	○
ID	○	○	○	○	○	○
タイプ	○	○	○	○	○	○
X座標	○	○	—	○	○	○
Y座標	○	○	—	○	○	○
幅	—	—	—	○	○	○
高さ	—	—	—	○	○	○
長さ	○	○	—	—	—	—
倍率	—	—	—	—	—	○
イメージ	—	—	—	—	—	○
備考	—	—	—	—	—	○
色	○	○	○	○	○	—
線幅	○	○	○	○	—	—
コーナR	—	—	—	○	—	—
始点X座標	—	—	○	—	—	—
始点Y座標	—	—	○	—	—	—
終点X座標	—	—	○	—	—	—
終点Y座標	—	—	○	—	—	—

### 2) オブジェクト種類別書式一覧表

	水平	垂直	線分	枠	塗り潰し	イメージ
表示モード	○	○	○	○	○	○

## 2.44 フィールドのプロパティ

### 1) 属性プロパティの説明





属性名	指定方法	説明/備考
タグ名	文字入力	フィールドのタグ名を指定します。 ※ 各種設定画面からフィールドを識別する値となりますので、分かりやすい名称（日本語）を指定して下さい。
ID	英数入力	フィールドの ID を英数字で指定します。 ここで指定した値がデータベース表の項目名となります。（但し「DB 項目名」属性を指定している場合はそちらの値が反映されます） ※ 各種設定画面からフィールドを識別する値となりますので、分かりやすい ID を指定して下さい。
タイプ	選択	フィールドのタイプが表示されます。 次のフィールドに限り、ドロップダウン・リストによる変更が可能です。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">           文字ラベル            文字フィールド、テキストエリア            整数フィールド、数値フィールド            パスワード、不可視フィールド            コンボボックス、リストボックス、ラジオボタン、チェックボックス            西暦フィールド、月フィールド、日フィールド、曜日フィールド、日時フィールド         </div>
X 座標	数値入力	フィールドの X 座標軸を数値で指定します。
Y 座標	数値入力	フィールドの Y 座標軸を数値で指定します。
幅	数値入力	フィールドの幅を数値で指定します。
高さ	数値入力	フィールドの高さを数値で指定します。
色	カラーパレットから選択	フィールド内のフォント色を指定します。
水平配置	アイコンメニューバーから選択	フィールド内のフォント水平配置を指定します。左寄せ・真ん中寄せ・右寄せから選択します。
垂直配置	アイコンメニューバーから選択	フィールド内のフォント垂直配置を指定します。上寄せ・真ん中寄せ・下寄せから選択します。
タブ移動順序	数値入力	フィールド内のタブ移動順序を数値で指定します。

属性名	指定方法	説明/備考
		「-1」を指定するとタブ移動がとばなくなります。 「0」が指定されている場合や、「0」以上の数値で入力フィールド間が同一値で指定されている場合、タブ移動順序は、メニュー【フォーム設定】→「フィールド設定」のフィールド並び順序に準拠します。
計算値設定	設定ウィンドウから指定	数値・整数フィールド値での自動計算式を指定します。合計計算、四則計算式の指定ができます。
背景色	カラーパレットから選択	フィールド内の背景色を指定します。 ※PDF表示の際にも背景色を表示させたい場合、書式タブの「PDF背景色表示」をTrueにしてください。
無効	選択	フィールドを無効にするかどうかを指定します。HTML要素のdisable属性と同一の意味を持ち、フィールドへの入力と選択をすべて禁止します。無効が指定されている時はグレー表示となります。(Google Chrome, Chrome for Androidの場合は、グレー表示になりません) False: このフィールドを無効にしません。 True: このフィールドを無効にします。
編集禁止	選択	フィールドの入力操作を禁止します。無効と異なりフォーム作成時の色で表示されます。 True: このフィールドを編集禁止にします。 False: このフィールドを編集可能にします。
変更不可	選択	フィールドを変更不可にするかどうかを指定します。HTML要素のreadonly属性と同一の意味を持ち、フィールドへの入力を禁止します。 False: このフィールドを変更不可にしません。 True: このフィールドを変更不可にします。
不可視	選択	フィールドを不可視にするかどうかを指定します。 False: このフィールドを不可視にしません。 True: このフィールドを不可視にします。(表示上見えなくなります)
繰り返し回数	—	<i>非推奨。旧バージョンとの互換性の維持ため残しています。</i>
横方向オフセット	—	<i>非推奨。旧バージョンとの互換性の維持ため残しています。</i>
縦方向オフセット	—	<i>非推奨。旧バージョンとの互換性の維持ため残しています。</i>

属性名	指定方法	説明/備考
移動禁止	選択	eFormMaker 上に配置されているフィールドオブジェクトを固定し、移動できない状態にするかどうかを指定します。 False：このフィールドを移動禁止にしません。 True：このフィールドを移動禁止にします。 ※ Web ブラウザでのフィールド間項目移動 (Tab 移動、Enter 移動) を禁止する設定ではありません。
枠線付き	選択	フィールドに枠線を表示するかどうかを指定します。入力フィールドは初期状態では枠線が表示されません。 False：このフィールドに枠線を表示しません。 True：このフィールドに枠線を表示します。
枠線幅	選択	フィールドに枠線を表示する場合の枠線の幅 (太さ) を指定します。
枠線色	カラーパレットから選択	フィールドに枠線を表示する場合の枠線色を指定します。
最大入力文字数	数値入力	フィールドへの入力可能な最大文字数を指定します。
IME モード	選択	フィールドにフォーカスが当たった場合の IME モードを指定します。 Off：このフィールドの IME モードを初期状態 Off にします。初期状態では半角入力となりますが、PC の IME モードを変更することで全角入力も可能です。 On：このフィールドの IME モードを初期状態 On にします。初期状態で全角入力となります。 Disable：このフィールドの IME モードを Disable にします。全角入力ができなくなります。
カレンダー	アイコンメニューバーから指定	フィールドをダブル・クリックしてカレンダー選択ウィンドウを表示するかどうかを指定します。 この属性はアイコンメニューバーから指定します。 カレンダー選択ウィンドウを表示する場合は、書式プロパティ「日付書式」の設定も合わせて行います。
縦書き	選択	文字ラベルを縦書き表示するかどうかを指定します。 False：この文字ラベルを縦書きにしません。 True：この文字ラベルを縦書きにします

属性名	指定方法	説明/備考
行番号	選択	文字ラベルに行番号を表示するかどうかを指定します。 表定義の時に、行番号を表示したい時に利用します。 <b>False</b> ：この文字ラベルに行番号を表示しません。 <b>True</b> ：この文字ラベルに行番号を表示します。
最大値	数値入力	フィールドへの入力可能な最大値を指定します。
最小値	数値入力	フィールドへの入力可能な最小値を指定します。
カンマ区切り	アイコンメニューバーから指定	数値・整数フィールドに自動カンマ区切りするかどうかを指定します。 この属性を有効にすると、数値・整数フィールドへの入力後フォーカスが離れたタイミングで3桁カンマ区切りが自動で入ります。
選択肢	文字入力	コンボボックス、リストボックスの選択肢として表示したい値を半角カンマ区切りで指定します。 選択肢に半角カンマを利用したい場合、半角カンマの前に半角円マークを入力して下さい。 (例：選択肢に「1,000」と表示させる場合は「1¥,000」を入力)
表示行数	数値入力	リストボックスの表示行数を指定します。
データ列数	選択	コンボボックス、リストボックスのデータ列数を指定します。 1:リスト表示内容がそのままデータベースに登録されます。 2:リスト表示内容とデータベースに登録される値を分けたい時に指定します。 例) リストから「男性」を選択したら「1」と登録、リストから「女性」を選択したら「2」と登録の場合、「データ列数」属性を2にして、「選択肢」属性には、「男性,1,女性,2」と指定します。 ※ データベースに登録する値には、同じ値を設定しないでください。(「男性,1,女性,1」)
チェックマーク	文字入力	ラジオボタン、チェックボックスにチェックした状態の時のマークを指定します。 例) チェックした時に黒抜き丸を表示する場合は、「●」と指定します。
非チェックマーク	文字入力	ラジオボタン、チェックボックスにチェックされていない状態の時のマークを指定します。 例) チェックされていない時に白抜き丸を表示する場合は、「○」と指定します。

属性名	指定方法	説明/備考
チェック値	文字入力	ラジオボタン、チェックボックスにチェックした状態で登録した時のデータベースへの登録値を指定します。
非チェック値	文字入力	ラジオボタン、チェックボックスにチェックされていない状態で登録した時のデータベースへの登録値を指定します。
ラベル	文字入力	ボタンに表示するラベル文字を指定します。
印影直径	—	印影フィールドの印影直径を表示します。 印影フィールドに、X-point の印影コンポーネントを選択した場合に、X-point 管理者画面から設定している印影直径（ピクセル）が表示されます。 ※この画面から数値入力を行っても設定には反映されません。フォーム作成時に体裁を確認するための項目です。
上段テキスト	—	※この画面から指定しても設定には反映されません。フォーム作成時に体裁を確認するための項目です。
中断テキスト	—	※この画面から指定しても設定には反映されません。フォーム作成時に体裁を確認するための項目です。
下段テキスト	—	※この画面から指定しても設定には反映されません。フォーム作成時に体裁を確認するための項目です。
西暦フィールド	フィールド選択	月・日・曜日フィールドに対して、対応する西暦フィールドを指定します。
月フィールド	フィールド選択	西暦・日・曜日フィールドに対して、対応する月フィールドを指定します。
日フィールド	フィールド選択	西暦・月・曜日フィールドに対して、対応する日フィールドを指定します。
曜日フィールド	フィールド選択	西暦・月・日フィールドに対して、対応する曜日フィールドを指定します。
ふり仮名フィールド	フィールド選択	ルビフィールドを利用する場合に、ふり仮名を自動表示するフィールドを指定します。 ※このフィールドに入力したふり仮名が別フィールドに表示される機能です。
カナ・かな	選択	ルビフィールドを利用する場合に、ふり仮名の書式を指定します。 全角カナ：「ふり仮名フィールド」に全角カタカナが自動表示されます。 全角かな：「ふり仮名フィールド」に全角ひらがなが自動表示されます。 半角カナ：「ふり仮名フィールド」に半角カタカナが自動表示されます。
バーコード種類	選択	バーコードフィールドのバーコード種類を指定します。

属性名	指定方法	説明/備考
チェックデジット付加	選択	<p>バーコードにチェックデジットを付加するかどうかを指定します。</p> <p><b>False</b> :チェックデジットを付加しません。</p> <p><b>True</b> : チェックデジットを付加します。</p>
回転	選択	<p>バーコードを回転表示する場合の指定です。0,90,180,270 から選択します。</p>
解像度指定	数値入力	<p>バーコードの画像を作成する際の解像度になります。</p> <p>フォーム上のサイズとは別の値ですが、作成されるバーコードは画像になる為、その詳細度が変わります。</p>
バーコード値 ID	フィールド選択	<p>バーコードをリアルタイムに変化させる場合に、その値を入力するテキスト・フィールドの ID 名を指定します。</p>
リンク下線	選択	<p>ラベルフィールドに“表示URL”を指定した際、ラベル文字の下に下線を表示するか否かを指定します。</p> <p><b>False</b> :下線を表示しません。</p> <p><b>True</b> :下線を表示します。</p>
リンク下線色	色コード指定	<p>ラベルフィールドに“表示URL”を指定し、リンク下線を表示指定した場合のリンク下線を何色で表示するかを指定します。</p>
リンク項目カーソル	選択	<p>ラベルフィールドに“表示URL”を指定し、リンク下線を表示にした際、ラベル上にマウスカーソルがある場合のマウスカーソル形状を指定します。</p> <p>指定なし : I、                      Pointer : </p> <p>Crosshair : +、                      Move : </p> <p>Help : ?、                      wait : </p> <p>※オペレーティングシステムの環境設定、ブラウザ種類、バージョンにより表示が異なる場合があります。</p>

2) フィールド種類別の属性一覧表

	ラベル	テキスト	数値	整数	リア テキストエ	パスワード	ボタン	ラジオ	チェック	クス コンボボツ	クス リストボツ	西暦	月	日	曜日	日時	印影	バーコード	不可視
タグ名	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ID	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
タイプ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
X座標	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Y座標	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
幅	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高さ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
色	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
タブ移動順序	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計算値設定	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—
背景色	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
無効	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
変更不可	—	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
不可視	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
移動禁止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
枠線付き	○	○	—	—	○	○	—	—	—	○	○	—	—	—	○	○	○	○	○
枠線幅	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
枠線色	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
最大入力文字数	—	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○

【フィールド種類別の属性一覧表(つづき)】

	ラベル	テキスト	数値	整数	リア テキストエ	パスワード	ボタン	ラジ オボタ ン	ラジ オボタ ン	ツ ックス	チ ェック ボ ツ	ク ス	コ ン ボ ボ ツ	ク ス	リ ス ト ボ ツ	西 曆	月	日	曜 日	日 時	印 影	バ ー コ ー ド	不 可 視
IMEモード	—	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
カレンダー	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
縦書き	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
行番号	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
最大値	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
最小値	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
カンマ区切り	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
選択肢	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
表示行数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
データ列数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
チェックマーク	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非チェックマーク	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
チェック値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非チェック値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ラベル	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【フィールド種類別の属性一覧表(つづき)】

	ラベル	テキスト	数値	整数	リア テキストエ	パスワード	ボタン	ラジオ	チェック	クス コンボボツ	クス リストボツ	西暦	月	日	曜日	日時	印影	バー コード	不可 視
印影直径	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
上段テキ スト	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
中 断テキ スト	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
下 段テキ スト	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
西暦フ ィー ルド	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-
月フ ィー ルド	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-
日フ ィー ルド	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-
曜日フ ィー ルド	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-
ふり 仮名 フ ィー ルド	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
カナ・ かな	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
バー コー ド 種 類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
チェ ック デ ジ ット 付 加	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-




【フィールド種類別の属性一覧表(つづき)】




	ラベル	テキスト	数値	整数	リア テキストエ	パスワード	ボタン	ラジオ	チェック	コンボボツ クス	リストボツ クス	西暦	月	日	曜日	日時	印影	バーコード	不可視
値表示	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
左クワイエ ットゾーン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
右クワイエ ットゾーン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
バーコード 回転	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
解像度指定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
バーコード 値 ID	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
日付範囲[開 始]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
日付範囲[終 了]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-

### 3) 書式プロパティの説明

書式名	指定方法	説明/備考
フォント・サイズ	数値入力	フィールド値のフォント・サイズを指定します。アイコンメニューバーからの指定も可能です。
フォント・ファミリー	選択	<p>フィールド値のフォント・ファミリーを指定します。アイコンメニューバーからの指定も可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゴシック：フィールド値のフォント・ファミリーが「ゴシック」となります。</li> <li>明朝：フィールド値のフォント・ファミリーが「明朝」となります。</li> <li>Pゴシック：フィールド値のフォント・ファミリーが「プロポーショナルゴシック」となります。</li> <li>P明朝：フィールド値のフォント・ファミリーが「プロポーショナル明朝」となります。</li> </ul> <p>(※) eFormMaker から指定できるフォント・ファミリーは上記 4 種類です。</p>
フォント・ウェイト	選択	<p>フィールド値のフォント・ウェイトを指定します。アイコンメニューバーからの指定も可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>False：フォントを太字にしません。(標準ウェイト)</li> <li>True：フォントを太字にします。</li> </ul>
文字間隔	数値入力	フィールド値の文字間隔を数値指定します。(単位：ピクセル)
左パディング	数値入力	フィールド値の左パディングを数値指定します。(単位：ピクセル)
右パディング	数値入力	フィールド値の右パディングを数値指定します。(単位：ピクセル)
上パディング	数値入力	フィールド値の上パディングを数値指定します。(単位：ピクセル)
下パディング	数値入力	フィールド値の下パディングを数値指定します。(単位：ピクセル)
ツールチップ	文字入力	フィールドにマウスカーソルが当たった時に表示するツールチップメッセージを入力します。
ツールチップ背景色	カラーパレットから選択	ツールチップを表示する場合、ツールチップの背景色を指定します。
ツールチップ枠線色	カラーパレットから選択	ツールチップを表示する場合、ツールチップの背景枠線色を指定します。
ツールチップ文字色	カラーパレットから選択	ツールチップを表示する場合、ツールチップの文字色を指定します。

書式名	指定方法	説明/備考
日付書式	選択	<p>フィールド値の日付書式を選択します。以下のように日付を表す変数を組み合わせた書式が用意されています。</p> <p>yyyy : 年(4ケタ)</p> <p>MM : 月</p> <p>dd : 日</p> <p>(前0あり) : MM または dd が1ケタの時に十の位に0をつけて2ケタで表記します。例 : 1月→01月</p> <p>(前0なし) : MM または dd が1ケタの場合でもそのまま表記します。</p> <p>※ 「yyyyMMdd(前0なし)」や「MMdd(前0なし)」は、月と日によっては区別が付けられなくなる場合があります。使用は推奨いたしません。</p> <p>例 : MMdd(前0なし)を使用した場合、以下のような日付の区別が付かなくなります。</p> <p>1月23日 → 123    12月3日 → 123</p>
文字変換	選択	<p>フィールド値の文字変換を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無変換 : フィールドに入力した文字を変換しません。</li> <li>・ 大文字変換 : フィールドに入力した文字を大文字に自動変換します。</li> <li>・ 小文字変換 : フィールドに入力した文字を小文字に自動変換します。</li> </ul>
初期取得値	設定ウィンドウから指定	フィールドの初期取得値を指定します。
ワークフロー取得値	設定ウィンドウから指定	フィールドのワークフロー取得値を指定します。
正規表現比較	設定ウィンドウから指定	<p>フィールドの正規表現比較を指定します。</p> <p>フィールドに入力する値を特定範囲、特定パターン等でしぼりたい場合等に利用します。</p> <p>(※) 正規表現とは</p> <p>文字列のパターンを表現する表記法。文字列の検索・置換を行うときに利用される。</p>
小数点以下桁数	数値入力	数値フィールドの小数点以下桁数を数値入力します。

書式名	指定方法	説明/備考
端数処理	選択	<p>数値フィールドの端数処理を選択します。「小数点以下桁数」で指定した桁による端数処理を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四捨五入：「小数点以下桁数」で割り切れない場合に四捨五入します。</li> <li>・ 切捨て：「小数点以下桁数」で割り切れない場合に切捨てします。</li> <li>・ 切上げ：「小数点以下桁数」で割り切れない場合に切上げします。</li> </ul>
カンマ区切り	選択	<p>数値、整数フィールドの入力においてフィールドがフォーカスを失う際に、整数部で3桁単位のカンマ区切りを行いません。</p> <p><b>True</b> : 3桁毎に“,”を設定します。</p> <p><b>False</b> : カンマ区切りを行いません。(デフォルト)</p>
範囲外文字色	色コード指定	<p>数値、整数フィールドにて数値上限基準値、下限基準値が指定されている場合、指定値内に収まらない値が入力された場合、ブラウザ表示される数値、整数フィールドの文字色が“範囲外文字色”に変化する。</p>
範囲外背景色	色コード指定	<p>数値、整数フィールドにて数値上限基準値、下限基準値が指定されている場合、指定値内に収まらない値が入力された場合、ブラウザ表示される数値、整数フィールドの背景色が“範囲外背景色”に変化する。</p>
上限基準値	指定	範囲外文字色、範囲外背景色
下限基準値	指定	範囲外文字色、範囲外背景色
表示モード	選択	<p>フィールドの表示モードを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 両方：フィールドをブラウザ、PDF両方で表示します。</li> <li>・ ブラウザのみ：フィールドをブラウザのみに表示します。</li> <li>・ PDFのみ：フィールドをPDFのみに表示します。</li> </ul> <p>※JavaScriptAPIによるフィールドの可視化の影響を受けません。</p>
レイヤ番号	選択	※この設定はデザインツールでのみ利用します。eFormMakerから指定しても設定には反映されません。
水平配置	選択	<p>フィールド値の水平文字位置を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・  : 水平文字位置を左寄せにします。</li> <li>・  : 水平文字位置を中央寄せにします。</li> <li>・  : 水平文字位置を右寄せにします。</li> </ul>

書式名	指定方法	説明/備考
垂直配置	選択	フィールド値の垂直文字位置を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>•  : 垂直文字位置を上 に します。</li> <li>•  : 垂直文字位置を中央に します。</li> <li>•  : 垂直文字位置を下 に します。</li> </ul>
前ゼロ詰め	選択	整数フィールドで、最大入力文字数が指定されている場合に不足する桁数を補うよう数値の前に0を追加してブラウザ、PDFに表示します。(表示されるデータの桁数のみが調整されます) <p><b>True</b> : フィールドがフォーカスを失う際に、最大入力文字数に併せて入力数値の前に0を追加します。</p> <p><b>False</b> : 前ゼロ詰めを行いません。(デフォルト)</p> <p>※ 表示はデータベースに格納されている値とは無関係に前ゼロ詰めが行なわれます。</p> <p>※ データベースに格納される値は前ゼロ詰めされた状態で格納されます。</p>

4) フィールド種類別の書式一覧表

	ラベル	テキスト	数値	整数	リアル テキストエ	パスワード	ボタン	ラジオ	チェック	クス コンボボツ	クス リストボツ	西暦	月	日	曜日	日時	印影	バーコード	不可視
フォント・サイズ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	○	○	—	○
フォント・ファミリー	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
フォント・ウェイト	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
文字間隔	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	○	—	—	—
行間隔	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
左パディング	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	○	—	—	—
右パディング	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	○	—	—	—
上パディング	○	—	—	—	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	○	—	—	—
下パディング	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	○	—	—	—
ツールチップ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
ツールチップ背景	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
ツールチップ枠線	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
ツールチップ文字	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
日付書式	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
文字変換	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
初期取得値	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	—	○	—	—	—
ワークフロー取得値	—	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	—	—	○
正規表現比較	—	○	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小数点以下桁数	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
端数処理	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
表示モード	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
レイヤ番号	※eFormMaker から指定しても、X-point での利用には反映されません。																		

垂直配置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-
水平配置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-
前ゼロ詰め	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
リンク下線	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
リンク下線色	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
リンク項目カーソル	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

## 5) X-point 設定プロパティの説明

設定名	指定方法	説明/備考
コンポーネント	設定ウィンドウから指定	フィールドのコンポーネント設定を別ウィンドウから指定します。 指定するコンポーネントは、あらかじめ X-point 管理者サイトに登録しておく必要があります。 (カレンダーコンポーネントは X-point 管理者サイトへ事前登録する必要はありません)
必須	選択	フィールドへの入力を必須にするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>False</b> : フィールドへの入力を必須にしません。</li> <li>• <b>True</b> : フィールドへの入力を必須にします。必須にした場合は、X-point からフォームを【提出】したタイミングで入力必須チェックが入り、未入力の場合は「入力エラー」となります。</li> </ul> ※表定義フィールドに必須チェックを設定した場合、表定義内に存在する各行の何れかに入力があった場合だけ、その他の行に対して必須チェックが行われます。何れの行にも入力がない場合は必須チェックされません。
一意キー	選択	フィールドに入力した値に対する一意チェックをするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>False</b> : 入力に入力した値に対する一意チェックをしません。</li> <li>• <b>True</b> : 入力に入力した値に対する一意チェックをします。一意チェックをする場合は、X-point からフォームを【提出】したタイミングで一意チェックが入り、一意でない場合は「入力エラー」となります。</li> </ul> ※表定義フィールドに一意チェックを設定した場合、表定義内に存在する各行の該当フィールドに対して一意チェックが行われます。通常フィールドの場合は過去に提出した同一フォームの書類の該当フィールドに対して一意チェックが行われます。
件名 1	選択	フィールド値を件名 1 にするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>False</b> : フィールド値を件名 1 にしません。</li> <li>• <b>True</b> : フィールド値を件名 1 にします。このフォームから提出された書類を X-point の【検索】【承認】等の一覧画面「件名 1」列に、このフィールドに入力された値が表示されます。</li> </ul>
件名 2	選択	フィールド値を件名 2 にします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>False</b> : フィールド値を件名 2 にしません。</li> <li>• <b>True</b> : フィールド値を件名 2 にします。このフォームから提出された書類を X-point の【検索】【承認】等の一覧画面「件名 2」列に、このフィールドに入力された値が表示されます。</li> </ul>
印影コンポーネント	選択	印影フィールドに表示する印影コンポーネントを選択します。

設定名	指定方法	説明/備考
		印影コンポーネントへの選択肢には、X-point 管理者サイトに登録されている印影コンポーネント一覧が表示されます。
承認ステップ	選択	<p>印影フィールドに押印する承認ステップ番号を 0～99 までの値を選択します。</p> <p>0 を指定した場合は、申請時に印影を押印します。</p> <p>1～99 を指定した場合、番号は承認ステップ番号と対応し、指定した承認ステップで【承認】された時に印影を押印します。</p>
ステップ内順位	数値入力	<p>印影フィールドに押印するステップ内順位を数値で指定します。</p> <p>同一承認ステップ内で複数承認者が AND 承認を行う場合の押印順位を指定します。</p> <p>指定数の上限はありませんが、運用時のパフォーマンス等の問題より、フォーム全体で最大 20～30 程度を目安にご利用ください。</p>

6) フィールド種類別の X-point 設定一覧

	ラベル	テキスト	数値	整数	リア テキストエ	パスワード	ボタン	ラジオ	チェック	クス コンボボツ	クス リストボツ	西暦	月	日	曜日	日時	印影	バーコード	不可視
コンポーネント	—	○	○	○	○※1	—	—	—	—	—	—	○	○	○	—	—	—	—	—
必須	—	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	○	○	○	—	○	—	—	—
一意キー	—	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	○	○	○	—	○	—	—	—
件名 1	—	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	○	○	○	—	○	—	—	—
件名 2	—	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	○	○	○	—	○	—	—	—
印影コンポーネ ント	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—
承認ステップ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—
ステップ内順位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—

※1 テキストエリアは、自動採番、カレンダー参照(下位互換用)コンポーネントの利用設定はできません。

## 7) アクション設定プロパティの説明

アクションには、フィールドへのイベントに応じた JavaScript プログラミングを指定する事が可能です。別ウィンドウから JavaScript を記述します。

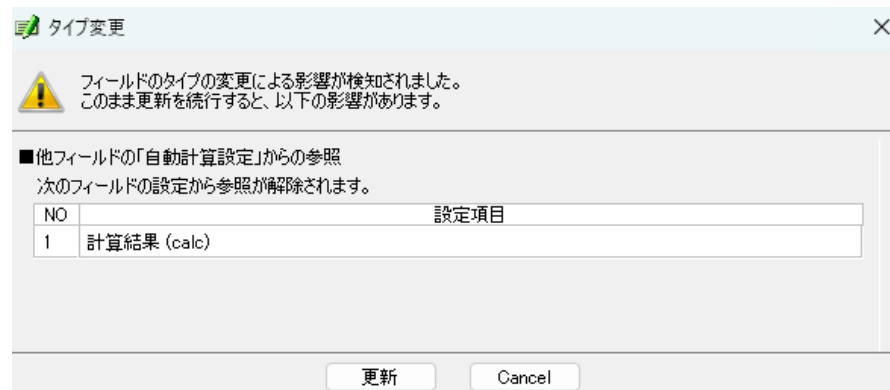
イベント	説明/備考
onClick	フィールドをクリックしたタイミングで動作する JavaScript を指定します。
onDbClick	フィールドをダブル・クリックしたタイミングで動作する JavaScript を指定します。
onChange	フィールドの値が変化したタイミングで動作する JavaScript を指定します。
onKeyDown	フィールドに対してキーを押したタイミングで動作する JavaScript を指定します。
onKeyPress	フィールドに対してキーを押されている間に動作する JavaScript を指定します。
onKeyUp	フィールドに対してキーを上げたタイミングで動作する JavaScript を指定します。
onFocus	フィールドにフォーカスが当たったタイミングで動作する JavaScript を指定します。
onBlur	フィールドからフォーカスが離れたタイミングで動作する JavaScript を指定します。
onMouseOver	フィールドにマウスが重なったタイミングで動作する JavaScript を指定します。
onMouseOut	フィールドからマウスが離れたタイミングで動作する JavaScript を指定します。
onCalcValidator	数値、整数フィールドに設定された計算式の実行を制御する JavaScript を指定します。 戻り値が true であれば計算を実行、false の場合は計算を実効しません。
R/O Calendar	フィールドが読み取り専用の場合にポップアップカレンダーを表示するかどうかを指定します。 X-point にフォームをアップロードした場合、編集状態のフォームにおいて動作します。また、フィールド編集権限を設定した場合は、フィールド編集権限の動作が優先されます。
R/O Window	フィールドが読み取り専用の場合に参照ウィンドウを表示するかどうかを指定します。 X-point にフォームをアップロードした場合、編集状態のフォームにおいて動作します。また、フィールド編集権限を設定した場合は、フィールド編集権限の動作が優先されます。

8) フィールド種類別のアクション設定一覧表

	ラベル	テキスト	数値	整数	リア	テキストエ	パスワード	ボタン	ラジオ	チェック	クス	コンボボツ	クス	リストボツ	西暦	月	日	曜日	日時	印影	バーコード	イメージ
onClick	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
onDbClick	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
onChange	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
onKeyDown	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
onKeyPress	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
onKeyUp	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
onFocus	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
onBlur	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
onMouseOver	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
onMouseOut	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
onCalcValidator	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R/O Calendar	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R/O Window	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 9) フィールドのタイプ変更

属性プロパティのタイプを「ドロップダウン・リスト」から変更した場合、そのフィールドを参照する設定への影響チェックが行われます。チェックの結果、「影響あり」と判断された場合は警告ダイアログが表示されます。



警告内容を確認し、参照設定が解除されても問題ない場合は [更新] ボタンを、タイプの変更を中止する場合は [Cancel] ボタンをクリックしてください。

### ! 注意事項

そのまま更新して参照が解除された結果、設定に不整合が生じる場合があります (例: 自動計算設定の計算項目が未設定になる、など)。更新後は、該当する設定の見直し (削除や変更など) を行ってください。

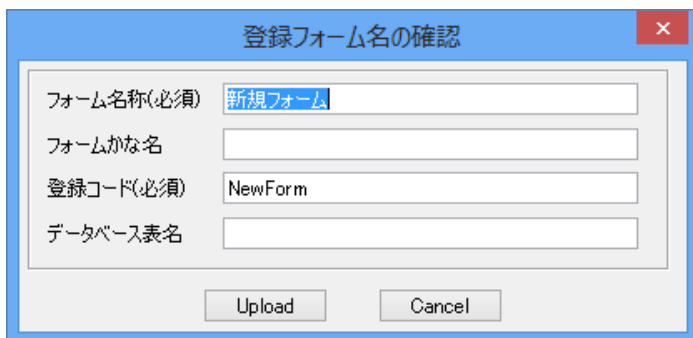
### 3 作成したフォームを X-point で利用する

X-point eFormMaker で作成したフォームは、X-point 管理者サイトにアップロードすることで X-point から利用できるようになります。この章では X-point から利用できるまでの簡単な手順をご紹介します。

(詳細は X-point 管理者機能マニュアルを参照してください。)

#### 3.1 フォーム名称

X-point eFormMaker のフォーム設定、あるいはファイル保存をする際に表示されるダイアログでフォーム名称、登録コードを予め指定しておきます。ここでの指定が X-point での「フォーム名称」になります。

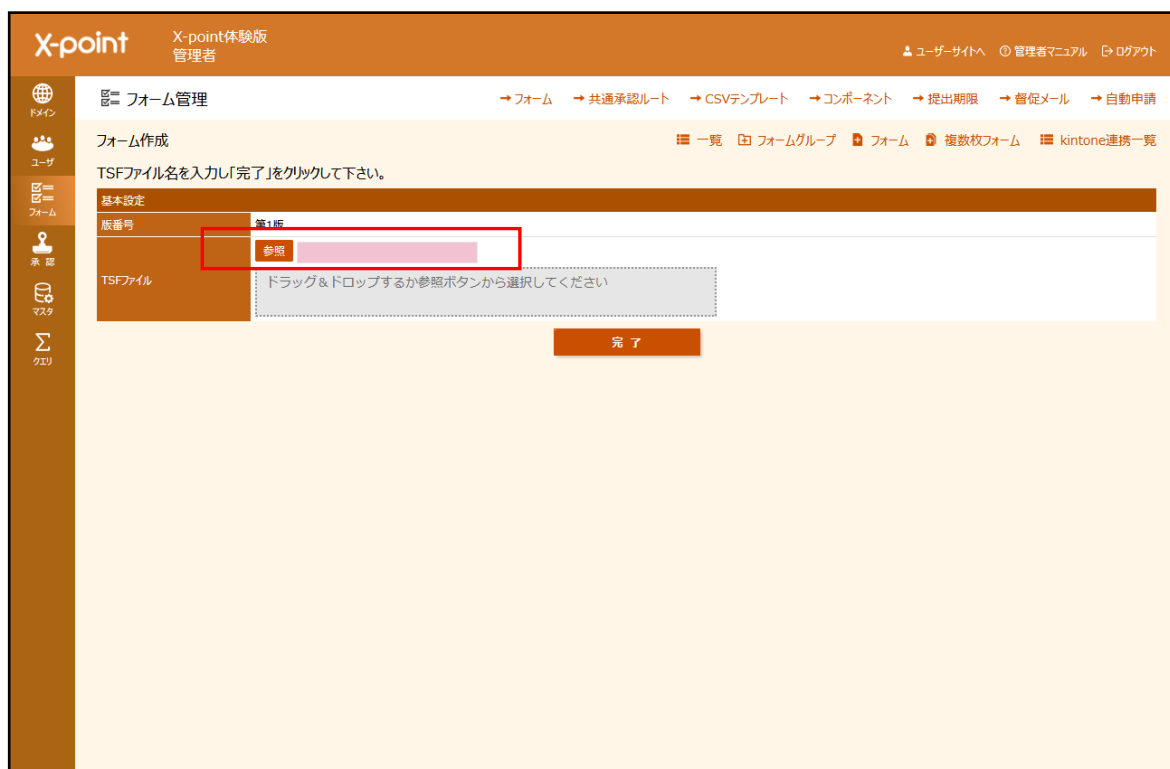


#### 3.2 フォームのアップロード

X-point eFormMaker で作成した TSF ファイルを X-point 管理者サイトにアップロードします。

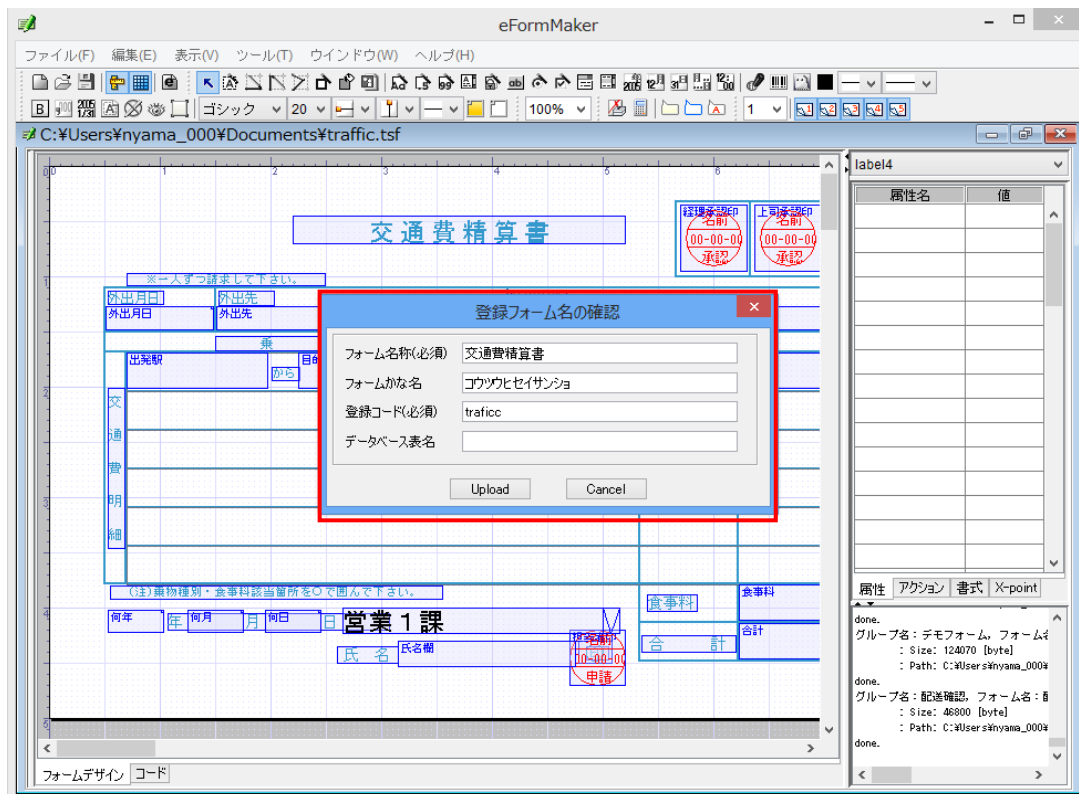
##### 1) TSF ファイルのアップロード

X-point 管理者サイトに管理者ユーザでログインし、【フォーム管理】→【フォーム】→【フォーム新規作成】画面から TSF ファイルをアップロードします。



## 2) eFormMaker からアップロード

「ファイル」→「フォームアップロード」を利用すると、eFormMaker から直接 X-point サーバにアップロードすることができます。



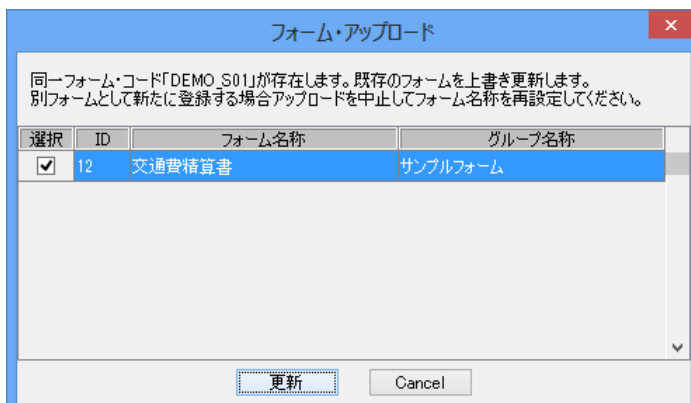
### ！注意事項

- ・ アップロードは接続中の X-point ドメインに対して行なわれます。
- ・ 表を利用しているフォームを更新アップロードする場合、表の数に増減があると eFormMaker からアップロードできません。X-point 管理者サイトからアップロードしてください。

同一フォームコードのフォームが既に登録されている場合、状態により確認ダイアログが変化します。

### ① 同一フォームコード、同一名称の場合

上書き確認のダイアログが表示されます。「更新」ボタンをクリックして実行します。



② 同一フォームコードが存在し、登録するフォームの名称が異なる場合

既存のフォームの名称を変更し手登録するか、別のフォームとして新規に登録するかを指定します。更新する場合は表示されている行を選択して（面倒でも選択して下さい）有効にしたのち「更新」をクリックします。別のフォームで新たに登録する場合は「新規」ボタンをクリックします。

フォーム・アップロード

同一フォーム・コード「DEMO\_S01」が存在します。  
既存フォームを上書きする場合は、上書きするフォームを指定してください。  
指定しない場合は、別のフォームとしてアップロードされます。

選択	ID	フォーム名称	グループ名称
<input type="checkbox"/>	12	交通費精算書	サンプルフォーム

更新 新規 Cancel

③ 同一フォームコードで複数登録されており、登録フォームがその中の一つと一致する場合

上書きするフォームの確認を行いません。別のフォームを選択し上書きすることはできません。別フォームに上書きする場合は、一度キャンセルをしてフォーム名を変更して下さい。

フォーム・アップロード

同一フォーム・コード「DEMO\_S01」が存在します。同一名称の既存フォームを上書き更新します。  
別フォームとして新たに登録する場合アップロードを中止してフォーム名称を再設定してください。

選択	ID	フォーム名称	グループ名称
<input checked="" type="checkbox"/>	12	交通費精算書	サンプルフォーム
<input type="checkbox"/>	51	交通費精算書(様式2)	所属無しフォーム

更新 Cancel

④ 同一フォームコード、名称違いのフォームが複数登録済みの場合

既存フォームを上書きする場合は、上書き対象のフォームを選択して「更新」ボタンをクリックします。別のフォームとして新規に登録する場合は「新規」ボタンをクリックします。

フォーム・アップロード

同一フォーム・コード「DEMO\_S01」が存在します。  
既存フォームを上書きする場合は、上書きするフォームを指定してください。  
指定しない場合は、別のフォームとしてアップロードされます。

選択	ID	フォーム名称	グループ名称
<input type="checkbox"/>	12	交通費精算書	サンプルフォーム
<input type="checkbox"/>	51	交通費精算書(様式2)	所属無しフォーム

更新 新規 Cancel

フィールドのタイプが変更されている場合、そのフィールドを参照する X-point 上のデータや設定に対して影響チェックが行われます。

チェックの結果、「影響あり」と判断された場合は警告ダイアログが表示されます。

警告内容を確認し、そのまま続行し後で X-point 側の影響データや設定を修正する場合は[更新]ボタンを、フォームの中止する場合は[Cancel]ボタンを押下します。

**■書類**  
 既存書類に、変更後のタイプに適合しない値が入力されています。  
 書類検索やフォーム操作等でエラーが発生する可能性があります。

NO	フィールド	変更前タイプ	変更後タイプ	影響データ
1	数値フィールド5 (numberfield5)	文字フィールド	数値フィールド	書類No.82570

**■検索テンプレート**  
 該当のフィールドが抽出条件として利用されています。  
 書類検索でエラーが発生する可能性があります。  
 このまま続行する場合は、検索テンプレートの更新をご検討ください。

NO	フィールド	変更前タイプ	変更後タイプ	影響データ
1	数値フィールド2 (numberfield2)	数値フィールド	文字フィールド	利用者「勝 太郎」 / sample検索テンプレート

**■自動申請設定**  
 サポートされないフィールドタイプのため、自動申請に失敗する可能性があります。  
 このまま続行する場合は、自動申請設定の更新をご検討ください。

更新      Cancel

**！注意事項**

- ・ 「**■書類**」の影響データに表示される書類 No は、最大 10 件です。
- ・ 「**■書類**」に対する影響データが検出された場合、X-point 側で該当書類の入力値を変更後のタイプに適合した内容に修正する、または不要な書類の場合は書類の物理削除(クリーンアップ)をご検討ください。

### 3) 一括アップロード

eFormMaker を実行している PC より、指定ディレクトリ以下の TSF ファイルをまとめてアップロードします。(「ツール」→「フォーム一括アップロード」)

- **TSF/フォルダ**  
ファイル一覧に表示する **TSF** ファイルの保存フォルダを指定します。
- **TSF ファイル一覧**  
指定されたフォルダ以下に存在する **TSF** ファイルを一覧表示します。
- **アップロード対象**
  - ① **全てアップロード**  
ファイル一覧に表示されている **TSF** ファイル全てをアップロード対象にします。
  - ② **指定ファイルのみ**  
ファイル一覧で選択状態になっている **TSF** ファイルをアップロード対象にします。
- **新規フォームは登録しない**  
新規登録となるフォームはアップロード登録を行いません。
- **既存フォームは更新しない**  
アップロード中に、同一フォームコード、かつ同一名称のフォームが存在する場合はアップロード更新を行いません。
- **開始**  
フォームのアップロードを開始します。アップロード中は操作できません。
- **閉じる**  
“フォーム一括アップロード” 画面を閉じます。アップロード中は操作できません。
- **中断**  
アップロード中のフォームに対する操作が終了した段階で処理を終了します。

### 3.3 フォームグループと承認ルートに関連付け

X-point 管理者サイトにアップロードしたフォームは、

- フォームグループに所属させる。
- 承認ルートを作成する

ことで X-point 一般ユーザから利用可能となり、X-point ユーザ画面でログインすると【フォームライブラリ】からアップロードしたフォームが表示されます。

The screenshot displays the X-point administrator interface. At the top, the header includes the X-point logo, the text '全てのユーザ 管理者', and navigation links for '管理者メニューへ', '個人設定', 'マニュアル', and 'ログアウト'.

The main content area is divided into three sections:

- 提出 (Submission):** A sidebar menu on the left lists various form groups with their counts: サンプルフォーム(9), 経費管理(4), 契約書類管理(2), 残業・休暇管理(3), 人事関連(3), 店舗関連(3), 勤怠表サンプル(3), and フィールド定義サンプル(3).
- 提出 (Submission):** The main content area shows a table of forms and approval routes. At the top of this section, there is a star icon and a checkbox for '連続申請' (Continuous Application).
- Table:** The table lists forms and their associated approval routes. Each row includes a checkbox for selection, the form name, the approval route name, and columns for '参照' (Reference) and '検索' (Search).

<input type="checkbox"/>	フォーム名	承認ルート名	参照	検索
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 仮払申請書	仮払申請承認ルート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 経費精算書	経費精算承認ルート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 経費精算書・台紙つき	経費精算ルート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 支払依頼書	支払承認ルート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## 4 フォームを表示するブラウザ種類と環境による表示の違い

この章では、OS、ブラウザ等、環境に応じたフォーム表示対応を説明します。これらの対応情報は、X-point のサポートサイトにて正規ユーザー様向けに最新情報を更新しております。合わせてご確認ください。

(<https://support.atled.jp/xpoint>)

### 4.1 OS による違い

eFormMaker で作成したフォームを X-point にアップロードし運用する場合、クライアント OS による違いを考慮する必要があります。例えば、下記のように環境ごとに使用しているフォントに差分があります。

クライアント OS	ブラウザ	フォント有無
Windows 系	Safari Firefox Google Chrome	MS 明朝 . . 有り MS ゴシック . . 有り MS P 明朝 . . 有り MS P ゴシック . . 有り
Mac OS 系 (MS オフィス導入環境)	Safari	MS 明朝 . . 有り MS ゴシック . . 有り MS P 明朝 . . 有り MS P ゴシック . . 有り
Mac OS 系 (MS オフィス未導入環境)	Safari	MS 明朝 . . 無し MS ゴシック . . 無し MS P 明朝 . . 無し MS P ゴシック . . 無し ヒラギノ明朝 Pro . . 有り ヒラギノ角ゴ Pro . . 有り
iPhone / iPad (モバイルおよび モバイルアプリ)	Safari (iPhone/iPad)	MS 明朝 . . 無し MS ゴシック . . 無し MS P 明朝 . . 無し MS P ゴシック . . 無し ヒラギノ明朝 Pro . . 無し ヒラギノ角ゴ Pro . . 有り
Android (モバイルおよびモバイル アプリ)	Chrome for Android	機種による

eFormMaker、X-point は、“MS 明朝”、“MS ゴシック”、“MS P 明朝”、“MS P ゴシック”での利用を前提にデザインされているため、クライアント OS に Windows 以外を利用する場合は、入力フォームを表示の表示がデザイン時のプレビュー表示 (Windows) と異なる場合があります。この問題を回避するためには、フォーム作成の際、クライアント OS の違いにより発生する問題を考慮しておく必要が生じます。

### 4.2 ブラウザによる違い

ご利用になるブラウザによって、表示や動作の違いが生じます。詳細は、「クロスブラウザ環境制限事項ガイド」マニュアルを参照下さい。

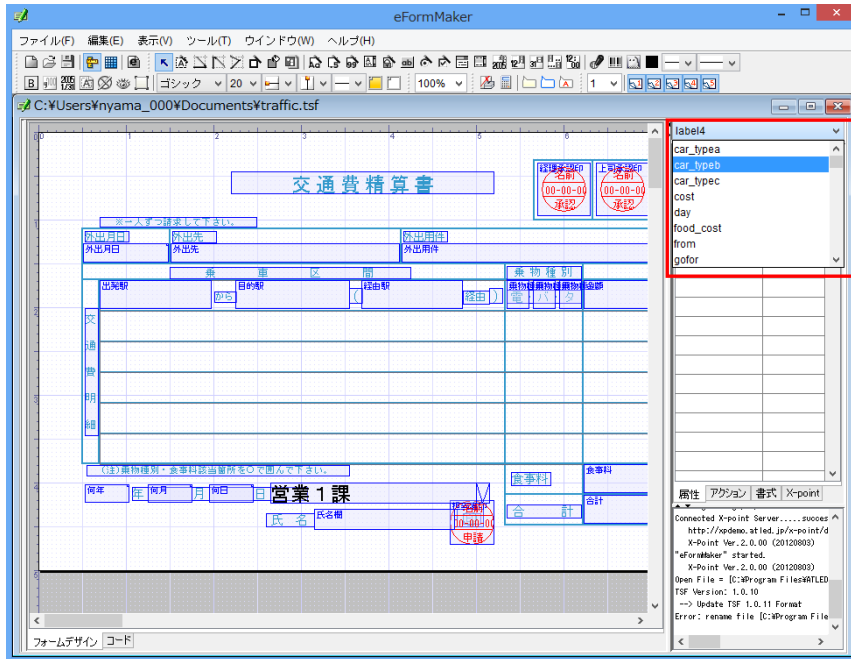
## 5 困ったときは (FAQ)

### 5.1 同じ場所に複数フィールドが配置され選択しづらい。

枠線やテキスト・フィールド、ラベル等を配置していくと、オブジェクトが重なってしまいマウス選択が困難になる場合があります。そのような場合の対処方法として2種類の方法が用意されています。

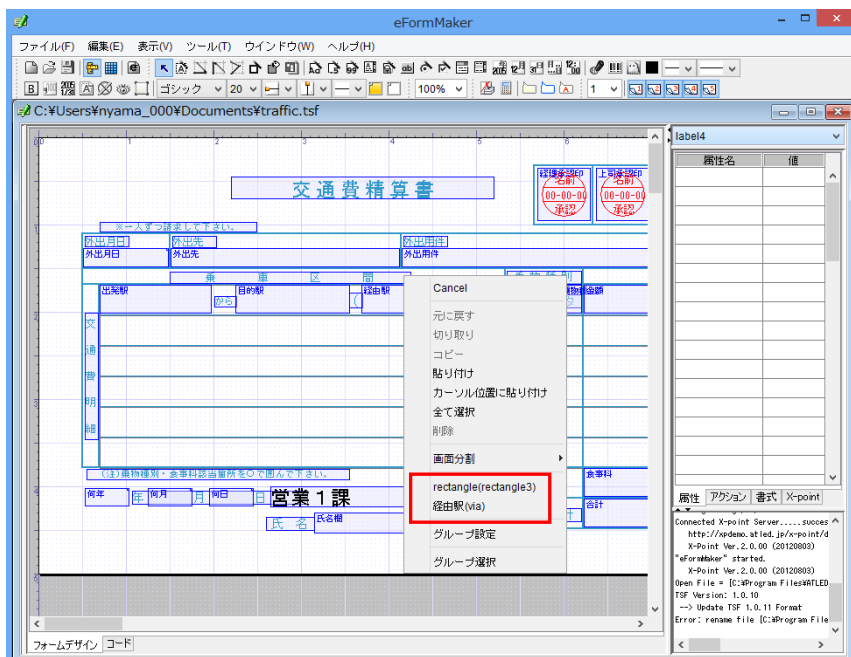
#### 【IDで選択する】

プロパティ領域の上部にあるドロップダウン・リストから目的のオブジェクトを選ぶと、選んだIDを選択状態にすることができます。



#### 【マウス右ボタンを利用する】

オブジェクトが重なっている位置にマウスカーソルをあわせ、マウス右ボタンをクリックすると、カーソル位置にあるオブジェクトのリストがポップアップ・メニューの下部に表示されます。ポップアップ・メニュー内のオブジェクト名を選ぶと、目的のオブジェクトを選択状態にすることができます。





## 5.2 フィールドのサイズを変えようとフィールドを選択すると、別のフィールドを選んでしまう。

重なった状態で配置されているオブジェクトがあると、オブジェクトを選択しようとしても、重なっている別のオブジェクトを選択してしまう場合があります。

そのような場合は、オブジェクトの重なっていない部分を選択するか、右クリックメニューから選択したいオブジェクト名をクリックすると、オブジェクトの移動や、グリップボタンの操作ができるようになります。

## 5.3 オブジェクトの位置やサイズをピクセル単位で移動、変更したい。

オブジェクトの位置を変更する場合は、アイコンメニューバーから  選択ツールを選び、目的のオブジェクトを選択した後、コントロールキー(CTRL)を押しながら、矢印キーを操作します。矢印キーを1回押すことで1ピクセル移動します。サイズを変更する場合は、 選択ツールを選び、目的のオブジェクトを選択した後、シフトキー(SHIFT)を押しながら、矢印キーを操作します。矢印キーを1回押すことで1ピクセル大きさが変化します。

CTRL キー、SHIFT キーと矢印キーの組み合わせは、新規オブジェクトの作成中にも利用することができます。



## 5.4 グループ化されたオブジェクトかどうか分からない。

オブジェクトの上で右ボタンをクリックすると、ポップアップ・メニューの最下段に“グループ設定”というメニューが表示される場合は、グループ化されています。

【グループではない場合】



【グループの場合】



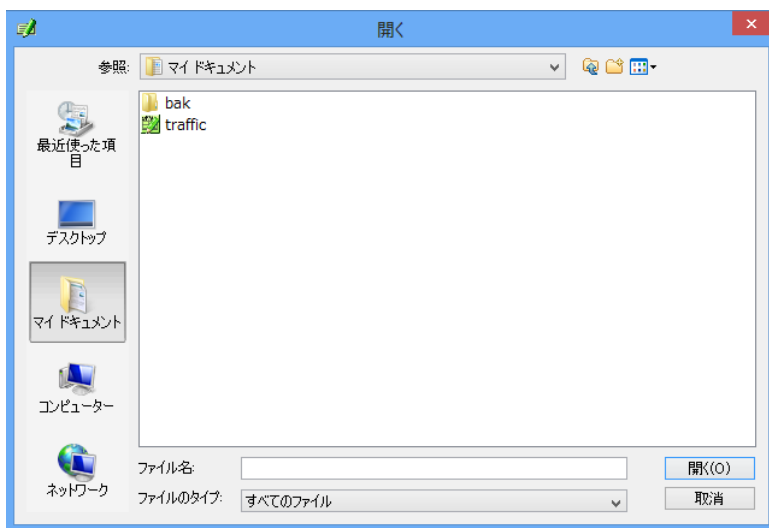
## 5.5 前回まで開けたファイルが、突然開かなくなりました。

TSF ファイルの内容を他のエディタ等で修正する、コードウィンドウで修正したような場合に発生することがあります。

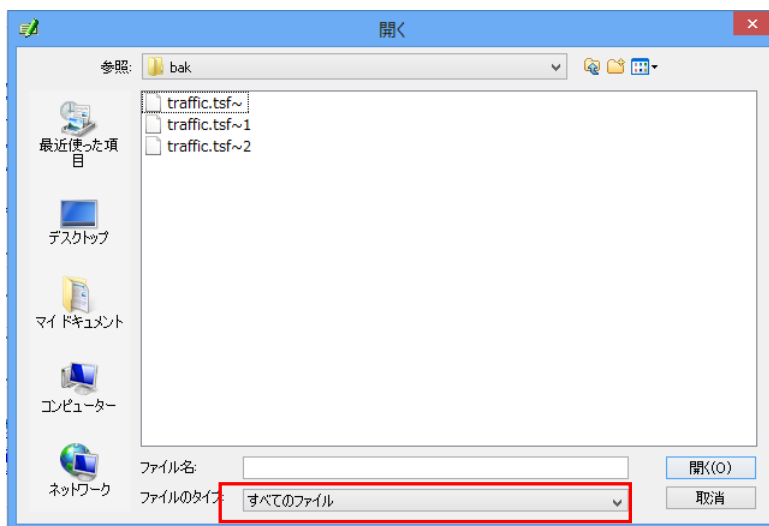
## 5.6 eFormMaker のバックアップファイル

TSF ファイルを保存する際、誤って別のファイルに保存する、上書きしてしまう等の操作を行なうと間違えた名前のファイルは消えてなくなってしまう。X-point eFormMaker は同一名称のファイルがある場合、過去3回までのファイルを名称変更して保存していますので、誤って保存してしまった場合は、保存ファイルの有無を確認し、保存ファイルを開くなどして名称変更されたファイルを利用して復元を試みてください。

【ファイル→開く】・・・通常の場合



【ファイル→開く】・・・ファイルタイプを“すべてのファイル”にした場合



- ※ 旧ファイルは「bak」フォルダ内に保存されます。  
保存される旧ファイルの拡張子は新しい順に、「tsf~」、「tsf~1」、「tsf~2」となります。

## 5.7 eFormMaker が突然終了してしまった。

eFormMaker が利用できるメモリが不足している可能性があります。

再起動しても同様の現象が発生する場合は eFormMaker.cmd ファイルを修正し、利用可能なメモリのサイズ設定を変更します。

### 【eFormMaker.cmd】

```
SET JAVA_OPTS=-Xms256m -Xmx2048m
```

- **太字斜線**の部分が利用可能なメモリのサイズを指定している部分です。X-point eFormMaker が動作する PC に十分なメモリが搭載されている場合は、もっと大きな数字を指定して下さい。

メモリサイズ設定を変更しても同様の現象が発生する場合は、%APPDATA%\At led¥eFormMaker¥Logs フォルダより、問題が起きた日付を含むファイル名のファイルを、終了してしまった際に行っていた詳細な作業内容と合わせて、販売店、もしくは開発元までお送りください。

## 5.8 長時間の利用や、たくさんのフォームを編集していると時々動作が止まる。

eFormMaker の実行に必要なメモリが不足していることが原因として考えられます。

eFormMaker を再起動するか、eFormMaker を利用している PC のメモリに余裕がある場合は、メモリ利用量の上限を大きくすることで状態が改善される場合があります。

設定の変更は環境変数 JAVA\_OPTS で行う事ができます。

### 【指定例】

```
SET JAVA_OPTS=-Xms256m -Xmx2048m
```

## 5.9 フォーム設定画面を開く時に時間がかかる。

フォーム設定画面など様々な箇所ですべて X-point 管理者サイトに登録されている情報（印影やマスタ参照ウィンドウ等のコンポーネント情報）を eFormMaker から参照しています。画面を表示させる際に時間がかかるような場合は、X-point サーバとの通信を行っているケースが考えられます。特にフォーム設定画面では扱う情報が多い為、通信時間が長くなる傾向があります。

## 5.10 フォームのプレビューができない。

ご利用になる PC の環境によってはフォームのプレビューが実行できない場合があります。画面右下のコンソール・ビューに

**Bootstrap: Starting service**

**サービス Tomcat-Standalone を起動します**

**Apache Tomcat/4.1.31**

**- エンドポイントを起動中のエラーです**

**java.net.BindException: Address already in use: JVM\_Bind:18088**

や

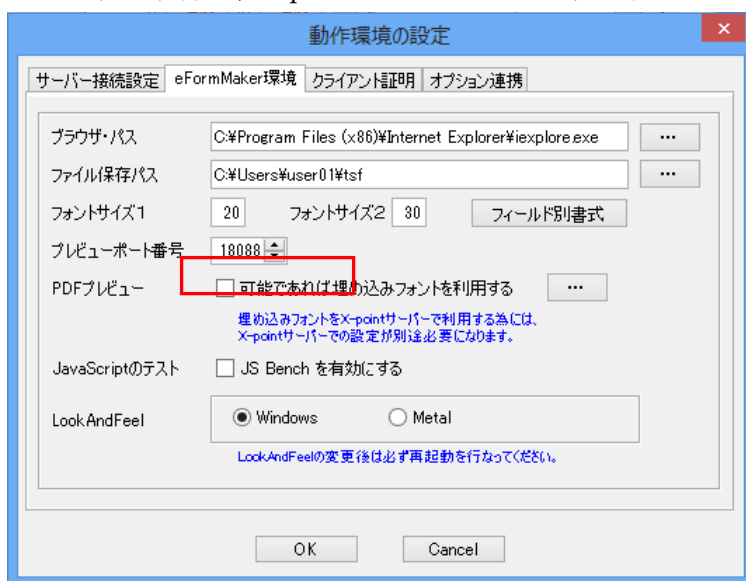
**Catalina.start: LifecycleException: プロトコルハンドラの起動に失敗しました:**

**java.net.BindException: Address already in use: JVM\_Bind:18088**

**LifecycleException: プロトコルハンドラの起動に失敗しました: java.net.BindException: Address already in use: JVM\_Bind:18088**

のようなメッセージが表示されている場合は、内蔵のサーブレットエンジンが使用する 18088 ポートがほかのプログラムと干渉していることが考えられます。

そのような場合は、X-point eFormMaker が利用するポート番号を変更して問題を解決します。



- PC で空いているポート番号に変更する。

## 5.11 ラジオボタンで一度チェックを付けたら未選択状態に戻せない。

1度チェックを付けたラジオボタンからチェックを未選択にすることはできません。これは X-point に限らず、Web の HTML 仕様となります。

ラジオボタンから一度チェックしたものを未選択にするは以下の回避方法をお試し下さい。

例)

男性 女性

というラジオボタンがある場合、一度”男性”・”女性”のいずれかにチェックを付けるとチェックを未選択にできません。チェックを外し、未選択状態にさせるには予め未選択用のチェック項目を用意する事で回避します。

未選択 男性 女性

## 5.12 フィールド間のフォーカス移動順序を指定するには

フィールド間のフォーカス移動は、Tab キー又は Enter キーで移動します。

(メニュー→【ファイル】→【フォーム設定】画面の「項目移動キー」から設定します)

タブ移動順が未設定 (0) もしくは、移動禁止 (-1) に指定されている以外のフィールドにおけるフォーカスの移動順序については、メニュー→【ファイル】→【フォーム設定】画面の”フィールド設定”タブの並び順序がフォーカス移動順序となります。移動順序を変更する為には、【↑】【↓】ボタンを使って並び順序を変更、もしくはフィールド行をマウス左ボタンでクリックしたままドラッグして移動します。



## 5.13 フィールドへのフォーカス移動を禁止するには

「変更不可」にしているフィールドなどで、フィールドへのフォーカス移動を禁止するには、プロパティシートの「属性」から「タブ移動順序」の値を”-1”にします。

#### 5.14 利用できないメニューがある。(動作環境設定がうまくいかない)

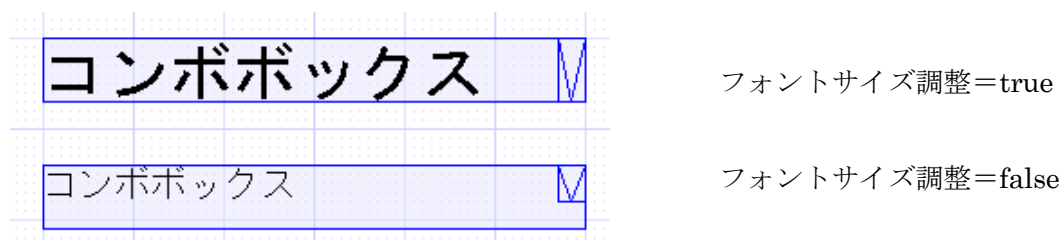
以下のメニューが利用できない場合は、「動作環境設定」が完了していない可能性があります。

- メニュー【ファイル】→【フォームダウンロード】
- メニュー【ファイル】→【フォーム設定】→【印影設定】
- メニュー【ファイル】→【フォーム設定】→【フォーム連携】
- プロパティシートの”X-point”タブ

「[動作環境設定 \(eFormMaker 環境\)](#)」、[「動作環境設定 \(ネットワーク設定\)」](#)を参照の上、X-point サーバとの接続設定を見直してください。

#### 5.15 コンボボックス・曜日のフォント・サイズが変更できません。

コンボボックス・曜日フィールドのフォント・サイズはフィールドエリアのサイズによって自動調整される動作が基本となります。通常作成の状態ではアイコンメニューや“書式”プロパティからフォント・サイズを指定しても変更されません。フィールドのサイズとは無関係にフォント・サイズを指定する場合は“書式”プロパティの“フォント・サイズ調整”を“false”に指定します。



#### 5.16 マスタ参照ウィンドウから値選択しても JavaScript が動作しない。

マスタ参照ウィンドウから値を選択したタイミングでは、「onChange」イベントが発生しない為、プロパティシートの”アクション”タブで指定した JavaScript が動作しません。

これは X-point 仕様となる為、予めご了承下さい。

#### 5.17 フォームを修正したら、X-point 側で既存データが表示されなくなった。

フォーム作成した時点から、フィールドの「ID 名」が変更されている可能性があります。

X-point 側にフォームをアップロードした後に、フィールドの「ID 名」を変更して再度 X-point へアップロードすると、変更前のデータは表示できません。

途中でフィールド「ID 名」を変更する際には十分注意頂くようお願い致します。

#### 5.18 明細行を効率良く作成したい

「請求書」「見積書」などでよく見受けられる明細行を効率良く作成するには、「[グループ設定による表定義の作成](#)」の章を参照して下さい。

繰返し項目を利用することで、1 行目のフィールド設定のみを行うことで、明細行を効率よく作成することが可能です。

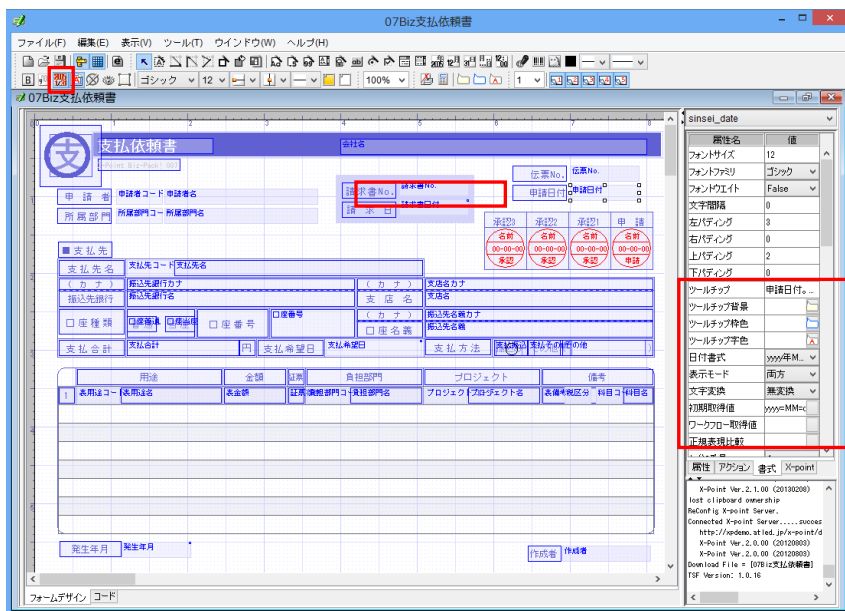
## 5.19 日付入力フィールドを上手く作成するには

日付入力フィールドを上手く作成するコツを数点ご紹介します。

### (1) 文字フィールドを作成し、カレンダーを設定する

- 1-1. 1つの文字フィールドを配置します。
- 1-2. アイコンメニューバーから「カレンダー」をクリックします。
- 1-3. プロパティシート「属性」から「日付書式」を設定します。

(必要に応じて、「ツールチップ」等を設定するとよりフォーム利用者に分かりやすくなります)



### (2) 西暦、年、月、日、曜日フィールドを設定する。



- 1-1. 西暦、年、月、日、曜日フィールドを配置します。
- 1-2. 配置した西暦、年、月、日、曜日フィールドはそれぞれ別フィールドとなる為、関連する西暦、年、月、日、曜日のフィールドがどれかを設定します。  
(プロパティシートの「属性」→「西暦フィールド」「月フィールド」「日フィールド」「曜日フィールド」から関連するフィールド名を選択します)

属性名	値
色	#000000
初期値	
無効	False
編集禁止	False
タブ移動順序	0
不可視	False
移動禁止	False
背景色	
枠線付き	False
枠線幅	
枠線色	#000000
月フィールド	
日フィールド	
曜日フィールド	

## 5.20 ID 名に予約語と同じ名称を指定するとエラーが発生します

フィールド、オブジェクトの ID 名には、X-point 内の予約語、JavaScript での予約語を利用することはできません。

※ 以下は予約語の一例です。予約語は新たに追加される場合や、コンポーネント等の登録状態により増加する場合がありますのでこの表に含まれないキーワードで警告表示やエラーが発生する場合もあります、デザイナーやフォームアップロード時の警告表示に注意してください。

### 【X-point 予約語の一例】

docid, doc\_status, currentverno, currentstep, cr\_name,  
cr\_usrcode, loginusercode, loginusername, loginuserkana, loginuseremail,

### 【JavaScript 予約語の一例】

abstract, boolean, break, byte, case, catch,  
char, class, comment, const, continue, debugger,  
default, delete, do, double, else, enum,  
export, extends, false, final, finally, float,  
for, function, goto, if, implements, import,  
in, instanceof, int, interface, label, long,  
native, new, null, package, private, protected,  
public, return, short, static, super, switch,  
synchronized, this, throw, throws, transient, true,  
try, typeof, var, void, volatile, while,  
with, elements, submit, action, target, method

## 5.21 「時刻誤差が閾値（300 秒）を超えています」と表示される

eFormMaker を実行する環境と X-point サーバーの時刻差が 300 秒以上ある場合、eFormMaker は X-point に接続できません。時刻差に関するエラーが表示された場合はご利用環境の時刻設定を確認してください。

## ■改訂履歴

改版	改版内容
2021年4月1日版	初版
2021年4月12日版	ツールメニューの説明より利用できない機能「仕訳処理連携」を削除
2021年5月20日版	「2.35 初期取得値」に設定可能な初期取得値として「ユーザログインID」「役職コード」「役職名」を追記
2021年6月17日版	フィールドIDに利用できない予約語を追加 フォーム設定時にフォームグループ名が長い場合の対応方法を追記
2021年6月21日版	ユーザー定義 JavaScript のタブ内で X-point API の実行をしないように注意喚起を追記
2021年9月15日版	印影設定の見出し項目廃止に伴い説明を削除 フィールド・タイプの変更について説明を追加
2022年2月14日版	マイクロソフト EXCEL ワークシート取込の変換仕様について記載を追記
2022年6月21日版	「2.14 イメージアップロード・フィールドの定義」章追加 上記に伴って既存項番の変更
2022年7月13日版	ナビゲータにアイコンが追加されたため「2.5 フォーム設定」の画像を差し替え
2022年7月29日版	「2.14 イメージアップロード・フィールドの定義」トリミングの際に exif 情報が消失する注記を追加 「4 フォームを表示するブラウザ種類と環境による表示の違い」サポートサイトの URL を変更
2023年11月15日版	「2.25 グループ化」ラジオボタングループに関する特記事項を追記
2025年6月12日版	「2.44 フィールドのプロパティ」の「2) フィールド種類別の属性一覧表」の最大入力文字数を「-」から「○」に変更 (該当フィールド: 数値、整数、テキストエリア、不可視)
2025年6月17日版	「2.44 フィールドのプロパティ」の「2) フィールド種類別の属性一覧表」の背景色を「-」から「○」に変更 (該当フィールド: 印影)
2025年7月25日版	「2.33 マイクロソフト・エクセルのワークシート」の ・「2) セル書式(罫線・色など)の扱い」にて誤記を修正 ・「2) セル書式(罫線・色など)の扱い」「⑩コメント」にて「表示メニュー」を「校閲メニュー」に変更。 計算式が設定されていたセルに対応するフィールドが数値フィールドになる事を記載 ・EXCEL 機能名称の変更に伴い「⑩コメント」を「⑩メモ」に変更。 ・罫線は二重線は実践に変更される記載をセルを囲む場合に修正
2025年9月12日版	「2.26 ミラー定義」の「6) 初期設定値の取り扱い」の内容を修正
2025年10月3日版	「2.44 フィールドのプロパティ」3) 書式プロパティの説明の表示モードの説明備考に注意文言を追記
2025年12月11日版	「2.38. X-point コンポーネント」の「3) 残管理」にワークフローフォームのみ利用可能な旨注意事項を追記
2026年3月10日版	「2.5 フォーム設定」の JavaScript 動作に注意事項を追記
2026年4月1日版	「2.44 フィールドのプロパティ/1) 属性プロパティの説明」に、フィールドタイプ変更の説明を追加。 「2.44 フィールドのプロパティ/9) フィールドのタイプ変更」、「3.2 フォームのアップロード」に、フィールドタイプ変更の影響チェックの機能説明を追加。

製作著作

©2026 株式会社エイトレッド

本書の一部、または全部を著作権所有者の許諾なしに、商用目的の為に複製、配布することはできません。X-point、エクスポイントの名称及びロゴは株式会社エイトレッドの商標または登録商標です。Microsoft、MS-DOS、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Macintosh、MacOS は Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。Adobe、Acrobat、Adobe Acrobat は Adobe Systems, Inc.の商標または登録商標です。Java は Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

その他、記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する会社の商標または登録商標です。本ガイドでは、©、®、(TM) の表示を省略しています。ご了承ください。